H-21

Business
Smart Phone

取扱説明書

目次／注意事項
利用前の準備
基本的な操作
文字入力
電話機能
連絡先／予定の管理
データ通信
パソコンとの同期
メール
Webブラウザ
バーコードリーダー
その他の機能
端末の設定／管理
付録／困ったときは
索引

取扱説明書の引きかた／見かた

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、H-21を正しく安全にお使いください。お読みになった後は、取扱説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

取扱説明書の引きかた

調べたい内容がある場合は、次の方法で探すことができます。

■インデックスから探す

表紙と各ページの端には、インデックスとして章の見出しが掲載されています。インデックスを手がかりにして、パラパラとページをめくりながら探すことができます。

■目次(P.2)から探す

すべての記載内容が網羅された見出しから探すことができます。

■索引(P.158)から探す

ABC順と五十音順に並んだアプリケーションの名前や設定項目の名前から探すことができます。

取扱説明書の見かた

本書では、操作説明を簡略化して記載しています。画面に表示されたアイコンやメニューをタップしたり、キー操作で選択することを**[アイコン名]**や**[メニュー名]**と記載しています。

例えば、次の記載例は、画面左上の「スタート」をタップした後で、スタートメニューの「設定」アイコンをタップすることを表しています。

記載例:

1 [スタート]▶[設定]

おしらせ

- 本書の内容は予告無く変更する場合があります。
- 本書の内容につきましては、万全を期して作成しておりますが、万が一、誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接・間接の損害、不利益につきましては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を事前の承諾無く、無断で複写、複製、翻訳、変更することを禁じます。
- 本書に掲載されている画面やアイコンは、例示です。実際の画面やアイコンとは異なることがあります。
- 本書では、キーやボタンを簡略化して記載しています。実際のキーやボタンとは一部異なることがあります。
- 本書では、リチウムイオン充電池パックのことを「電池パック」と記載します。
- 本書では、PC接続用USBケーブルのことを「USBケーブル」と記載します。
- 本書では、市販のmicroSDメモリカードまたはmicroSDHCメモリカードのことを「microSDメモリカード」と記載します。

目次

取扱説明書の引きかた／見かた 1
目次 2
H-21の主な機能 6
本体付属品・オプション品について 7
安全上のご注意（必ずお守りください） 9

利用前の準備 25

各部の名称と機能 25
電池パックの取り付け／取り外し 31
電池パックを取り付ける 31
電池パックを取り外す 33
FOMAカードの取り付け／取り外し 33
FOMAカードを取り付ける 33
FOMAカードを取り外す 34
FOMAカードのPINコードについて 35
充電する 36
ACアダプターを使用して充電する 37
USBケーブルでパソコンと接続して充電する 38
別売の専用クレードルを使用して充電する 38
別売の専用クレードルで電池パックを充電する 39
電源を入れる／切る 40
電源を入れる 41
電源を切る 41
初期設定を行う 41
マイク付きイヤフォンの取り付け 42
microSDメモリカードの取り付け／取り外し 42
microSDメモリカードスロットカバーのロックを解除する 43
microSDメモリカードを取り付ける 43
microSDメモリカードを取り外す 44
デバイスロックについて 44

基本的な操作 45

タッチパネルディスプレイとキーの使いかた 45
タッチパネルディスプレイで操作する 45
キーで操作する 46
Today画面を利用する 48
スタートメニューからアプリケーションを起動する 51
アプリケーションを切り替える／終了する 52
アプリケーションを切り替える 52
アプリケーションを終了する 52
すべてのアプリケーションを終了する 52
電話・通信機能のオン／オフを切り替える 53
音量を調節する 53
モーションセンサーを利用する 53
モーションセンサーの有効／無効を切り替える 53
モーションセンサーで画面の向きを切り替える 54
スリープモードにする 54
リセット（再起動）する 55
操作方法を確認する 55
「お使いになる前に」を確認する 55
ヘルプを確認する 55

文字入力 56

Numericキーモデルの文字入力 56
文字種を切り替えて入力する 56
文字入力のための特別なキー操作 57
QWERTYキーモデルの文字入力 58
文字種を切り替えて入力する 58
文字入力のための特別なキー操作 58
iWnnを利用して文字を入力する 59
日本語入力システムとしてiWnnを使用する 59
予測機能とつながり予測機能を利用して入力する 60
ワイルドカード予測機能を利用して入力する 61
変換機能を利用して入力する 61
英数カナ変換機能を利用して入力する 62
一覧を表示して記号を入力する 62
データ検索機能を利用して入力する 63
ソフトウェアキーボードを利用して入力する 64
ソフトウェアキーボードを表示する 64
ローマ字／かなのソフトウェアキーボードで入力する 64
ひらがな／カタカナのソフトウェアキーボードで入力する 65
手書き入力で入力する 65
手書き検索で入力する 65
iWnnを設定する 66
ユーザー辞書に変換候補を登録する 66
一括辞書作成ツールを利用する 67

電話機能 68

H-21の電話番号を確認する 68
電話をかける 68
電話番号を入力して電話をかける 68
スマートダイヤルで電話をかける 69
リダイヤルで電話をかける 69
通話履歴から電話をかける 70
連絡先から電話をかける 70
発信者番号を通知／非通知にして電話をかける 70
電話を受ける 71
通話中に相手の声の音量を調節する 71
スピーカーフォンを利用する 71
スピードダイヤルを利用する 72
スピードダイヤルに連絡先の電話番号を登録する 72
スピードダイヤルを利用して電話をかける 72
電話モード(マナーモード)を設定する 73
公共モード(電源OFF)を利用する 74
公共モード(電源OFF)を設定する 74
公共モード(電源OFF)を解除する 75
公共モード(電源OFF)の現在の設定を確認する 75
ネットワークサービスを利用する 75
利用できるネットワークサービス 75
留守番電話サービスを利用する 76
キャッチホンを利用する 77
転送でんわサービスを利用する 78
迷惑電話ストップサービスを利用する 80
発信者番号通知を設定する 80
番号通知お願いサービスを利用する 81
追加サービスを設定する 81

連絡先／予定の管理 82

連絡先を管理する 82
連絡先を新規作成する 82
連絡先の登録内容を表示する 83
連絡先を検索する 83
連絡先を編集する 83
連絡先を削除する 84
メールグループを新規作成する 84
メールグループを利用してメールを送る 84
予定表を利用する 84
予定表を表示する 84
予定を新規登録する 84
予定を表示／編集する 85
予定を削除する 85
仕事を管理する 86
仕事を新規登録する 86
仕事の進捗状況を変更する 86
仕事を表示／編集する 87
仕事を削除する 87

データ通信 88

パケット通信を利用する 88
[既定のインターネット設定]にモデム接続を追加する 88
[既定のインターネット設定]のモデム接続を選択する 89
インターネットへの接続方法を追加する 89
インターネットへの接続方法を切り替える 90
VPNサーバーへの接続を設定する 90
ワイヤレスLANを利用する 91
アクセスポイントを検出して接続する 91
アクセスポイントの設定を追加する 92
ワイヤレスLANのネットワークアダプターを設定する 92
Wi-Fiユーティリティを利用する 93
ドメインに登録する 94
Bluetooth通信を利用する 94
H-21からパートナーシップを確立する 94
Bluetooth機器からパートナーシップを確立する 95
Bluetooth機器から使用するサービスを設定する 95
パートナーシップを削除する 96
Bluetooth通信でデータを送信する 96
Bluetooth通信でデータを受信する 96
赤外線通信を利用する 97
赤外線通信でデータを送信する 97
赤外線通信でデータを受信する 98
インターネット共有を利用する 98
インターネット共有を利用するための準備 98
インターネット接続の共有を開始する 99

パソコンとの同期 100

Windows Mobileデバイスセンターと ActiveSyncについて 100
Windows Mobileデバイスセンターを利用する 100
Windows Mobileデバイスセンターをパソコンにインストールする 101
パソコンのOutlookの設定を確認する 101
パソコンと接続して同期関係を設定する 101
パソコンと接続して同期させる 103

ActiveSyncを利用する 103
ActiveSyncをパソコンに
インストールする 103
パソコンのOutlookの設定を確認する.. 104
パソコンと接続して同期関係を設定する
..... 104
パソコンと接続して同期させる 105
Bluetooth通信でパソコンと同期させる
..... 106
Bluetooth通信で同期させるための準備
..... 106
Bluetooth通信で同期させる 106
赤外線通信でパソコンと同期させる..... 107
赤外線通信で同期させるための準備..... 107
赤外線通信で同期させる 107

メール 108

メールアカウントを新規設定する..... 108
一般のプロバイダーのアカウントを
設定する 108
自社のメールサーバーを利用した
アカウントを設定する 109
メールを利用する..... 109
メールを新規作成して送信する 109
[下書き]フォルダーのメールを送信する
..... 110
メールを受信する 110
添付ファイルを保存する 111
受信したメールに返信する 111
メールを転送する 112
メールを削除する 112
[削除済みアイテム]フォルダーを
空にする 112
メールを並べ替える..... 112
フォルダーを作成する..... 112
メールを別のフォルダーに移動する..... 113
アカウントを切り替える..... 113
署名を設定する 113
SMSを利用する 113
SMSを作成して送信する..... 113
受信したSMSを確認する 114

Webブラウザ 115

Internet Explorer Mobileで
Webページを閲覧する 115
コンテキストメニューを利用する..... 116
お気に入りを利用する..... 116
お気に入りにWebページを登録する..... 116
お気に入りのWebページにアクセスする
..... 117
お気に入りにフォルダーを追加する..... 117
お気に入りを編集する..... 117
お気に入りを削除する..... 117
メニューを利用する..... 118

バーコードリーダー 119

バーコードリーダーを設定する 119
バーコードリーダーの有効／無効を
切り替える 121
一次元バーコードモデルの使いかた..... 121
二次元コード対応モデルの使いかた..... 122

その他の機能..... 124

エクスプローラーでファイルを管理する
..... 124
ファイルやフォルダーの名前を変更する
..... 124
フォルダーを作成する..... 124
ファイルやフォルダーを移動／
コピーする 125
ファイルやフォルダーを削除する 125
Office Mobileを利用する..... 125
Word Mobileを利用する 125
Excel Mobileを利用する..... 125
PowerPoint Mobileを利用する 126
OneNote Mobileを利用する..... 126
Adobe Reader LEでPDFファイルを
表示する 127
メモを取る 127
メモを新規作成する..... 127
録音する..... 128
電卓で計算する..... 128
データを検索する..... 128
カメラで撮影する..... 128
カメラを設定する 129
画像を撮影する 129
ビデオを撮影する 130
画像やビデオを表示／再生する 130
Windows Media Player Mobileを
利用する 130
Microsoftのオンラインサービスを
利用する 131
Windows Liveを利用する..... 131
Messengerを利用する 132
Microsoft My Phoneを利用する..... 132
Marketplaceを利用する..... 132
MSN天気予報を利用する..... 133
MSNマネーを利用する 133
検索ウィジェットで検索する..... 133

ゲームで遊ぶ 134
JBlendを利用する 134
Javaアプリケーションをインストールする 134
Javaアプリケーションを起動する 134
JBlendのメニューを利用する 134
リモートデスクトップモバイルを利用する 135
パソコンに接続してデスクトップを表示する 135
オプションを設定する 135
バックアップマネージャーを利用する 135
完全バックアップをする 136
カスタムバックアップをする 136
バックアップファイルからリストアする 136
端末の設定／管理 137
画面や音に関する設定 137
Today画面を設定する［Today］ 137
バックライトを設定する［バックライト］ 137
タッチパネルディスプレイを調整する［画面］ 138
文字のサイズを変更する［画面］ 138
電話の着信音を設定する［電話］ 138
音と通知を設定する［音と通知］ 138
時計とアラームを設定する［時計とアラーム］ 139
キー操作や入力に関する設定 139
キーバックライトの点灯を設定する［キーバックライト］ 139
入力の設定をする［入力］ 140
ボタン操作を設定する［ボタン］ 140
GPSに関する設定 141
A-GPS機能を設定する［A-GPS設定］ 141
外付けGPSを設定する［外付けGPS］ 141
セキュリティに関する設定 142
PINコードの入力を必要にする［電話］ 142
PINコードを変更する［電話］ 142
デバイスロックを設定する［ロック］ 143
ファイルを暗号化してmicroSDメモリカードに保存する［暗号化］ 144
端末の管理 144
オーナー情報を登録する［オーナー情報］ 144
デバイス名を変更する［バージョン情報］ 145
バージョン情報を確認する［バージョン情報］ 145
地域を設定する［地域］ 145
電話のネットワークとモードを確認する［電話］ 145
パワーマネージメントを設定する［パワーマネージメント］ 146
メモリの使用状況を確認する［メモリ］ 146
プログラムを削除する［プログラムの削除］ 147
カスタマーフィードバックを設定する［カスタマーフィードバック］ 147
エラー報告を設定する［エラー報告］ 147
電子証明書を確認する［証明書］ 148
無線LANのMACアドレスなどを確認する［デバイスインフォメーション］ 148
管理プログラムのインストール履歴を確認する［管理プログラム］ 148
付録／困ったときは 149
困ったときは 149
H-21から利用できる電話サービス 151
海外での利用について 151
主な仕様 152
携帯電話機の比吸収率について 154
日本輸出管理規制／米国再輸出管理規制について 154
電波障害自主規制について 155
知的財産権について 155
著作権について 155
肖像権について 156
商標について 156
Windowsの表記について 157
索引 158

H-21の主な機能

H-21は、フルブラウザ、メール、Mobile Office、カメラなどに対応したWindows Mobile搭載の多機能携帯電話「スマートフォン」の機能と、バーコードの読み取りやデータ蓄積を行うことができ、耐環境性能に優れた「ハンディターミナル」の機能を1台に集約した業務用携帯端末です。

■多彩な通信機能とインターフェイス
通信方法は、W-CDMAをはじめ、Wi-Fi（ワイヤレスLAN）、Bluetooth、赤外線通信、GPSに対応しています。
インターフェイスは、mini USBポート、microSDメモリカードスロット、イヤフォンマイクジャック、クレードル接続端子が用意されています。

■バーコードスキャナー
一次元バーコードモデルでは、JAN、EAN、UPC-A、UPC-E、NW-7（Codabar）、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、Code 39、Code 128、GS1 DataBarなどのコードを赤色半導体レーザーで読み取ることができます。
二次元コード対応モデルでは、一次元バーコードに加えて、QR Code、MicroQR Code、PDF417などの二次元コードも、高速オートフォーカス機能を搭載したCMOSエリアセンサーで読み取ることができます。

■NumericキーまたはQWERTYキーを装備
Numericキーモデルには、ダイヤルキーが装備されています。通常の携帯電話と同じ感覚で、電話番号を入力して電話をかけることができます。
QWERTYキーモデルには、フルキーのQWERTYキーが装備されています。QWERTYキーを利用すると、すばやく文字入力ができます。

■安心の長時間駆動
大容量の電池パックの採用により、長時間駆動を実現しています。約780分の連続通話が可能です。

■優れた耐環境性能
IP64準拠し、耐落下性能1.2mを実現しています。防塵･防滴に優れたH-21は、様々な環境において安心してご使用になれます。

■大容量メモリ
H-21本体に大容量メモリ（FROM：256MB、RAM：256MB）を搭載しています。業務に使用するマスターデータや収集したデータの容量が大きな場合も、問題なく扱うことができます。

■GPS機能
H-21のGPS機能では、現在位置の単独測位が可能です。また、A-GPS機能にも対応しています。

■カメラ
オートフォーカスを搭載した3.2メガピクセルのカメラで、最大2,048×1,536ピクセルの画像（静止画）や、最大640×480ピクセルのビデオ（動画）を撮影することができます。

■フルブラウザ
パケット通信やワイヤレスLANなどでインターネットに接続すると、Internet Explorer Mobileを利用してWebページを閲覧できます。

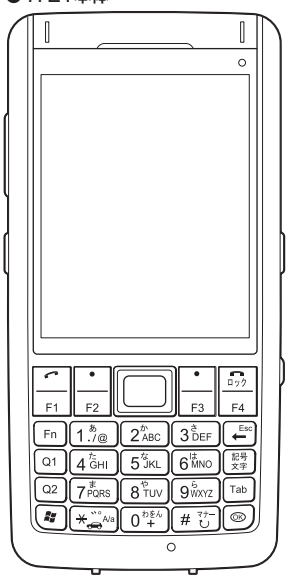
■メール
メール機能では複数のアカウントが設定でき、アカウントごとに送受信したメールを管理できます。パソコンのOutlookメールと同期させたり、ドコモの携帯電話とSMS(テキストのショートメール)をやり取りすることもできます。

本体付属品・オプション品について

H-21本体および付属品

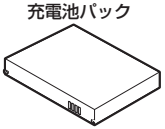
H-21本体および付属品は次の通りです。ご確認のうえ、万が一欠品、破損品がございましたら、お買い上げになった販売代理店、またはオプトエレクトロニクス社サポート窓口(http://www.opto.co.jp/products/support/h-21/またはE-mail: h-21_tecinfo@opto.co.jp)までご連絡ください。

● H-21本体



※ このイラストはNumericキーモデルです。

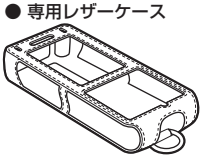
● リチウムイオン充電池パック



● PC接続用USBケーブル

● ACアダプター

● 専用レザーケース



● スタイラスペン

● スタイラスペン用紐

● マイク付きイヤフォン

● イヤフォン用変換ケーブル

● オープナー

● ハンドストラップ

● お使いになる前にディスク(CD-ROM)

● 取扱説明書(本書)

● クイックスタートガイド

おしらせ

- H-21本体には、キーの種類によってNumericキーモデルとQWERTYキーモデルがあります。また、バーコードスキャナーの種類によって一次元バーコードモデルと二次元コード対応モデルがあります。
- スタイラスペンは、H-21本体に収納されています。
- microSDメモリカードは、付属していません。

オプション品（別売品）

H-21のオプション品（別売品）は次の通りです。

■CRD-21（専用クレードル）

- ACアダプター
- クイックスタートガイド

■STD-H21（カーキット）

- クレードル
- マウントユニット
- 電源ケーブル
- クイックスタートガイド

安全上のご注意(必ずお守りください)

- 「安全上のご注意」には、H-21をお使いになる方や、他の方への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。必ずお守りください。
- ご使用にあたっては、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される」内容を示します。

- 図記号の意味は、以下の通りです。

禁止	禁止(行ってはいけないこと)を示します。	分解禁止	分解してはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。	水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

- 「安全上のご注意」は、次の項目に分けて説明しています。

1 H-21本体、電池パック、充電用機器、FOMAカードの取り扱いについて(共通) P.10
2 H-21本体の取り扱いについて P.11
3 電池パックの取り扱いについて P.14
4 充電用機器の取り扱いについて P.15
5 FOMAカードの取り扱いについて P.16
6 医用電気機器近くでの取り扱いについて P.16

1 H-21本体、電池パック、充電用機器、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

必ず指定の周辺機器をご使用ください。

■ H-21本体および周辺機器

- リチウムイオン充電池パック
- スタイラスペン（本体に付属）
- スタイラスペン用紐
- PC接続用USBケーブル
- ACアダプター
- 専用レザーケース
- マイク付きイヤフォン
- イヤフォン用変換ケーブル
- オープナー
- ハンドストラップ
- 取扱説明書
- CD-ROM
- クイックスタートガイド

■ CRD-21（専用クレードル）

- ACアダプター
- クイックスタートガイド

■ STD-H21（カーキット）

- クレードル
- マウントユニット
- 電源ケーブル
- クイックスタートガイド

（■は商品、•は商品の付属品を示します。）

H-21に使用する電池パックおよび充電用機器は、当製品で指定したものをご使用ください。

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所では使用、保管、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、発火、破裂、火災の原因となります。

分解、改造をしないでください。また、はんだ付けをしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

濡らさないでください。

電池パック、充電用機器、FOMAカードは防水仕様になっておりません。

水などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いには十分ご注意ください。

※ 注：H-21本体は、防塵・防滴性能に優れていますが、完全な"防水仕様"ではありません。

⚠警告

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

落下などの原因で破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。
感電したり、破損部でけがをしたりすることがあります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合、必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。
また、充電しないでください。ガスに引火する恐れがあります。

使用中や充電中、異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なる状態にお気づきになった際は、直ちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. H-21の電源を切る。
3. 電池パックをH-21から取り外す。
そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パック漏液の原因となります。

⚠注意

湿気やほこりの多い場所、高温になる場所には保管しないでください。
故障の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

子供や乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
けがや、誤って飲み込むなどの原因になることがあります。

充電用機器に接続した状態での長時間のご使用にご注意ください。
充電しながら電話やメールなどでH-21を長時間使用すると、H-21や電池パック、充電用機器の温度が高くなることがあります。また、温度の高い部分に直接長時間触れると、お客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる、低温やけどを引き起こすなどの恐れがあります。

2 H-21本体の取り扱いについて

⚠警告

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着をおやめください。
H-21を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

H-21内のFOMAカード挿入口に、液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

禁止

レーザーを用いたバーコードスキャナーをご使用になる場合、赤色照明やレーザーを人の目の前で発光させないでください。また、レーザー点灯時は、レーザー光を直接のぞき込まないでください。
失明などの障害やけいれんなどの症状を引き起こす原因となります。

※ レーザー式バーコードスキャナーは、業務用に使用を限定することで製造･販売が許可されております。

禁止

自動車などの運転者に向けて、バーコードスキャナーのレーザーを点灯させないでください。
目がくらんで運転不能となり、事故を起こす原因となります。

禁止

歩行中に操作しないでください。
転倒や交通事故などの原因になります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、はんだ付けをしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、H-21の電源をお切りください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関内でご使用になる場合は、各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用など禁止行為を行った場合、法令により罰せられることがあります。

指示

運転中のH-21のご使用にご注意ください。
交通事故の元となり、大変危険です。また、運転中に携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーでかけ直すことを伝え、安全な場所に停車してから発信･通話してください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずH-21を耳から離してください。
音量が大きすぎると耳に悪い影響を与える恐れがあります。また、周囲の音が聞こえにくいと事故の原因となります。

指示

イヤフォンをH-21に装着して音声ガイダンスや音楽再生をする場合は、適度な音量に調節してください。
音量が大きすぎると耳に悪い影響を与える恐れがあります。また、周囲の音が聞こえにくいと事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレーター（振動）や着信音量の設定にご注意ください。
心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に雷が鳴り出した場合は、すぐに電源を切り、安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、H-21の電源をお切りください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える可能性があります。

指示

万が一、タッチパネルディスプレイ部やカメラのレンズが破損した場合は、割れたガラスや露出したH-21の内部にご注意ください。
誤って破損部分や露出部分に触れると、けがの原因となります。

寒い場所から暖かい場所へH-21を移す場合はご注意ください。
H-21本体が結露して発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となる場合があります。万が一結露した場合には付着した水滴が蒸発するまで、H-21の使用を控えてください。

ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す画面を見ていたりすると、一時的に筋肉のけいれんや意識喪失などの症状を引き起こす場合があります。
このような経験のある方は、事前に必ず医師にご相談ください。

⚠注意

ストラップやスタイラス用紐を持ってH-21を振り回さないでください。
けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

誤ってタッチパネルディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合は、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石けんで水洗いしてください。失明や皮膚に障害を起こす原因となります。

読み取り窓の部分に傷をつけないでください。
バーコード読み取りの際、うまく読み取れなくなることがあります。また、目に障害を及ぼす恐れがあります。

赤外線ポート部分に傷をつけないでください。
赤外線通信ができなくなる可能性があります。

電源が入っている状態で、電池パックを引き抜かないでください。
保存していたデータが消去されたり、正常に動作しなくなったりする恐れがあります。

着信音が鳴っているときや、音声ガイダンスを再生しているときなどは、H-21のスピーカーに耳を近づけないでください。
耳に悪い影響を与える恐れがあります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。
安全走行を損なう恐れがありますので、状況によっては使用しないでください。

お客様の体質や体調によっては、素材によるかゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。

3 電池パックの取り扱いについて

H-21の電池パックは、リチウムイオン充電池です。電池パックは、お買い上げ時には十分充電されていませんので、充電してからお使いください。

Li-ion

⚠危険

電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。取り付けがうまくいかない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、金づちで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子に針金などの金属性のものを接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷など、外部からの衝撃により電池パックに異常がみられた場合は、直ちに使用をおやめください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

電池パックを水や海水などで濡らさないでください。また、濡れた電池パックを充電しないでください。
発熱、破損、発火の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは端子にテープなどを貼り、絶縁したうえで、回収を行う市町村の指示に従ってください。

電池パック内部の液体が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に障害を起こす原因となります。

4 充電用機器の取り扱いについて

⚠警告

充電用機器のコードや電源コードが傷んだ場合は、使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。また、充電器や充電用ケーブルなどを布などで覆ったり包んだりしないでください。
H-21が外れたり、熱がこもったりするなど、火災、故障の原因となります。

充電用機器のコードや電源コードの上に重いものを乗せたりしないでください。
感電の原因となります。

ACアダプターは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、H-21、充電用機器には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

濡れた手で充電用機器のコードやコンセントなどに触れないでください。
感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
ACアダプター：AC100～240V

電源プラグについたほこりは、きれいに拭き取ってください。
火災の原因となります。

ACアダプターをコンセントに挿し込むときは、金属性のものを触れさせないように注意して、確実に挿し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

充電用機器をコンセントなどから抜く場合は、充電用機器のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、ショート、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントなどから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントなどから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

5 FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

FOMAカード(IC部分)を取り外す際は、切断面にご注意ください。
手や指を傷つける恐れがあります。

6 医用電気機器近くでの取り扱いについて

●「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準じます。

⚠警告

医療機関の屋内では、以下の内容を守って使用してください。
- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはH-21を持ち込まないでください。
- 病棟内では、H-21の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源をお切りください。

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている場合は、H-21を装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える恐れがあります。

満員電車の中など混雑した場所では、H-21の電源をお切りください。
付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性があり、電波でこれらの作動に影響を与える恐れがあります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について、個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により、医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上のご注意

性能を十分に発揮できるようお守りいただきたい事項です。
よくお読みのうえ、正しくご使用ください。

共通のご注意

● **水をかけないでください。**
電池パック、充電用機器、FOMAカードは防水仕様になっておりません。湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用は避けてください。また身につけている場合、汗による湿気で内部が腐食し、故障する原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、修理できる場合でも保証対象外の場合は有償修理となりますのでご注意ください。

● **H-21や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットの中に入れて座ったりしないでください。タッチパネルディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に挿した状態の場合、コネクター破損、故障の原因となります。

● **タッチパネルディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

● **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により、結露し、内部が腐食するなど故障の原因となります。

● **お手入れは乾いた柔らかい布で拭いてください。**
・お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、タッチパネルディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、タッチパネルディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミやコーティングが剥がれる原因となります。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色が褪せたりすることがあります。

● **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭き取ってください。その際、端子の破損には十分ご注意ください。

● **読み取り窓の部分はときどき清掃してください。**
ゴミや油などが付着すると、読み取りが行えなくなる場合があります。

H-21本体についてのご注意

● **タッチパネルディスプレイの表面を、ピンや爪など、先の尖ったもので強く押さないでください。**

● **極端な高温、低温でのご使用および保管は避けてください。**
温度は-10～50℃、湿度は0～80% RHの範囲でご使用ください。

● **お客様ご自身でH-21に登録した情報内容は、適宜バックアップをとってください。**
万が一登録された情報内容が消失した場合も、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

● **使用中または充電中、H-21が温かくなる場合がありますが、異常ではありません。**
そのままご使用ください。

● **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に、斜めに挿したり、挿した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

● **コネクター／スロットなどへの脱着は、正しい方向に行ってください。**
斜め方向から無理に行うと破損の原因になります。

● **外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り、故障の原因となります。

● **microSDメモリカード、USB機器などの使用中は、これらを取り外したり、H-21の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

● **電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで、H-21を使用しないでください。**
これらの機械に影響を与える場合があります。なるべく離れた場所でご使用ください。

● **磁気カードなどをH-21に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまう場合があります。

● **H-21に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると、誤動作を引き起こす可能性があります。

● **改造されたH-21は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は、電波法に抵触します。**
技適マーク
H-21は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク」がH-21の機銘板シールに表示されています。
H-21のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準的動証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触します。絶対に使用しないでください。

電池パックについてのご注意

● **充電は、適正な周囲温度の場所で行ってください。**
温度は-10～50℃の範囲でご使用ください。

● **初めてお使いのときや、長時間使用しない場合は、ご使用前に必ず充電してください。**

● **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度合によって異なります。**

● **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨らむ場合がありますが問題ありません。**

● **電池パックが消耗した場合は、新しいものをお買い求めください。**
電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用時間が極端に短くなった時が、電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

● **電池パックを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。**
次の状態で電池パックを保管すると、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
・満充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
・電池残量なしの状態(H-21本体の電源が入らないほど消費している状態)での保管
長期間保管される場合は電池パックをH-21から取り外して保管してください(その場合は、H-21内部のRAMデータは保持できません)。

充電用機器についてのご注意

● **充電は、適正な周囲温度の場所で行ってください。**
充電は0～45℃の温度範囲内で行ってください。

● **次のような場所では、充電しないでください。**
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機、テレビ、ラジオなどの近く

● **充電中、充電用機器が温かくなる場合がありますが、異常ではありません。**
そのままご使用ください。

● **強い衝撃を与えないでください。**
故障の原因となります。

FOMAカードについてのご注意

● **FOMAカードの取り付け／取り外しの際は、必要以上に力をかけないでください。**

● **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

● **FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。

● **FOMAカードを曲げたり、重いものを乗せたりしないでください。**
故障の原因となります。

● **FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、H-21に取り付けないでください。**
故障の原因となります。

● **極端な高温、低温下でのご使用は避けてください。**

● **使用中、FOMAカードが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。**
そのままご使用ください。

● **IC部分は常にきれいな状態にしてご使用ください。**

● **お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**

● **お客様ご自身でH-21に登録した情報内容は、適宜バックアップをとってください。**
万が一登録された情報内容が消失した場合も、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

● **環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

Bluetooth機能を使用する場合のご注意

● **H-21は、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。**
Bluetooth機能を使用して通信を行う場合は、十分な動作確認を行ってください。

● **Bluetooth機能を使って通信を行った場合にデータや情報の漏洩が発生した場合、当社では責任を負いかねます。**
あらかじめご了承ください。

● **周波数帯について**
H-21でBluetooth機能、無線LAN機能が使用する周波数帯に関する情報は、以下の通りです。
- 2400MHz帯を使用する無線設備である。
- 変調方式は、FH-SS、DS-SS、OFDMに対応している。
- 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能である。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

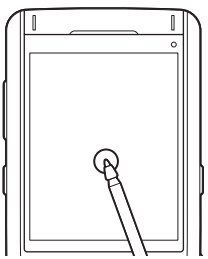
● **Bluetooth機器使用上の注意事項**
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ラインなどで使用される免許が必要な移動体識別用構内無線局、免許を必要としない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略する)が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など、電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、オプトエレクトロニクス社のサポートページ(http://www.opto.co.jp/products/support/h-21/)までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのご注意

● **無線LAN(WLAN)について**
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところでは使用しないでください。
- 磁気や電機雑音の影響を受けると、雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります。

・テレビ･ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
・Bluetoothと同時に使用する際はご注意ください。パフォーマンスが落ちたり、通信ができなくなったりする場合があります。無線LANは他の無線機能と同時に使用しないことをおすすめします。

● **無線LANを日本、および海外で使用する場合は国によって仕様が異なりますので、使用される国によって以下のように設定して、ご使用ください。**
間違った設定で使用されると罰せられることがあります。
国別の設定は
[スタート]▶[Wi-Fi ユーティリティ]▶[規制]
とタップして、右図において使用される国、地域を設定して、ご使用ください。



● **2.4GHz機器使用上の注意事項**
無線LAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業･科学･医療用機器の他、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要な無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許が必要な無線局)が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用周波数を変更するか、ご利用を中断してください。また、オプトエレクトロニクス社のサポートページ(http://www.opto.co.jp/products/support/h-21/)までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、お困りのことがありましたら、オプトエレクトロニクス社のサポートページ(http://www.opto.co.jp/products/support/h-21/)までお問い合わせください。

レーザーについてのご注意

H-21は、レーザー式バーコードスキャナーを搭載した多機能携帯端末です。

● **H-21読み取り方式**
一次元バーコードモデル:赤色半導体レーザー
二次元コード対応モデル:CMOSエリアセンサー(レーザーポインター含む)

● **レーザー光に関する注意**

・H-21のバーコードスキャナー部のレーザー（LED）安全規格およびクラスは次の通りです。

一次元バーコードモデル：IEC 60825-1:2007 Class2
二次元コード対応モデル：IEC 60825-1:2007 Class2
リスク免除グループ（LED）
IEC 60825-1:2007 Class2
（レーザーポインター）

・本取扱説明書で規定した手順以外の操作や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらす恐れがあります。
・レーザー光を直接のぞき込まないでください。目に障害を及ぼす場合があります。
・光学器具で直接ビームをのぞき込まないでください。目に障害を及ぼす場合があります。

カメラ機能についてご注意

● **カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。**

● **カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。**
素子の退色・焼き付きを起こす場合があります。

● **H-21の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ（以下「データ」と略す）が変化または消失することがあります。**
この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益などについては、一切の責任を負いませんのでご了承ください。

● **他人の容貌などをみだりに撮影・公表することはしないでください。**
その人の肖像権の侵害となる恐れがあります。

● **大切な撮影をするときは、試し撮りを行ったうえ、画像を再生してご確認ください。**
正しく撮影されているか、聞き取りやすく録音されているか、などご確認ください。

● **撮影が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはおやめください。**

耐落下性能、防塵・防滴性能について

防塵・防滴性能について

H-21は、IEC保護等級（機器内部への、人体および固形異物の侵入、水の侵入に対する保護の程度を示した規格）に基づき、「IP64」の防塵・防滴性能を備えています。

● IP64の防塵・防滴性能について
- IP6X（防塵性能）：粉塵が侵入しないことを示します。
- IPX4（防滴性能）：いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けないことを示します。

● 防塵・防滴に関するご注意

【防塵について】
- H-21に、砂や泥が付着しないようにしてください。
- 砂浜や砂場などの砂の上に直接置かないでください。

【防滴について】
- H-21に石けん水、海水、温泉、熱湯などをかけたり、つけたりしないでください。
- 手やH-21が濡れているときに、外部接続端子カバーや電池パックの取り付け／取り外しは絶対にしないでください。
- 湿気の多い場所には長時間放置しないでください。
- コンロの脇や冷蔵庫の中など、極端に高温、低温になる場所に置かないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から温かい場所へH-21を持ち込む場合は、H-21が常温になったことを確認してください。万が一結露が発生した場合は、取れるまで常温で放置してください。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 接触面に細かいゴミ（砂粒1個、微細な繊維など）が挟まると浸水の原因となりますのでご注意ください。

【共通事項】
- H-21の性能は、すべての状況で動作を保証するものではありません。
- 電池パックや付属品は、防塵・防滴性能に対応しておりません。
- 落下させるなどH-21に強い衝撃を与えたり、送話口、受話口、スピーカーなどを尖ったものでつついたりしないでください。性能が損なわれることがあります。
- H-21は、外部接続端子カバーと電池パックをきちんと取り付けた状態ではじめて保護等級IP64の防塵・防滴性能を保つことができます。必ず装着してください。
- 外部接続端子カバーや電池パックに劣化、破損があるときは、防塵・防滴性能を保つことができません。オプトエレクトロニクス社のサポートページ（http://www.opto.co.jp/products/support/h-21/）までお問い合わせください。

● 充電に関するご注意
- 充電用機器は、防塵・防滴に対応しておりません。洗面所、台所など水のかかる可能性のある場所や、屋外など塵の多い環境では使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- H-21が濡れているときは絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災、故障の原因となります。
- 外部接続端子カバーを取り外して充電したときは、充電後しっかりとカバーを取り付けてください。
- 濡れた手で充電用機器に触れないでください。感電の原因となります。

耐落下性能について

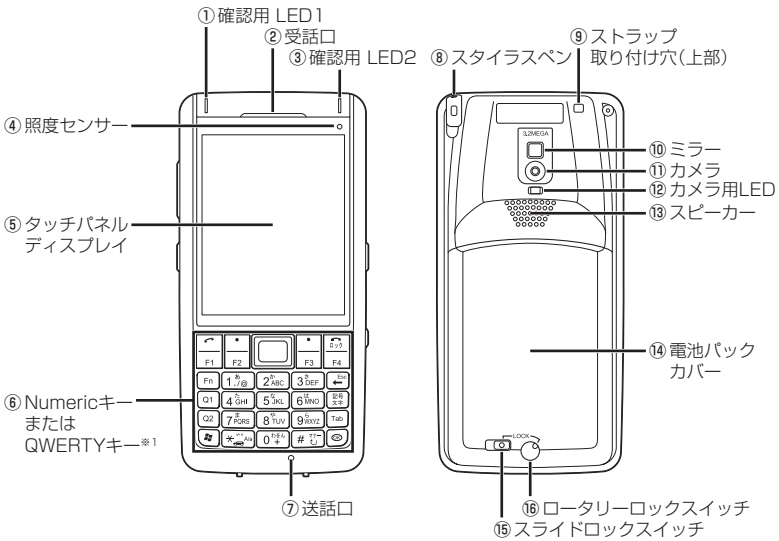
高さ120cmからコンクリート床面に自然落下しても異常がないように設計されています。(6面、4コーナー、計10回)

※ 高さ120cmは試験値であり保証値ではありません。

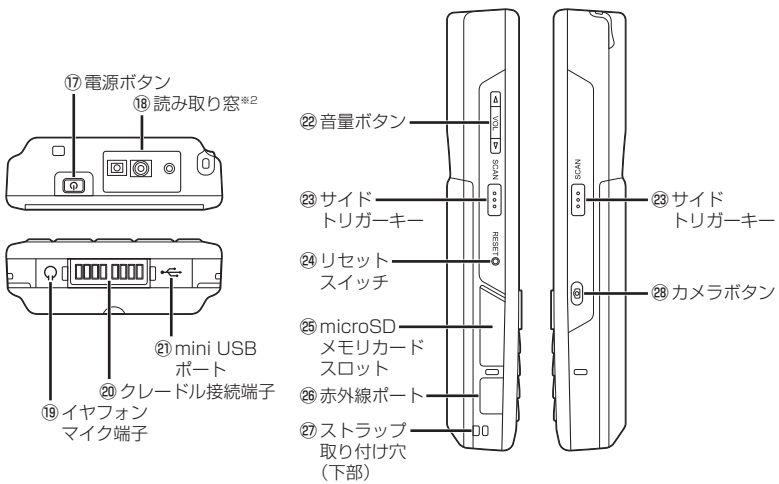
● **故意に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。**
機器の故障の原因となります。また、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。

利用前の準備

各部の名称と機能



※1 このイラストは、Numericキーモデルです。



※2 このイラストは、二次元コード対応モデルです。

① **確認用LED1**
確認用LED1は、次の場合に点滅します。

状態	Bluetooth機能がオンの場合	ワイヤレスLAN機能がオンの場合	Bluetooth機能とワイヤレスLAN機能が両方ともオンの場合
確認用LED1	青色で点滅	緑色で点滅	青色と緑色で交互に点滅

※ お買い上げ時の設定では、スリープモードになるとワイヤレスLAN機能は一時的にオフになります。その場合、確認用LED1は緑色で点滅しません。

② **受話口**
通話中に相手の声がここから聞こえます。

③ **確認用LED2**
確認用LED2は、次の場合に点灯または点滅します。

状態	充電エラー	充電中	電池の残量が少ない場合	不在着信または未確認のメールがある場合	満充電	電話機能がオンの場合
確認用LED2	赤色で点灯	オレンジ色で点灯	赤色で点滅	赤色で点滅	緑色で点灯	緑色で点滅

※ 確認用LED2が点滅または点灯する際の優先順位は、次の通りです。
充電エラーの赤色の点灯＞充電中のオレンジ色の点灯＞電池の残量が少ない場合の赤色の点滅＞不在着信または未確認のメールがある場合の赤色の点滅＞満充電の緑色の点灯＞電話機能がオンの場合の緑色の点滅

④ **照度センサー**
照度センサーで周囲の明るさを感知して、自動的にタッチパネルディスプレイのバックライトの明るさが調整されます。明るい場所では自動的にタッチパネルディスプレイが明るくなり、暗い場所ではタッチパネルディスプレイが暗くなります。照度センサーを指で覆ったり、シールを貼らないでください。

⑤ **タッチパネルディスプレイ**
画面を付属のスタイラスペンでタップしたり、指で触れることで操作できます。

⑥ **Numericキーまたは QWERTYキー**
Numericキーモデルの場合は、Numericキーが装備されています。
QWERTYキーモデルの場合は、QWERTYキーが装備されています。電話番号や文字の入力などに使用します。

⑦ **送話口**
通話中に音声を送ります。

⑧ **スタイラスペン**
付属のスタイラスペンです。付属のスタイラスペンは、H-21に差し込んで収納することができます。

⑨ **ストラップ取り付け穴(上部)**
付属のハンドストラップやスタイラス用紐などを取り付けることができます。

⑩ **ミラー**
カメラで自分を撮影するときに使用します。

⑪ **カメラ**
画像(静止画)やビデオ(動画)を撮影する際に使用します。

⑫ **カメラ用LED**
カメラの撮影時に点灯させることができます。

⑬ **スピーカー**
着信音や、音楽の再生音、効果音などは、スピーカーから聞こえます。また、スピーカーフォンで通話する場合は、通話中の相手の音声がスピーカーから聞こえます。

⑭ **電池パックカバー**

⑮ **スライドロックスイッチ**
ロータリーロックスイッチが動かないようにロックします。

⑯ **ロータリーロックスイッチ**
電池パックカバーをロックします。

⑰ **[⏻] 電源ボタン**
電源がオフになっている場合は、[⏻] を短く押すと電源がオンになります。
電源がオンになっている場合は、[⏻] を短く押すとスリープモードになります。スリープモード中に [⏻] を短く押すと、スリープモードから復帰させることができます。
電源をオフにするには、5秒以上 [⏻] を押し続け、**[はい]**を選択します。

⑱ **読み取り窓**
一次元バーコードモデルの場合は、赤色半導体レーザー方式のレーザースキャナーが装備されています。二次元コード対応モデルの場合は、CMOSエリアセンサー方式のイメージャースキャナーが装備されています。
※ 読み取り窓からレーザー光を直接のぞかないでください。目に障害を及ぼす場合があります。

⑲ **イヤフォンマイク端子(2.5mm)**
付属のマイク付きイヤフォンやイヤフォン用変換ケーブルを接続できます。
3.5mmプラグのイヤフォンを使用する場合は、付属のイヤフォン用変換ケーブルをH-21に接続して、イヤフォン用変換ケーブルにイヤフォンを接続してください。

⑳ **クレードル接続端子**
別売の専用クレードルや、別売のカーキットと接続する際に使用します。

㉑ **mini USBポート**
付属のACアダプターやUSBケーブルを接続する際に使用します。

㉒ **[◁ VOL ▷] 音量ボタン**
着信音の音量や、スピーカーの音量を調節します。発信中や通話中は、相手の声の音量(受話音量)を調節します。

㉓ **[○○○] サイドトリガーキー**
コードの読み取りに使用します。左右どちらのキーを押しても、コードを読み取ることができます。

㉔ **リセットスイッチ**
付属のスタイラスペンで押すと、H-21がリセット(再起動)します。

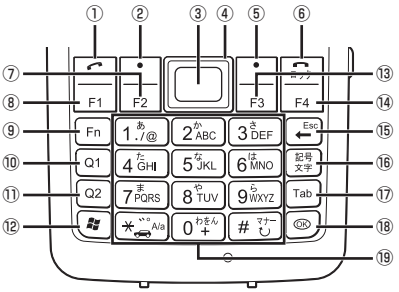
㉕ **microSDメモリカードスロット**
別売のmicroSDメモリカードを取り付けることができます。

㉖ **赤外線ポート**
赤外線通信時に赤外線を送受信します。

㉗ **ストラップ取り付け穴(下部)**
付属のハンドストラップなどを取り付けることができます。

㉘ (📷) **カメラボタン**
カメラ起動中に押すと撮影します。

■Numericキーモデルのキーの名称と機能



① **発信キー**
電話画面を表示します。電話番号を入力した後で押すと、電話をかけます。

② **左ソフトキー**
画面下部のメニューバーの左側に表示された項目を実行します。

③ **セレクトキー**
項目を選択したり、実行します。

④ **カーソルキー**
カーソルを動かしたり、画面をスクロールさせます。
※ この取扱説明書では、上下左右のいずれかの方向にカーソルキーを押すことを ✣ と記載します。上下どちらかの方向に押すことを ↕、左右どちらかの方向に押すことを ↔ と記載します。

⑤ **右ソフトキー**
画面下部のメニューバーの右側に表示された項目を実行します。

⑥ **終話/ロックキー**
電話を切ります。通話中以外に1秒以上押し続けると、デバイスロックでロックします。

⑦ **F2キー**
[ボタン]の**[プログラムボタン]**タブで設定されている機能を実行します。設定方法については、「ボタン操作を設定する[ボタン]」(P.140)を参照してください。

⑧ **F1キー**
[ボタン]の**[プログラムボタン]**タブで設定されている機能を実行します。

⑨ **ファンクションキー**
Fn を押してから Esc や 記号文字 を押すと、キーに黄色で印字された内容を実行します。

⑩ **Q1キー**
[ボタン]の**[プログラムボタン]**タブで設定されている機能を実行します。

⑪ Q2 **Q2キー**
[ボタン]の**[プログラムボタン]**タブで設定されている機能を実行します。

⑫ **Windowsキー**
スタートメニューを表示します。

⑬ F3 **F3キー**
[ボタン]の**[プログラムボタン]**タブで設定されている機能を実行します。

⑭ F4 **F4キー**
[ボタン]の**[プログラムボタン]**タブで設定されている機能を実行します。

⑮ Esc **バックスペース／エスケープキー**
1つ前の文字を削除します。Fn を押してから Esc を押すと、操作をキャンセルします。

⑯ 記号文字 **文字／記号キー**
入力する文字の種類を変更します。Fn を押してから 記号文字 を押すと、記号の一覧が表示され、記号を入力できます。

⑰ Tab **タブキー**
入力画面や設定画面でカーソルを移動します。

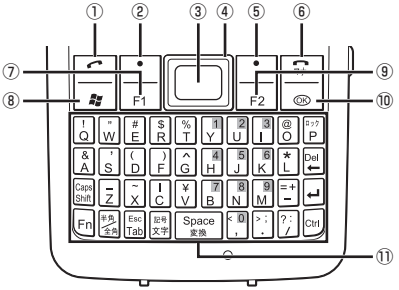
⑱ OK **OKキー**
画面右上の**[OK]**または**[×]**をタップする代わりに使用します。

⑲ 0 ひきだん 〜 9 WXYZ、*、# ダイヤル／**文字入力キー**
電話番号の入力や、文字入力で使用します。
ダイヤル を1秒以上押し続けると、電話モードがマナーモード以外の場合はマナーモードに切り替わり、電話モードの設定画面が表示されます。電話モードがマナーモードの場合は、電話モードの設定画面が表示されます。
* 入力モード を1秒以上押し続けると、電話モードが公共モード(ドライブモード)以外の場合は公共モード(ドライブモード)に切り替わり、電話モードの設定画面が表示されます。電話モードが公共モード(ドライブモード)の場合は、電話モードの設定画面が表示されます。

おしらせ

● 文字入力時の詳しいキー操作方法については、「Numericキーモデルの文字入力」(P.56)を参照してください。

■QWERTYキーモデルのキーの名称と機能



① **発信キー**
電話画面を表示します。電話番号を入力した後で押すと、電話をかけます。

② **左ソフトキー**
画面下部のメニューバーの左側に表示された項目を実行します。

③ **セレクトキー**
項目を選択したり、実行します。

④ **カーソルキー**
カーソルを動かしたり、画面をスクロールさせます。
※ 本書では、上下左右のいずれかの方向にカーソルキーを押すことを ✣ と記載します。上下どちらかの方向に押すことを ↕、左右どちらかの方向に押すことを ↔ と記載します。

⑤ **右ソフトキー**
画面下部のメニューバーの右側に表示された項目を実行します。

⑥ **終話／マナーキー**
電話を切ります。通話中以外に1秒以上押し続けると、電話モードがマナーモード以外の場合はマナーモードに切り替わり、電話モードの設定画面が表示されます。電話モードがマナーモードの場合は、電話モードの設定画面が表示されます。

⑦ **F1キー**
[ボタン]の**[プログラムボタン]**タブで設定されている機能を実行します。設定方法については、「ボタン操作を設定する[ボタン]」(P.140)を参照してください。

⑧ **Windowsキー**
スタートメニューを表示します。

⑨ **F2キー**
[ボタン]の**[プログラムボタン]**タブで設定されている機能を実行します。

⑩ **OKキー**
画面右上の**[OK]**または**[×]**をタップする代わりに使用します。

⑪ **QWERTYキー**
電話番号の入力や、文字入力で使用します。
Fn を押した後で P を押すと、デバイスロックでロックします。

おしらせ

● 文字入力時の詳しいキー操作方法については、「QWERTYキーモデルの文字入力」(P.58)を参照してください。

電池パックの取り付け／取り外し

電池パックの取り付け／取り外しは、スリープモードではなく、必ず電源を切ってから行ってください。なお、電源を切ると、編集中のデータなど保存していないデータは失われますので、電源を切る前に保存してください。

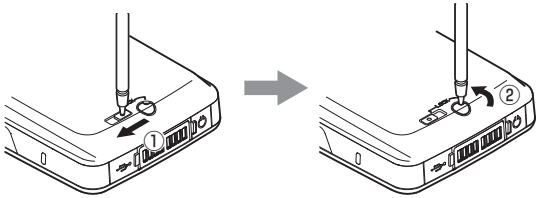
おしらせ

- 指定以外の電池パックを使用しないでください。
- 取り外した電池パックを保管する際は、0～40℃の湿気の少ないところに置いてください。
- 電池パックを改造しないでください。発熱、火災、けがの原因になります。
- ご不要になった電池パックを破棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

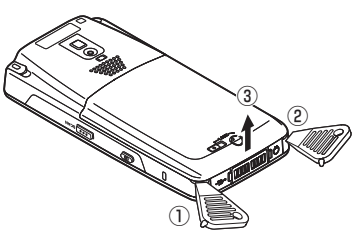
電池パックを取り付ける

1 スタイラスペンでスライドロックスイッチを矢印①の方向にスライドさせた後で、ロータリーロックスイッチを矢印②の方向に回す

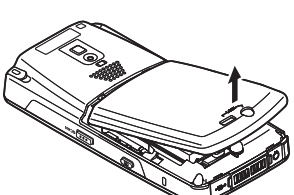
この操作で電池パックカバーのロックが解除されます。



2 ①と②のくぼみにオープナーを差し込み、電池パックカバーの下端を矢印③の方向に浮かせる

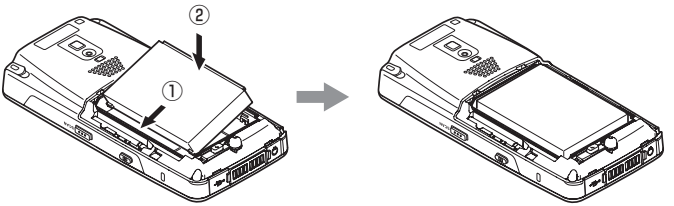


3 矢印の方向に電池パックカバーを引き上げて外す

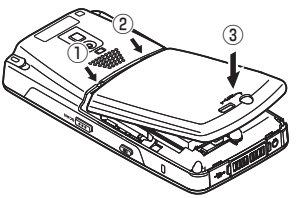


4 電池パックの端子側を矢印①の方向に差し込み、矢印②の方向に押し込む

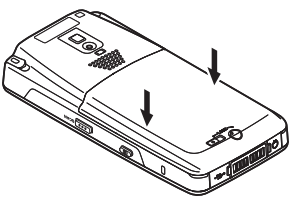
端子側の両端の突起が下側になるように差し込んでください。



5 矢印①と②に電池パックカバーのツメを本体に差し込み、矢印③の方向に電池パックカバーの下端をはめ込む

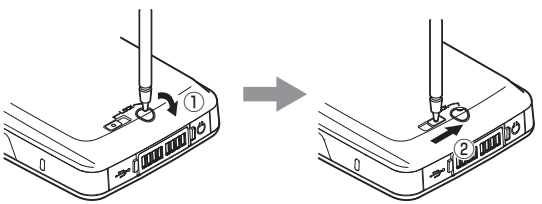


6 電池パックカバーの両側をカチッという音がするまで矢印の方向に押し込む



7 スタイラスペンでロータリーロックスイッチを矢印①の方向に回した後で、スライドロックスイッチを矢印②の方向にスライドさせる

この操作で電池パックカバーがロックされます。



おしらせ

● 電池パックカバーは必ずロックしてください。電池パックカバーをロックしないと、⏻ を押してもH-21の電源が入りません。

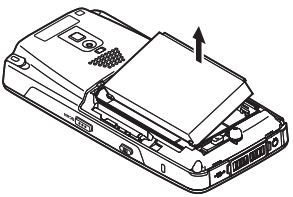
電池パックを取り外す

電池パックの取り外しは、スリープモードではなく、必ず電源を切ってから行ってください。

1 本体の電源を切り、電池パックカバーを取り外す

電池パックカバーを取り外す方法については、「電池パックを取り付ける」(P.31)の手順 1 ～ 3 を参照してください。

2 電池パックの右側を矢印の方向に引き上げ、電池パックを取り外す



3 電池パックカバーを取り付けてロックする

電池パックカバーを取り付ける方法については、「電池パックを取り付ける」(P.31)の手順 5 ～ 8 を参照してください。

FOMAカードの取り付け／取り外し

FOMAカードは、電話番号などの情報が記録されているICカードです。H-21に取り付けることで電話機能やパケット通信を利用できます。

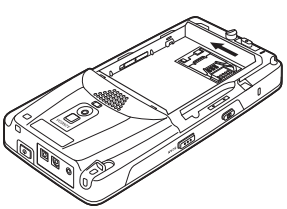
FOMAカードを取り付ける

1 本体の電源を切り、電池パックカバーと電池パックを取り外す

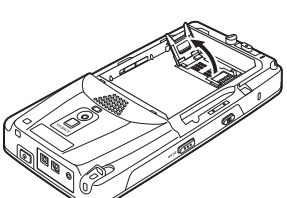
電池パックの取り外しは、スリープモードではなく、必ず電源を切ってから行ってください。

電池パックを取り外す方法については、「電池パックを取り外す」(P.33)を参照してください。

2 ソケットのロック金具を矢印の方向にスライドさせてロックを解除する

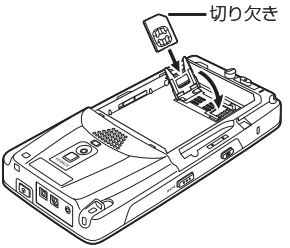


3 ソケットを矢印の方向に引き上げる

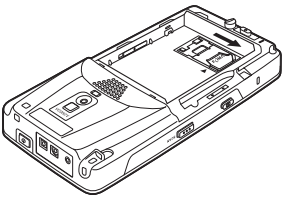


4 FOMAカードをソケットに差し込み、ソケットを倒す

FOMAカードの切り欠きがイラストの位置になるようにFOMAカードを差し込んでください。



5 ソケットのロック(金具部分)を矢印の方向に、ラベルの▼マークまでスライドさせてロックする



6 電池パックと電池パックカバーを取り付けてロックする

電池パックを取り付ける方法については、「電池パックを取り付ける」(P.31)を参照してください。

おしらせ

- 無理に取り付けようとすると、FOMAカードやソケットが壊れることがありますのでご注意ください。

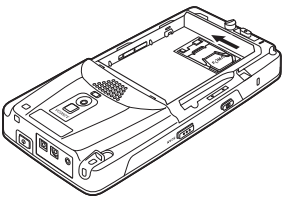
FOMAカードを取り外す

1 本体の電源を切り、電池パックカバーと電池パックを取り外す

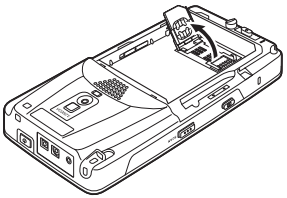
電池パックの取り外しは、スリープモードではなく、必ず電源を切ってから行ってください。

電池パックを取り外す方法については、「電池パックを取り外す」(P.33)を参照してください。

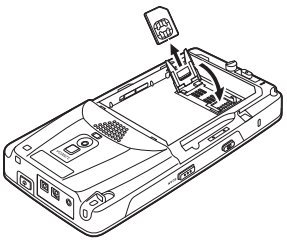
2 ソケットのロック金具を矢印の方向にスライドさせてロックを解除する



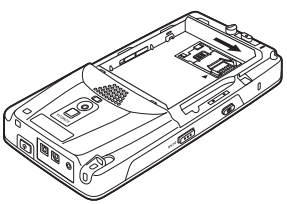
3 ソケットとFOMAカードを矢印の方向に引き上げる



4 FOMAカードをソケットから抜き、ソケットを倒す



5 ソケットのロック（金具部分）を矢印の方向に、ラベルの▼マークまでスライドさせてロックする



6 電池パックと電池パックカバーを取り付けてロックする

電池パックを取り付ける方法については、「電池パックを取り付ける」（P.31）を参照してください。

おしらせ

● 取り外したFOMAカードを紛失しないようにご注意ください。

FOMAカードのPINコードについて

H-21では、FOMAカードに登録されているPINコードをご契約時の暗証番号から変更できます。また、電話機能の使用時にPINコードの入力が必要になるように設定できます。
第三者によるH-21の電話機能の不正利用や、FOMAカードの不正利用を防ぐため、PINコードを変更して、PINコードの入力が必要になるように設定することをおすすめします。
詳しくは、「PINコードの入力を必要にする［電話］」（P.142）を参照してください。

充電する

お買い上げ時は、電池パックは満充電になっていません。充電してからH-21をお使いください。

おしらせ

● 充電は必ず0～45℃の温度範囲内で行ってください。
0～45℃以外の温度で充電を行うと、充電が自動的に停止して充電エラーとなり、確認用LED2が赤色で点灯します。
※ 充電エラーとなる温度には誤差があります。

■充電時間の目安

H-21の電源を切った状態で、電池パックの残量が空から満充電になるまでの時間の目安です。

付属のACアダプターを使用して充電した場合	約6時間
付属のUSBケーブルでパソコンと接続して充電した場合	約11時間
別売の専用クレードルにACアダプターを接続して充電した場合	約6時間

おしらせ

● H-21の電源を入れたままで充電すると充電時間が長くなります。また、低温時など、外部の環境によっては充電時間が長くなることがあります。
● H-21本体には、電池パックを取り外している間、RAMデータを保持し、システムを保護するためにバックアップバッテリ(充電可能)が内蔵されています。
バックアップバッテリは、H-21に電池パックが取り付けられている間に充電され、電池パックを取り外すと自動的に使用されます。
バックアップバッテリの仕様は、次の通りです。

充電開始から満充電になるまでの時間	約3時間
RAMデータ保持時間	最大5分

※ 充電開始から満充電になるまでの時間は目安であり、使用する条件により異なる場合があります。

■満充電からの使用可能時間の目安

電池パックを満充電にしてからH-21を使用した場合の連続待受時間と、連続通話時間の目安です。

連続待受時間(FOMA)	約700時間
連続通話時間(FOMA)	約13時間

※ 上記の時間は平均的時間であり、規格値ではありません。条件は弊社独自の規定によるものです。

おしらせ

● 電池パックの状態や使用環境によって、使用可能時間は変化します。

ACアダプターを使用して充電する

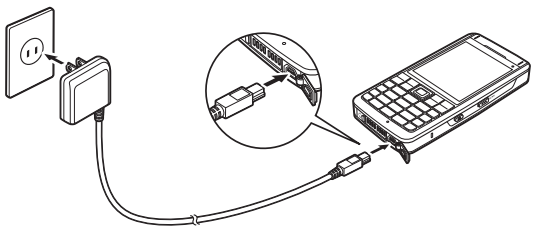
付属のACアダプターをmini USBポート接続することで充電できます。

1 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

2 mini USBポートカバーの突起に指の爪をかけて、mini USBポートカバーを開く

3 H-21とACアダプターの端子を接続する

ACアダプターの端子をイラストで示した向きで差し込んでください。
充電中は、確認用LED2がオレンジ色で点灯します。
電池パックが満充電になると、確認用LED2が緑色で点灯します。



4 充電が終わったらH-21からACアダプターの端子を抜く

5 mini USBポートカバーを閉じる

6 ACアダプターをコンセントから抜く

おしらせ

- ACアダプターの端子は、USBポートに対して水平に差し込んでください。
- 充電した後は、防塵·防滴性能を保つためmini USBポートカバーを閉めてください。

■電池残量の表示について

タイトルバーには、電池残量の目安がアイコンで表示されます。

アイコン						
電池残量	満充電				残量少	充電中

おしらせ

- **[スタート]▶[設定]▶[パワーマネージメント]**と操作すると、**[バッテリ]**タブに詳細な電池残量が表示されます。
- 電池の残量が少なくなると、警告のポップアップ画面が表示されます。編集中のデータなどがある場合は、データを保存してから充電してください。

USBケーブルでパソコンと接続して充電する

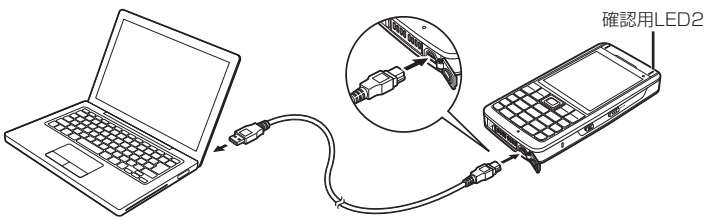
付属のUSBケーブルでパソコンと接続しても充電できます。

1 USBケーブルとパソコンを接続する

2 mini USBポートカバーの突起に指の爪をかけて、mini USBポートカバーを開く

3 H-21とUSBケーブルを接続する

USBケーブルをイラストで示した向きで差し込んでください。
充電中は、確認用LED2がオレンジ色で点灯します。
電池パックが満充電になると、確認用LED2が緑色で点灯します。



4 充電が終わったらH-21からUSBケーブルを抜く

5 mini USBポートカバーを閉じる

6 USBケーブルパソコンから抜く

おしらせ

- パソコンと接続すると、パソコン側に「新しいハードウェアの検索ウィザード」の画面が表示されることがあります。その場合は、**[キャンセル]**を選択してください。
- Windows Mobileデバイスセンターまたは ActiveSyncを利用して接続したパソコンと同期させた場合でも充電されます。Windows Mobileデバイスセンターと ActiveSyncについては「パソコンとの同期」(P.100)を参照してください。

別売の専用クレードルを使用して充電する

別売の専用クレードルを利用すると、より簡単に充電することができます。

おしらせ

- 専用クレードルの確認用LED1は、ACアダプターに接続されていて、充電可能である場合に緑色で点灯します。
- 専用クレードルの確認用LED2は、次の場合に点灯します。

状態	充電中	満充電
確認用LED2	オレンジ色で点灯	緑色で点灯

1 専用クレードルに付属しているACアダプターと専用クレードルを接続する

2 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

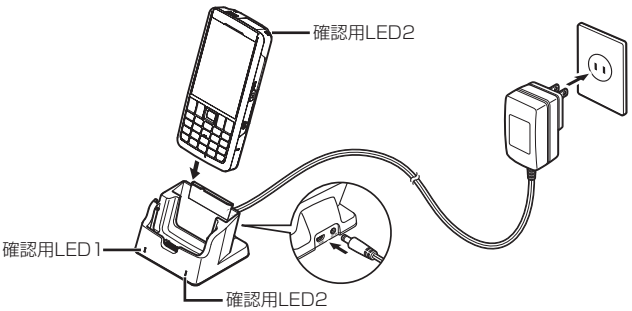
専用クレードルの確認用LED1が緑色で点灯します。

3 H-21を専用クレードルに差し込む

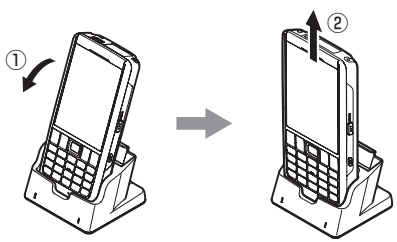
専用クレードルの前側のスロットに、イラストで示した向きでH-21を差し込んでください。

充電中は、H-21の確認用LED2がオレンジ色で点灯します。

電池パックが満充電になると、H-21の確認用LED2が緑色で点灯します。



4 充電が終わったらH-21を矢印①の方向に倒してから、矢印②の方向に引き抜く



5 ACアダプターをコンセントから抜く

おしらせ

- H-21を専用クレードルから引き抜くときは、無理に引き抜かずにH-21を前に倒してから引き抜いてください。

別売の専用クレードルで電池パックを充電する

別売の専用クレードルを利用すると、電池パックのみを充電することもできます。

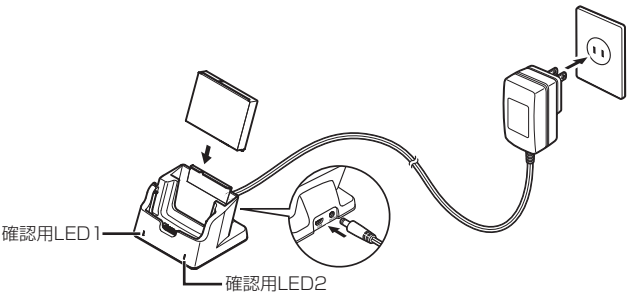
1 専用クレードルに付属しているACアダプターと専用クレードルを接続する

2 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

専用クレードルの確認用LED1が緑色で点灯します。

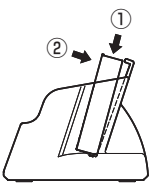
3 電池パックを専用クレードルの後ろ側のスロットに差し込む

電池パックの端子側を下にして差し込んでください。このとき、両端の突起が後ろ側になるようにしてください。



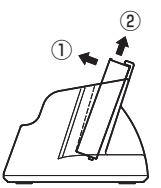
4 電池パックを矢印の方向にはめ込む

専用クレードルの背面にはストッパーが付いています。ストッパーの下に電池パックをはめ込んでください。
充電中は、専用クレードルの確認用LED2がオレンジ色で点灯します。
電池パックが満充電になると、専用クレードルの確認用LED2が緑色で点灯します。



5 充電が終わったら電池パックを矢印①の方向に倒してから、矢印②の方向に引き抜く

電池パックはストッパーから外してから引き抜いてください。



6 ACアダプターをコンセントから抜く

おしらせ

- 指定以外の電池パックを充電しないでください。
- 取り外した電池パックを保管する際は、0～40℃の湿気の少ないところに置いてください。

電源を入れる／切る

おしらせ

- あらかじめ電池パックをH-21本体に取り付け、充電を行ってから電源を入れてください。
  電池パックを取り付ける方法については、「電池パックの取り付け／取り外し」(P.31)を参照してください。充電方法については、「充電する」(P.36)を参照してください。

電源を入れる

1 ⏻ を短く押す

H-21が短く振動して電源が入ります。
H-21のロゴマークが表示され、続けてWindowsのロゴマークが表示されます。
Windows Mobileの起動が完了すると、Today画面が表示されます。

電源を切る

1 電源をオフにするか確認するポップアップ画面が表示されるまで5秒以上⏻を押し続ける

2 [はい]

H-21の電源が切れます。

おしらせ

- 電源を切ると、編集中のデータなど保存していないデータは失われます。電源を切る前に保存してください。
- ⏻を短く押した場合は、スリープモードになります。もう一度⏻を押すと、スリープモードから復帰します。詳しくは「スリープモードにする」(▶P.54)を参照してください。

初期設定を行う

最初にH-21の電源を入れたときは、初期設定が必要な場合があります。また、H-21を出荷時の状態に戻した場合も、初期設定が必要になります。

1 ⏻ を短く押して電源を入れる

初期設定が必要な場合は、「画面をタップしてWindows® phoneをセットアップします。」と表示されます。

2 画面をタップする

画面の補正(タッチパネルディスプレイの調整)を行います。

3 画面の中心、左上、左下、右下、右上、上、下に次々と表示される＋をタップする

画面の補正が終了すると、現在の日付と時刻を設定する画面が表示されます。

4 現在の日付と時刻を設定する

タイムゾーンが**[GMT+9 東京、大阪]**であることを確認してください。
時刻を設定するには、時、分、秒のいずれかをタップしてから、**[▲]**または**[▼]**をタップしてください。
日付を設定するには、日付の**[▼]**をタップすると表示されるカレンダーから今日の日付を選択してください。

5 [完了]

画面が完了すると、Today画面が表示されます。

おしらせ

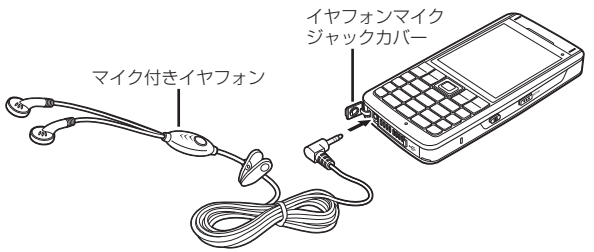
- FOMAカードが取り付けられている場合は、FOMA回線から現在の日付と時刻が取得され、日付と時刻が自動補正されます。

マイク付きイヤフォンの取り付け

マイク付きイヤフォンを取り付けると、イヤフォンで音を聞いたり、通話することができます。

1 イヤフォンマイクジャックカバーの突起に指の爪をかけて、イヤフォンマイクジャックカバーを開く

2 イヤフォンマイクジャックにマイク付きイヤフォンのプラグを差し込む



おしらせ

- マイク付きイヤフォンのマイクを使用することで通話ができます。また、マイク付きイヤフォンのスイッチを押すと、電話に出たり、電話を切ることができます。
- 市販のイヤフォンを使用する場合は、付属のイヤフォン用変換ケーブルをイヤフォンマイクジャックに接続して、イヤフォン用変換ケーブルに市販のイヤフォンを接続してください。
- マイク付きイヤフォンやイヤフォン用変換ケーブルをH-21から取り外した後は、防塵･防滴性能を保つためイヤフォンマイクジャックカバーを閉めてください。

microSDメモリカードの取り付け／取り外し

市販のmicroSDメモリカードを取り付けると、microSDメモリカードにファイルやアプリケーションを保存できます。

おしらせ

- H-21は、最大2GBのmicroSDメモリカードと、最大16GBのmicroSDHCメモリカードに対応しています。ただし、すべてのmicroSDメモリカードと、microSDHCメモリカードの動作を保証するものではありません。また、メーカーによっても動作が保証できないものがありますので、ご注意ください。
- 本書では、市販のmicroSDメモリカードまたはmicroSDHCメモリカードのことを「microSDメモリカード」と記載します。
- スリープモード中にmicroSDメモリカードの取り付け／取り外しを行うと、スリープモードから復帰します。
- H-21がmicroSDメモリカードのデータにアクセスしているときにmicroSDメモリカードを取り外したり、電源を切ったり、H-21に衝撃を与えないでください。microSDメモリカードに記録されたデータが破損したり、消去されることがあります。
- microSDメモリカードを取り付け／取り外した後は、防塵･防滴性能を保つためmicroSDメモリカードスロットカバーを閉めてください。

microSDメモリカードスロットカバーのロックを解除する

お買い上げ時は、microSDメモリカードスロットカバーが開かないようにロックされています。microSDメモリカードの取り付け／取り外しを行う場合は、microSDメモリカードスロットカバーのロックを解除してください。

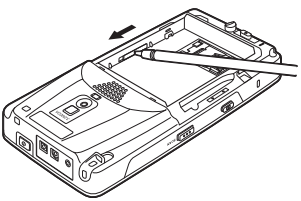
1 本体の電源を切り、電池パックカバーと電池パックを取り外す

電池パックの取り外しは、スリープモードではなく、必ず電源を切ってから行ってください。

電池パックを取り外す方法については、「電池パックを取り外す」(P.33)を参照してください。

2 スタイラスペンでmicroSDメモリカードスロットカバーのロックを矢印の方向にスライドさせる

ロックする場合は、反対方向にスライドさせてください。



3 電池パックと電池パックカバーを取り付けてロックする

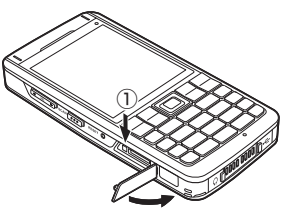
電池パックを取り付ける方法については、「電池パックを取り付ける」(P.31)を参照してください。

おしらせ

- ロックしたままmicroSDメモリカードスロットカバーを無理に開くと、microSDメモリカードスロットカバーが破損しますのでご注意ください。

microSDメモリカードを取り付ける

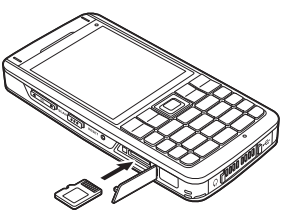
1 電源を切り、矢印①のくぼみに指の爪をかけて、microSDメモリカードスロットカバーを開く



2 microSDメモリカードの端子側を上にして、ゆっくり差し込む

microSDメモリカードの表裏と前後を確認してから差し込んでください。

奥まで差し込んでカチッと音がすると、microSDメモリカードがロックされます。



3 microSDメモリカードスロットカバーを閉じる

おしらせ

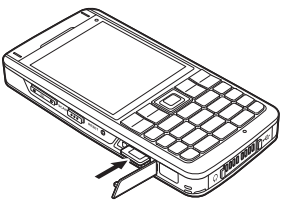
- microSDメモリカードの表裏や前後を間違って差し込むと、microSDメモリカードが破損したり、引き出せなくなる恐れがありますのでご注意ください。
- microSDメモリカードは、フォルダーの一覧などでは**[Storage Card]**と表示されます。

microSDメモリカードを取り外す

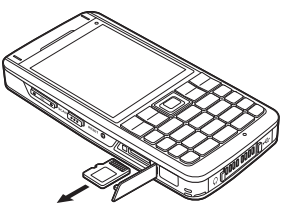
1 電源を切り、microSDメモリカードスロットカバーを開く

2 microSDメモリカードを矢印の方向に押し込む

microSDメモリカードを押し込むとロックが解除され、microSDメモリカードが少し出てきます。



3 microSDメモリカードをゆっくり引き出す



4 microSDメモリカードスロットカバーを閉じる

デバイスロックについて

H-21の電源を入れたときや、リセット(再起動)したとき、デバイスロックを解除するときなどにパスワードの入力が必要になるように設定できます。第三者によるH-21の不正利用を防ぐため、デバイスロックのパスワードを設定することをおすすめします。

詳しくは、「デバイスロックを設定する[ロック]」(P.143)を参照してください。

基本的な操作

タッチパネルディスプレイとキーの使いかた

H-21は、タッチパネルディスプレイとキーの両方で操作することができます。

タッチパネルディスプレイで操作する

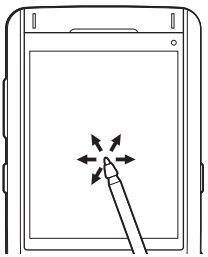
H-21のディスプレイは、タッチパネルになっています。付属のスタイラスペンや指で画面に触れることで操作できます。

おしらせ

- ボールペンやピンなど、先の尖ったものでタッチパネルディスプレイを操作しないでください。
- スタイラスペンや指などでタッチパネルディスプレイを必要以上に強く押さないでください。
- 誤動作の原因になりますので、タッチパネルディスプレイには、保護シートやシールなどを貼らないでください。
- 濡れた指や、手袋をした指での操作は、誤動作の原因となります。
- 細かい操作を行うときは、誤操作を防ぐため、指ではなくスタイラスペンを使用することをおすすめします。

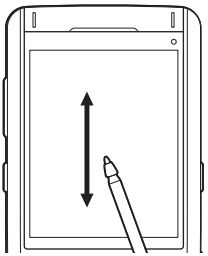
■画面をタップする

画面に表示されたアイコンやメニュー、ボタンなどをスタイラスペンや指で軽く叩くと、選択したり、実行することができます。本書では、この操作を「タップする」と記載します。



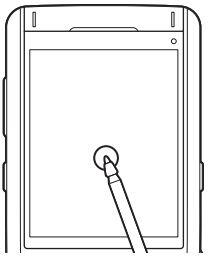
■画面をなぞる

スタイラスペンや指で画面に触れたまま上下や左右になぞると、画面をスクロールさせたりパンさせることができます。また、画面をなぞることで前後のデータを表示させたり、線を描くことができる場合などがあります。



■対象をタップしたまま押さえる

スタイラスペンや指で画面に触れ、触れたままにすると、コンテキストメニューなどが表示されることがあります。本書では、この操作を「タップしたまま押さえる」と記載します。



■キーで操作する

タッチパネルディスプレイで操作する代わりに ✣ や ▣ などのキーを利用しても、H-21を操作できます。

例えば、スタートメニューからアプリケーションを起動する操作は、次のようにキーを操作します。

＜Numericキーモデルの場合＞

1 ⊞

スタートメニューが表示されます。

2 ✣ **でアイコンを選択▶** ▣

アプリケーションが起動します。

＜QWERTYキーモデルの場合＞

1 ⊞

スタートメニューが表示されます。

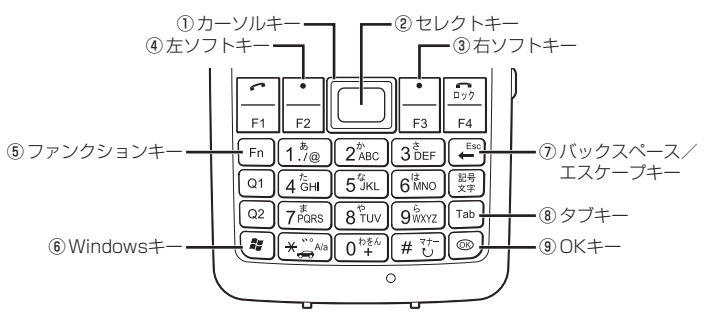
2 ✣ **でアイコンを選択▶** ▣

アプリケーションが起動します。

■一般的な操作で使用するキーについて

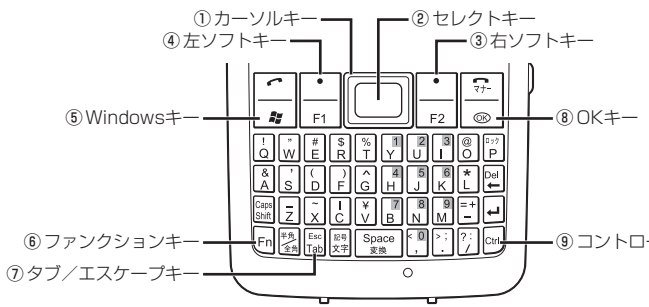
Windows Mobileの一般的な操作には、次のキーを使用できます。

＜Numericキーモデルの場合＞



キー	役割
① カーソルキー	カーソルを動かしたり、画面をスクロールさせます。
② セレクトキー	項目を選択したり、実行します。
③ 右ソフトキー	画面下部のメニューバーの右側に表示された項目を実行します。
④ 左ソフトキー	画面下部のメニューバーの左側に表示された項目を実行します。
⑤ Fn ファンクションキー	Fn を押すと、タイトルバーに fn が表示されます。その後で他のキーを押すと、キーに黄色で印字された機能を実行できます。 • Fn を押したままにして、他のキーを連続して押すこともできます。この場合は、タイトルバーに fn は表示されません。
⑥ Windowsキー	スタートメニューを表示します。
⑦ Esc バックスペース／エスケープキー	Fn を押してから Esc を押すと、可能な場合は1つ前の操作をキャンセルします。
⑧ Tab タブキー	入力画面や設定画面でカーソルを移動します。
⑨ OK OKキー	画面右上の[OK]または[×]をタップする代わりに使用します。

＜QWERTYキーモデルの場合＞



キー	役割
① カーソルキー	カーソルを動かしたり、画面をスクロールさせます。
② セレクトキー	項目を選択したり、実行します。
③ 右ソフトキー	画面下部のメニューバーの右側に表示された項目を実行します。
④ 左ソフトキー	画面下部のメニューバーの左側に表示された項目を実行します。
⑤ Windowsキー	スタートメニューを表示します。
⑥ Fn ファンクションキー	Fn を押すと、タイトルバーに fn が表示されます。その後で他のキーを押すと、キーに黄色で印字された記号や数字を入力したり、黄色で印字された機能を実行できます。 • Fn を押したままにして、他のキーを連続して押すこともできます。この場合は、タイトルバーに fn は表示されません。
⑦ Esc Tab タブ／エスケープキー	入力画面や設定画面でカーソルを移動します。 • Fn を押してから Esc Tab を押すと、可能な場合は、1つ前の操作をキャンセルします。
⑧ OKキー	画面右上の[OK]または[×]をタップする代わりに使用します。
⑨ Ctrl コントロールキー	Ctrl を押した後で他のキーを押すと、ショートカットを利用できます。

キー	役割
⑨ Ctrl **コントロールキー**	• 利用できるショートカットは、アプリケーションによって異なります。 • Ctrl を押したままにして、他のキーを連続して押すこともできます。 • 項目を選択した後で、Ctrl を押して C を押すと、項目をコピーします。 • 項目を選択した後で、Ctrl を押して X を押すと、項目を切り取ります。 • Ctrl を押して V を押すと、コピーまたは切り取った項目を貼り付けます。 • Ctrl を押して A を押すと、すべて選択します。 • Ctrl を押して Z を押すと、操作を元に戻します。 • Ctrl を押して Q を押すと、操作を中断してToday画面を表示します。 • Ctrl を押して N を押すと、データを新規作成します。 • Ctrl を押したまま項目をタップすると、項目を複数選択／解除します。

おしらせ

● ここでは特定の機能ではなく、一般的な操作で使用するキーについて説明しています。
その他のキーの役割については、「各部の名称と機能」(P.25)を参照してください。文字入力時のキーの役割については、「Numericキーモデルの文字入力」(P.56)または「QWERTYキーモデルの文字入力」(P.58)を参照してください。

Today画面を利用する

H-21の電源を入れると、最初にToday画面が表示されます。

1 ⏻ を押して電源を入れる

Today画面が表示されます。

- タイトルバーの スタート をタップすると、スタートメニューが表示されます。
- 画面を上下になぞると、画面をスクロールさせて項目を選択できます。
選択した項目の左右に ◀ と ▶ が表示されている場合は、左右になぞるとさらに項目を選択できます。
項目をタップすると、選択しているアプリケーションが起動します。
- メニューバーの左側の**[連絡先]**を選択すると、連絡先が表示されます。不在着信や新着のメールなど、新着の情報がある場合は、**[連絡先]**の代わりに**[通知]**と表示され、新着の情報を確認できます。
- メニューバーの右側には、Today画面で選択している項目に対応したメニューが表示されます。

おしらせ

● アプリケーションの画面などを表示しているときは、画面左上の またはアプリケーション名をタップ▶**[Today]**と操作するとToday画面を表示できます。

● Today画面の表示は変更することができます。設定方法については、「Today画面を設定する[Today]」(P.137)を参照してください。

■タイトルバーに表示されるアイコンについて

タイトルバーには、H-21の現在の状態を示すアイコンが表示されます。アイコンによっては、タップすることで詳しい情報が表示されたり、設定画面が表示されます。

■電池の状態を示すアイコン

アイコン	意味
 〜 	電池パックは、満充電です。 電池パックの残量が少ない状態です。
	電池パックの残量が少なく、すぐに充電する必要があります。
	充電中です。

■音量と電話モードの設定を示すアイコン

アイコン	意味
	音が鳴る設定になっています。
	電話モードがマナーモードに設定されています。音は鳴らず、バイブレーターが振動します。
	電話モードがサイレントモードまたは公共モード(ドライブモード)に設定されています。音は鳴らず、バイブレーターも振動しません。
	電話モードが公共モード(ドライブモード)に設定されています。音は鳴らず、バイブレーターが振動します。また、着信の動作は行われず、不在着信になります。

■電波状態や通信状態を示すアイコン

アイコン	意味
	電波の強さが表示されます。縦棒の数が多いほど、電波状態が良いことを示します。
	微弱電波状態です。
	圏外です。
	電話サービスを検索しています。
	データ通信中です。
	通話中です。
	通話を保留中です。
	電話機能がオフになっています。
	FOMAカードが挿入されていません。

■ネットワークの種類を示すアイコン

アイコン	意味
	3Gネットワークを利用できます。
	3Gネットワークで接続中です。
	3Gネットワークの電波の強さが表示されます。
	3G+ネットワークを利用できます。
	EDGEネットワークを利用できます。

アイコン	意味
	EDGEネットワークで通信中です。
	EDGEネットワークの電波の強さが表示されます。
	GPRSネットワークを利用できます。
	GPRSネットワークで通信中です。
	GPRSネットワークの電波の強さが表示されます。
	HSDPAネットワークを利用できます。
	HSDPAネットワークで通信中です。
	HSDPAネットワークの電波の強さが表示されます。

■ワイヤレスLAN機能と接続状態を示すアイコン

アイコン	意味
	ワイヤレスLAN機能はオンになっていますが、ワイヤレスLANのネットワークは未発見です。
	ワイヤレスLANのネットワークを発見済みです。
	ワイヤレスLANのネットワークに接続しています。
	ActiveSync接続中です。
	データ通信接続はオフ中です。

■Bluetooth機能の状態を示すアイコン

アイコン	意味
	Bluetoothのステレオヘッドセットに接続しています。

■ActiveSyncの状態を示すアイコン

アイコン	意味
	ActiveSyncで同期中です。

■情報を通知するアイコン

アイコン	意味
	新着のSMSがあります。
	新着のメールがあります。
	新着のインスタントメッセージがあります。
	不在着信があります。
	留守番電話サービスに伝言メッセージがあります。
	Bluetooth通信または赤外線通信で受信したデータがあります。
	スピーカーフォンがオンになっています。
	ローミング中です。
	アラームが設定されています。
	複数の通知がある場合に表示されます。タップすると、通知のアイコンが表示されます。

■バーコードリーダーの状態を示すアイコン

アイコン	意味
	バーコードリーダーは有効です。
	バーコードリーダーは無効です。

■文字入力に関するアイコン

アイコン	意味
Fn	ファンクションキーの効力が有効な場合に表示されます。
Caps	キャプスロック中に表示されます。
Fn Caps	キャプスロック中でファンクションキーの効力が有効な場合に表示されます。

スタートメニューからアプリケーションを起動する

1 画面左上の スタート をタップ

スタートメニューが表示されます。
画面をスタイラスペンや指で上下になぞると、スクロールさせることができます。

2 アイコンを選択

アプリケーションのアイコンを選択した場合は、アプリケーションが起動します。
[Office Mobile]や**[設定]**のようなメニューを表示するためのアイコンを選択した場合は、メニューが表示されます。アプリケーションが起動するか、設定画面が表示されるまでアイコンを選択してください。

おしらせ

- 本書では、 スタート をタップすることを**[スタート]**と記載しています。
- アプリケーションを画面に表示している場合は、タイトルバーには「スタート」の代わりに、表示しているアプリケーションの名前が表示されます。その場合は、 やアプリケーションの名前をタップすると、アプリケーションが非表示になり、スタートメニューが表示されます。
- アイコンをタップしたまま押さえて**[先頭へ移動]**を選択すると、アイコンがメニューの先頭に移動します。先頭に移動したアイコンをタップしたまま押さえて**[下へ移動]**を選択すると、元の位置に戻ります。

アプリケーションを切り替える／終了する

タスクマネージャーを利用すると、画面に表示するアプリケーションを切り替えたり、終了することができます。

アプリケーションを切り替える

1 [スタート]▶[設定]▶[タスクマネージャー]

実行中のアプリケーションの一覧が表示されます。

2 アプリケーションを選択▶[メニュー]▶[切り替え]

選択したアプリケーションが画面に表示されます。

おしらせ

- 一覧でアプリケーションを選択して ▣ を押しても、アプリケーションが画面に表示されます。
- 一覧でアプリケーションをタップしたまま押さえて、表示されるコンテキストメニューから**[切り替え]**を選択しても、アプリケーションが画面に表示されます。
- スタートメニューで非表示になっている実行中のアプリケーションを選択しても、アプリケーションが画面に表示されます。

アプリケーションを終了する

起動したアプリケーションは、画面には表示されていなくても、終了の操作を行うまで実行されたままになっています。多くのアプリケーションを同時に実行すると、H-21の動作が遅くなったり、動作が不安定になったりします。使用していないアプリケーションは終了することをおすすめします。

1 [スタート]▶[設定]▶[タスクマネージャー]

実行中のアプリケーションの一覧が表示されます。

2 アプリケーションを選択▶[タスクの終了]

おしらせ

- 一覧でアプリケーションを終了すると、編集中のデータなど、保存していないデータは失われますのでご注意ください。
- 一覧でアプリケーションによっては、アプリケーションを表示中に**[メニュー]▶[終了]**と操作することで終了できる場合があります。

すべてのアプリケーションを終了する

1 [スタート]▶[設定]▶[タスクマネージャー]

実行中のアプリケーションの一覧が表示されます。

2 アプリケーションを選択▶[メニュー]▶[すべてのタスクの終了]▶[はい]

電話・通信機能のオン／オフを切り替える

ワイヤレスマネージャーを利用すると、電話機能、Bluetooth機能、ワイヤレスLAN機能のオンとオフを切り替えることができます。

1 [スタート]▶[設定]▶[接続]▶[ワイヤレスマネージャー]

2 項目を選択

すべて	選択すると、電話機能、Bluetooth機能、ワイヤレスLAN機能のオンとオフを一度に切り替えます。
Wi-Fi	選択すると、ワイヤレスLAN機能のオンとオフを切り替えます。
Bluetooth	選択すると、Bluetooth機能のオンとオフを切り替えます。
電話	選択すると、電話機能のオンとオフを切り替えます。

3 [完了]

音量を調節する

ビデオや音楽ファイル再生時の音量や、着信音の音量を調整できます。

1 タイトルバーの🔈、🔇または📳をタップ

音量調節のポップアップ画面が表示されます。

- 📳（スピーカーの音量）のスライダーを上下させると、Windows Media Player Mobileなどの再生時の音量や、**[時計とアラーム]**のアラーム音、予定表のアラーム音などの音量を調整できます。
- 📞（着信音の音量）のスライダーを上下させると、着信音の音量を調整できます。
- **[バイブ]**を選択すると、スピーカーと着信音の音量はレベル0になり、電話モード(P.73)がマナーモードになります。
- **[オフ]**を選択すると、スピーカーと着信音の音量はレベル0になり、バイブレーターも振動しなくなります。電話モードはサイレントモードになります。

2 音量を調節▶ポップアップ画面以外の場所をタップ

おしらせ

● ◁ ▷ を押しても、音量調節のポップアップ画面を表示して音量を調節できます。

モーションセンサーを利用する

Internet Explorer Mobile、Excel Mobile、Windows Media Player Mobile、「画像とビデオ」を画面に表示しているときは、モーションセンサーで画面の向きを切り替えることができます。

モーションセンサーの有効／無効を切り替える

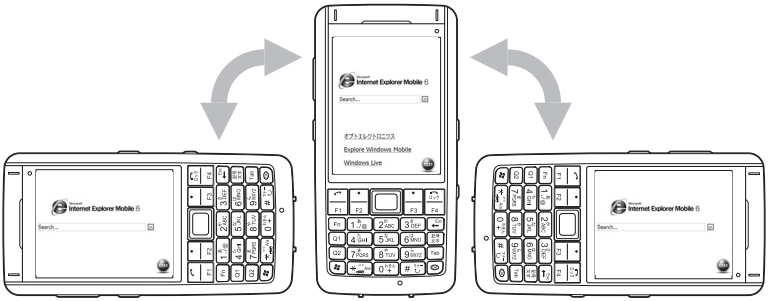
モーションセンサーで画面の向きを切り替えるには、モーションセンサーを有効にする必要があります。

1 [スタート]▶[設定]▶[システム]▶[モーションセンサー]

2 [有効にする]のチェックをオンまたはオフにする▶[OK]

モーションセンサーで画面の向きを切り替える

次のイラストのようにH-21を立てた状態でH-21の向きを変えると、それに合わせて画面の向きも切り替わります。



※ イラストは、Numericキーモデルです。

おしらせ

- 画面の向きを切り替えるときは、H-21を立てた状態で行ってください。水平に寝かせた状態では、モーションセンサーが働きません。

スリープモードにする

H-21を一定時間操作しないと、画面が一時的に消えて、スリープモードになります。[⏻]を短く押してスリープモードにすることもできます。スリープモードでは、電池の消費を抑えることができます。

1 一定時間無操作、または [⏻] を短く押す

H-21がスリープモードになり、画面が消えます。

2 スリープモード中に [⏻] を短く押す

スリープモードから復帰して、画面が表示されます。

おしらせ

- スリープモード中に電話が着信したり、SMSを受信すると、スリープモードから復帰します。
- スリープモード中にUSBケーブルや、microSDメモリカードを差し込んだり引き抜くと、スリープモードから復帰します。
- スリープモード中にH-21を専用クレードルやカーキットに差し込んだり引き抜くと、スリープモードから復帰します。
- 一定時間操作をしないとき、自動的にスリープモードになるまでの時間は、**【パワーマネージメント】**で設定します。設定方法については、「パワーマネージメントを設定する［パワーマネージメント］」(P.146)を参照してください。

リセット(再起動)する

画面が正常に表示されなくなったり、画面へのタップやキー操作にH-21が反応しなくなったり、アプリケーションが正常に動作しなくなった場合などは、H-21をリセット(再起動)してください。

1 本体左側のリセットスイッチをスタイラスペンのペン先で押す

H-21がリセット(再起動)され、再起動します。

おしらせ

- リセットスイッチの位置については、「各部の名称と機能」(P.25)を参照してください。
- リセット(再起動)すると、編集中のデータなど、保存していないデータは失われます。
- 電子メールを受信後すぐにH-21をリセット(再起動)した場合は、受信したメールが保存されていないことがあります。サーバーにメールが保存されている場合は、メールを再度受信してください。
- 設定を変更した直後にリセット(再起動)した場合は、設定の変更が反映されない場合があります。その場合は、再度設定を行ってください。

操作方法を確認する

「お使いになる前に」を確認する

Windows Mobileの基本的な操作方法や設定について、簡単な説明が表示されます。

1 [スタート]▶[Today]▶[お使いになる前に]

2 項目を選択

説明が表示されます。
リンク(下線のある青色の字の記載)を選択すると、設定画面が表示されたり、Internet Explorer Mobileで関連するWebページにアクセスしたりします。

ヘルプを確認する

Windows Mobileや搭載されているアプリケーションについて、より詳しい説明が表示されます。

1 [スタート]▶[ヘルプ]

ヘルプの目次が表示されます。

- **[目次]**をタップすると、目次が表示されます。
- **[検索]**をタップすると、調べたいキーワードを入力することで、ヘルプを検索できます。
- ◀をタップすると、以前に表示したヘルプに移動します。
- ▶をタップすると、以前に表示したヘルプから元のヘルプに移動します。

2 項目を選択

目的のヘルプが表示されるまで、項目を選択する操作を繰り返します。

文字入力

この章では、日本語入力システムとしてiWnnを使用している場合の文字入力の方法を説明します。

Numericキーモデルの文字入力

文字種を切り替えて入力する

文字種には、ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字の5種類があります。

文字入力時に [記号文字] を押すと、文字種を切り替えることができます。現在の文字種は、メニューバーの中央に表示されます。

[1 あ/@] ～ [9 WXYZ]、[0 かな/+]、[# ﾓｰﾄﾞ]、[* ^^ A/a] を押すと、同じキーを連続して押した回数に応じて、キーに割り当てられた文字を入力できます。各キーに割り当てられている文字は、次の表の通りです。

キー ＼ 文字種	あ ひらがな	カ 全角カタカナ	カ 半角カタカナ
[1 あ/@]	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ
[2 ABC]	かきくけこ	カキクケコ	ｶｷｸｹｺ
[3 DEF]	さしすせそ	サシスセソ	ｻｼｽｾｿ
[4 GHI]	たちつてとっ	タチツテトッ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ
[5 JKL]	なにぬねの	ナニヌネノ	ﾅﾆﾇﾈﾉ
[6 MNO]	はひふへほ	ハヒフヘホ	ﾊﾋﾌﾍﾎ
[7 PQRS]	まみむめも	マミムメモ	ﾏﾐﾑﾒﾓ
[8 TUV]	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ﾔﾕﾖｬｭｮ
[9 WXYZ]	らりるれろ	ラリルレロ	ﾗﾘﾙﾚﾛ
[0 かな/+]	わをんゎー！？･「」	ワヲンヮー！？･「」	ﾜｦﾝｰ!? ･「」
[# ﾓｰﾄﾞ]	未入力の場合は、ー、。！？･ 空白(全角スペース)を入力。 文字が入力されている場合は、1つ前の文字に戻す。		未入力の場合は、-､｡!? 空白(半角スペース)を入力。 文字が入力されている場合は、1つ前の文字に戻す。
[* ^^ A/a]	未入力の場合は、記号一覧を表示。 文字が入力されている場合は、濁音／半濁音／清音、または大文字／小文字の切り替え。		

キー ＼ 文字種	A 全角英数字	A 半角英数字
[1 あ/@]	．／@＿1	./@_1
[2 ABC]	ａｂｃＡＢＣ２	abcABC2
[3 DEF]	ｄｅｆＤＥＦ３	defDEF3
[4 GHI]	ｇｈｉＧＨＩ４	ghiGHI4
[5 JKL]	ｊｋｌＪＫＬ５	jklJKL5
[6 MNO]	ｍｎｏＭＮＯ６	mnoMNO6

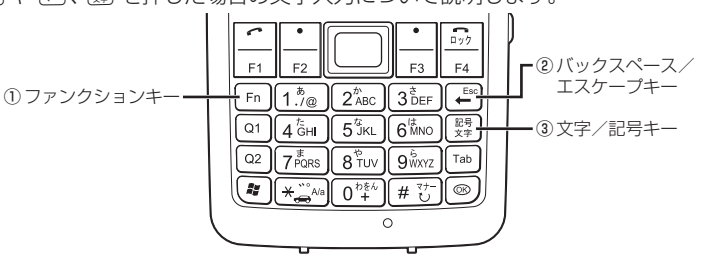
キー ＼ 文字種	A 全角英数字	A 半角英数字
7 PQRS	ｐｑｒｓＰＱＲＳ７	pqrsPQRS7
8 TUV	ｔｕｖＴＵＶ８	tuvTUV8
9 WXYZ	ｗｘｙｚＷＸＹＺ９	wxyzWXYZ9
0 わをん	！？０	!?0
# マナー	未入力の場合は、ー，．！？・空白（全角スペース）を入力。 文字が入力されている場合は、１つ前の文字に戻す。	未入力の場合は、-,.!?空白（半角スペース）を入力。 文字が入力されている場合は、１つ前の文字に戻す。
* 小 A/a	未入力の場合は、記号一覧を表示。 文字が入力されている場合は、大文字／小文字の切り替え。	

おしらせ

- 同じキーに割り当てられた文字を連続して入力する場合は、→ を一度押してカーソルを移動してから次の文字を入力してください。
- 改行するには、↓ を押して次の行に移動してください。
  ※ つながり予測機能の予測候補の一覧が表示されている場合は、Enter を押して予測候補の一覧を非表示にしてから ↓ を押すと改行できます。
- 文字種が全角英数字または半角英数字の場合、1 .,?/@ ～ 9 WXYZ または 0 わをん を押した後で # マナー を押すと、すぐに数字を入力できます。

文字入力のための特別なキー操作

Fn や Enter、記号文字 を押した場合の文字入力について説明します。



キー	説明
① Fn **ファンクションキー**	Fn を押した後で Enter または 記号文字 を押すと、キーに黄色で印字された機能を実行できます。 Fn を押した後で ▢ を押すと、改行できます。 • Fn を押したままにして、他のキーを連続して押すこともできます。
② Enter **バックスペース／エスケープキー**	カーソルの前の文字を削除します。 • Fn を押した後で Esc を押すと、可能な場合は操作をキャンセルします。
③ 記号文字 **文字／記号キー**	文字種を切り替えます。 • Fn を押した後で 記号文字 を押すと、記号の一覧が表示され、記号を入力できます。

QWERTYキーモデルの文字入力

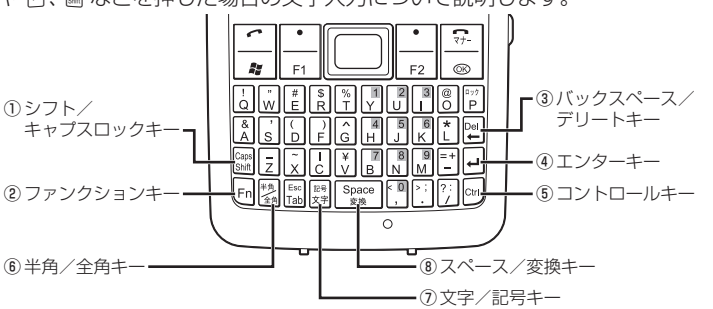
文字種を切り替えて入力する

文字種には、ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字の5種類があります。
文字入力時に 半角/全角 を押すと、文字種を切り替えることができます。現在の文字種は、メニューバーの中央に表示されます。
文字種ごとにQWERTYキーで入力できる文字は、次の表の通りです。

文字種	表示	QWERTYキーで入力できる文字
ひらがな	あ	ローマ字変換でひらがなを入力したり、記号を入力できます。
全角カタカナ	カ	ローマ字変換で全角のカタカナを入力したり、記号を入力できます。
半角カタカナ	ｶ	ローマ字変換で半角のカタカナを入力したり、記号を入力できます。
全角英数字	Ａ	全角のアルファベットや記号を入力できます。
半角英数字	A	半角のアルファベットや記号を入力できます。

文字入力のための特別なキー操作

Del や Enter、Caps Shift などを押した場合の文字入力について説明します。



キー	説明
① Caps Shift **シフト／キャプスロックキー**	Caps Shift を押した後で他のキーを押すと、アルファベットの大文字と小文字を切り替えて入力したり、キーに青色で印刷された記号を入力できます。 • Caps Shift を押したままにして、他のキーを連続して押すこともできます。 • Fn を押した後で Caps Shift を押すと、キャプスロックを設定／解除できます。
② Fn **ファンクションキー**	Fn を押した後で他のキーを押すと、キーに黄色で印字された記号や数字を入力できます。 • Fn を押したままにして、他のキーを連続して押すこともできます。
③ Del **バックスペース／デリートキー**	カーソルの前の文字を削除します。 • Fn を押した後で Del を押すと、カーソルの後の文字が削除されます。
④ Enter **エンターキー**	改行します。予測候補や変換候補が表示されている場合は、確定します。

キー	説明
⑤ Ctrl **コントロールキー**	Ctrl を押したままにして、他のキーを連続して押すこともできます。 Ctrl を押した後で他のキーを押すと、ショートカットを利用できます。 • 利用できるショートカットは、アプリケーションによって異なります。 • 文字列を選択した後で Ctrl を押して C を押すと、文字列をコピーします。 • 文字列を選択した後で Ctrl を押して X を押すと、文字列を切り取ります。 • Ctrl を押して V を押すと、コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。 • Ctrl を押して A を押すと、すべて選択します。 • Ctrl を押して Z を押すと、操作を元に戻します。 • Ctrl を押して Q を押すと、操作を中断してToday画面を表示します。 • Ctrl を押して N を押すと、データを新規作成します。
⑥ 半角/全 **半角／全角キー**	文字種がひらがな、全角カタカナ、半角カタカナまたは全角英数字の場合は、文字種を半角英数字に切り替えます。もう一度押すと、元の文字種に戻ります。
⑦ 記号 **文字／記号キー**	文字種を切り替えます。 • Fn を押した後で 記号 を押すと、記号の一覧が表示され、記号を入力できます。
⑧ Space **スペース／変換キー**	半角のスペースを入力します。変換対象の文字列が入力されている場合は、変換候補の一覧を表示します。

iWnnを利用して文字を入力する

iWnnの予測機能や、つながり予測機能、変換機能などを利用すると、漢字を含む文章を入力できます。

おしらせ

● iWnnは、学習機能を備えています。文字種をひらがな、全角カタカナまたは半角英数字に設定して、予測機能や、つながり予測機能、変換機能で選択した候補は、iWnnによって学習され、次回候補を表示するときに優先して表示されます。

日本語入力システムとしてiWnnを使用する

日本語入力システムとしてiWnnを使用するかどうかを設定できます。

1 **[スタート]▶[設定]▶[システム]▶[iWnnIME]**

2 **[入力]タブを選択▶[日本語入力システムにiWnnを使用する]のチェックをオンまたはオフにする▶[完了]**

チェックをオンにすると、日本語入力システムはiWnnになります。チェックをオフにすると、Microsoft IMEになります。
チェックをオンまたはオフに変更して**[完了]**を選択すると、リセット(再起動)が必要な旨のメッセージが表示されます。

3 **[OK]**

H-21がリセット(再起動)されます。

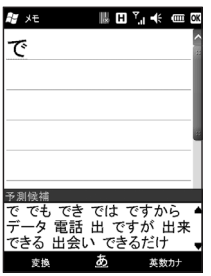
おしらせ

● この章で説明している文字入力の方法は、日本語入力システムとしてiWnnを使用している場合の文字入力の方法です。

予測機能とつながり予測機能を利用して入力する

単語を途中まで入力すると、予測機能によって予測候補の一覧が表示されます。予測候補の一覧から単語を選択して入力できます。
入力を確定すると、つながり予測機能によって、入力した内容につながる予測候補の一覧が表示されます。文字を入力せずに、予測候補の一覧から選択することで入力できます。

例:予測機能とつながり予測機能を利用して「電話を」と入力する



1 文字種をひらがなに切り替えてから「で」と入力
入力した文字に対応した予測候補の一覧が表示されます。

2 「ん」と入力
予測候補の一覧が絞り込まれて表示されます。

3 ▼
予測候補の一覧にカーソルが移動します。

4 ✥ で予測候補の中の「電話」を選択▶ ⊡
入力が確定され、「電話」が入力されます。
つながり予測機能によって、予測候補が表示されます。

5 ✥ で予測候補の中の「を」を選択▶ ⊡
入力が確定され、「を」が入力されます。

おしらせ

● 予測機能とつながり予測機能は、文字種がひらがな、全角カタカナまたは半角英数字の場合に利用できます。
● 予測候補の一覧にカーソルを移動する前に ▼ を押すと、予測対象の長さを変更できます。
● 予測候補をタップしても、予測候補を選択して入力を確定できます。
● つながり予測機能の候補がない場合は、予測候補の一覧は表示されません。
● iWnnには、状況適応予測機能が装備されています。現在の季節や時間帯に適した予測候補が優先して予測候補の一覧に表示されます。また、入力した内容に応じて、過去または未来の話題に適した予測候補が優先して予測候補の一覧に表示されます。

<Numericキーモデルの場合>
● カーソルを入力画面に戻すことができます。
● つながり予測機能による予測候補の一覧が表示されているときに ⎋ を押すと、つながり予測機能の予測候補の一覧を非表示にできます。

<QWERTYキーモデルの場合>
● ↵ を押しても入力を確定できます。
● カーソルを入力画面に戻して予測対象の長さを変更できます。
● つながり予測機能による予測候補の一覧が表示されているときに Esc を押すと、つながり予測機能の予測候補の一覧を非表示にできます。

ワイルドカード予測機能を利用して入力する

ワイルドカード予測機能を利用して文字数を指定すると、指定した文字数以上の候補に予測候補の一覧を絞り込むことができます。

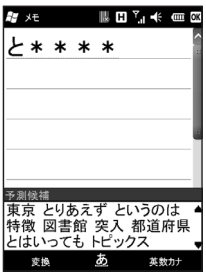
例：ワイルドカード予測機能を利用して「東京」と入力する

1 文字種をひらがなに切り替えてから「と」と入力

入力した文字に対応した予測候補の一覧が表示されます。

2 ▶ を押して「＊」を4個表示させる

Numericキーモデルの場合は、▶ を5回押します。
QWERTYキーモデルの場合は、▶ を4回押します。
予測候補の一覧が「と」で始まる5文字以上の候補に絞り込まれて表示されます。



3 ▼

予測候補の一覧にカーソルが移動します。

4 ◆ で予測候補の中の「東京」を選択▶ ●

入力が確定され、「東京」が入力されます。

おしらせ

- ワイルドカード予測機能は、文字種がひらがな、全角カタカナまたは半角英数字の場合に利用できます。

変換機能を利用して入力する

入力した文字を漢字やカタカナなどに変換できます。

例：変換機能を利用して「電話を」と入力する

1 文字種をひらがなに切り替えてから「でんわを」と入力

2 [変換]

変換候補の一覧が表示されます。

3 ▼

変換候補の一覧にカーソルが移動します。

4 ◆ で変換候補の中の「電話を」を選択▶ ●

入力が確定され、「電話を」が入力されます。

おしらせ

- 変換候補の一覧を表示した後で ◆ を押すと、変換対象の長さを変更できます。
- 変換候補をタップしても、変換候補を選択して入力を確定できます。

＜Numericキーモデルの場合＞

- 変換候補の一覧を表示した後で Esc を押すか**[戻る]**を選択すると、変換候補の一覧が非表示になり、入力を継続できます。

<QWERTYキーモデルの場合>
- Space を押しても変換候補の一覧を表示できます。
- ↵ を押しても入力を確定できます。
- 変換候補の一覧を表示した後で Del を押すか**[戻る]**を選択すると、変換候補の一覧が非表示になり、入力を継続できます。

英数カナ変換機能を利用して入力する

入力したキーに対応した英字、数字またはカタカナに変換できます。

例:英数カナ変換機能を利用して「ソラ」と入力する

1 文字種をひらがなに切り替えてから「そら」と入力

2 [英数カナ]

英数カナ変換候補の一覧が表示されます。

3 ▼

変換候補の一覧にカーソルが移動します。

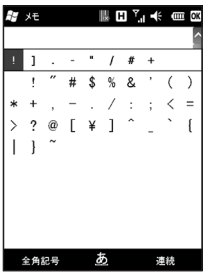
4 ✣ で変換候補の中の「ソラ」を選択▶ ▣

入力が確定され、「ソラ」が入力されます。

一覧を表示して記号を入力する

1 Numericキーモデルの場合は Fn を押してから 記号 文字 を押す
QWERTYキーモデルの場合は Fn を押してから 記号 文字 を押す

記号の一覧が表示されます。
記号の一覧の2行目には、最近入力した記号が最大10個まで表示され、選択することができます。
[半角記号]または**[全角記号]**を選択すると、記号の全角と半角を切り替えることができます。



2 ✣ で記号を選択▶ ▣

選択した記号が入力されます。

おしらせ

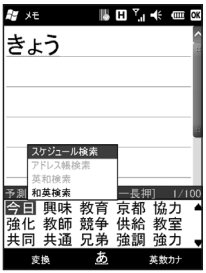
- ✣ で記号を選択して**[連続]**を選択すると、記号を連続して選択できます。選択した記号は画面の1行目に表示され、✣ で記号を選択して ▣ を押した時点で記号が入力されます。
  ※ 連続して入力できる記号は、最大10個です。
- 一覧の記号をタップしても、記号を入力できます。
- Numericキーモデルの場合は、記号の一覧で ↵ を押すと、記号を入力せずに入力画面に戻ります。
- QWERTYキーモデルの場合は、記号の一覧で Del を押すと、記号を入力せずに入力画面に戻ります。

データ検索機能を利用して入力する

予測機能、つながり予測機能、変換機能、英数カナ変換候補の候補を選択している状態で ▣ を押し続けると、予定表(スケジュール)、連絡先(アドレス帳)、英和辞典、和英辞典を検索して、入力に利用できます。

1 候補を選択▶ ▣ を押し続ける

データ検索機能のメニューが表示されます。



2 検索対象を選択

スケジュール検索	予定表を検索した結果の一覧が表示されます。 • 一覧で予定を選択すると、予定の開始時刻、終了時時刻、内容(件名)が入力されます。 • スケジュール検索では、「今日」や「明日」などの日付を表す言葉や、「月曜日」などの曜日、「1月1日」や「1日」などの月日、X日後、X日前などの候補を選択した場合に、該当する日付の予定が検索されます。
アドレス帳検索	連絡先を検索した結果の一覧が表示されます。 • 連絡先を選択すると、連絡先の登録内容が表示されます。登録内容を選択すると、選択した登録内容が入力されます。 • アドレス帳検索では、連絡先の姓、姓のフリガナ、名、名のフリガナ、勤務先電話、電子メール、携帯電話が検索されます。
英和検索	英和辞典を検索した結果の一覧が表示されます。 • 単語を選択して**[意味]**を選択すると、単語の意味が表示されます。 • 単語を選択して**[メニュー]▶[意味コピー]**と操作すると、意味の内容をコピーできます。 • 検索結果の一覧で**[OK]**を選択すると、入力画面に戻ります。
和英検索	和英辞典を検索した結果の一覧が表示されます。 • 単語を選択して**[意味]**を選択すると、単語の意味が表示されます。 • 単語を選択して**[メニュー]▶[意味コピー]**と操作すると、意味の内容をコピーできます。 • 検索結果の一覧で**[OK]**を選択すると、入力画面に戻ります。

おしらせ

- 候補をタップしたまま押し続けても、データ検索機能のメニューを表示できます。
- 候補が検索対象に存在しない場合は、メニューの項目がグレーで表示され選択できません。
- データ検索機能で利用する英和辞典と和英辞典は、iWnnに内蔵されています。

ソフトウェアキーボードを利用して入力する

画面にキーボードを表示して、画面上のキーをタップすることで文字を入力できます。また、画面に手書きで文字を入力することもできます。

ソフトウェアキーボードを表示する

1 メニューバーの中央の文字種をタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 メニューバーの中央の[▲]をタップ

ソフトウェアキーボードによる入力方式を選択する画面が表示されます。

3 入力方式を選択

選択した種類のソフトウェアキーボードが表示されます。

[オプション]を選択した場合は、**[入力]**の設定画面(P.140)が表示されます。

おしらせ

- ソフトウェアキーボードを非表示にするには、メニューバーの中央のアイコンをタップします。
- iWnnを標準の日本語入力システムとして使用している場合、入力した内容を変換するには、ソフトウェアキーボードの**[変換]**ではなく、画面下部のメニューバーの**[変換]**を選択してください。

ローマ字／かなのソフトウェアキーボードで入力する

QWERTY配列のソフトウェアキーボードを表示して、ローマ字変換でひらがなやカタカナを入力したり、アルファベットを入力できます。

1 メニューバーの中央の文字種をタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 メニューバーの中央の[▲]をタップ▶[ローマ字／かな]

QWERTY配列のソフトウェアキーボードが表示されます。

- **[かな]**をタップすると、ひらがなを入力できます。
- **[カナ]**をタップすると、カタカナを入力できます。
- **[英数]**をタップすると、アルファベットを入力できます。
- **[記号]**をタップすると、キーボードに記号の一覧が表示され、記号を入力できます。

ひらがな／カタカナのソフトウェアキーボードで入力する

ひらがなまたはカタカナをソフトウェアキーボードに表示して入力できます。

1 メニューバーの中央の文字種をタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 メニューバーの中央の[▲]をタップ▶[ひらがな／カタカナ]

五十音順のひらがなまたはカタカナのソフトウェアキーボードが表示されます。

- **[かな]**をタップすると、キーボードにひらがなが表示され、ひらがなを入力できます。
- **[カナ]**をタップすると、キーボードにカタカナが表示され、カタカナを入力できます。
- **[記号]**をタップすると、キーボードに記号の一覧が表示され、記号を入力できます。

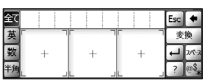
手書き入力で入力する

画面に手書き入力用のパッドが表示されます。手書きで文字を入力すると、自動的に認識されます。

1 メニューバーの中央の文字種をタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 メニューバーの中央の[▲]をタップ▶[手書き入力]



手書き入力用のパッドが表示されます。

- **[全て]**をタップすると、ひらがな、カタカナ、英数字、記号といったすべての文字が認識候補になります。
- **[英]**をタップすると、アルファベットと記号のみが認識候補になります。
- **[数]**をタップすると、数字と記号のみが認識候補になります。
- **[@$¥]**をタップすると、記号の一覧のキーボードが表示され、記号を入力できます。

手書き検索で入力する

手書きで入力した文字を検索して入力できます。画数が多い文字を手書きで入力する場合などに使用します。

1 メニューバーの中央の文字種をタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 メニューバーの中央の[▲]をタップ▶[手書き入力]

手書き検索のパッドが表示されます。右側のパッドに手書きで文字を入力すると、検索結果が左側に表示されます。検索結果の文字をタップすると入力できます。

- **[@$¥]**をタップすると、記号の一覧のキーボードが表示され、記号を入力できます。

iWnnを設定する

1 **[スタート]▶[設定]▶[システム]▶[iWnnIME]**

2 **[入力]タブを選択▶設定を変更**

日本語入力システムにiWnnを使用する	iWnnを日本語入力システムとして使用しない場合は、チェックをオフにします。 ・チェックをオンまたはオフに変更して**[完了]**を選択すると、リセット(再起動)が必要な旨のメッセージが表示されます。**[OK]**を選択すると、H-21がリセット(再起動)されます。 ・チェックをオフすると、日本語入力システムとしてMicrosoft IMEが使用されます。
予測入力を有効にする	予測機能とつながり予測機能を使用しない場合はチェックをオフにします。
Q1(Q1キー)で数字入力に切り替える	Numericキーモデル機で、iWnnを日本語入力システムとして使用する場合、チェックをオンにすると、数字入力と文字入力がQ1(Q1キー)で切り替えられます。半角数字を直接入力したい場合は便利です。
候補文字表示サイズ	候補の一覧を表示するときの文字サイズを**[大]**、**[中]**または**[小]**から選択します。

3 **[辞書]タブを選択▶設定を変更**

辞書ツール...	ユーザー辞書に単語を登録できます。詳しくは、「ユーザー辞書に変換候補を登録する」(P.66)を参照してください。
学習辞書をリセット	学習機能で学習した内容をすべて削除します。
ユーザー辞書をリセット	辞書ツールで登録した変換候補をすべて削除します。
一括辞書作成ツール...	連絡先や送受信したメール、テキストファイルから一括して辞書を作成できます。詳しくは、「一括辞書作成ツールを利用する」(P.67)を参照してください。

4 **[バージョン情報]タブを選択**

iWnnのバージョン情報が表示されます。

5 **[完了]**

ユーザー辞書に変換候補を登録する

ユーザー辞書に変換候補を登録すると、予測機能や変換機能の候補として表示されます。

1 **[スタート]▶[設定]▶[システム]▶[iWnnIME]**

2 **[辞書]タブを選択▶[辞書ツール...]**

ユーザー辞書に登録されている変換候補の一覧が表示されます。

3 **[メニュー]▶[新規]**

4 **読みと候補を入力**

[読み:]には、ひらがなのみ最大20文字まで入力できます。
[候補:]には、最大20文字まで入力できます。

5 [登録]

変換候補が登録され、変換候補の一覧に戻ります。

6 [閉じる]▶[完了]

おしらせ

- ユーザー辞書には、最大255個まで変換候補を登録できます。
- 一覧で変換候補をタップするか、変換候補を選択▶**[メニュー]**▶**[編集]**と操作すると、変換候補を編集できます。
- 変換候補を選択▶**[メニュー]**▶**[削除]**▶[OK]と操作すると、変換候補を削除できます。

一括辞書作成ツールを利用する

連絡先や送受信したメール、テキストファイルから一括して辞書を作成できます。最初にテキスト辞書を作成した後で、バイナリ辞書を作成してH-21をリセット(再起動)すると、iWnnの辞書として使用できるようになります。

1 [スタート]▶[設定]▶[システム]▶[iWnnIME]

2 [辞書]タブを選択▶[一括辞書作成ツール...]

3 [テキスト辞書作成対象]のいずれかのチェックをオンにする

[アドレス帳(連絡先)]のチェックをオンにすると、連絡先の情報から変換候補を抽出します。

[送受信メール(Outlook)]のチェックをオンにすると、送信メールと受信メールの文章を形態素解析し、品詞が名詞の単語を変換候補として抽出します。

[テキストファイル]のチェックをオンにすると、テキストファイルの文章を形態素解析し、品詞が名詞の単語を変換候補として抽出します。**[テキストファイル]**のチェックをオンにした場合は、**[参照]**を選択し、テキストファイルを選択してください。

4 [作成]▶[OK]▶[OK]

テキスト辞書が作成されます。

5 [バイナリ辞書]を選択▶[作成]▶[OK]▶[OK]▶[OK]

H-21がリセット(再起動)されます。

おしらせ

- **[送受信メール(Outlook)]**のチェックをオンにしてテキスト辞書を作成する場合は、メールアカウントの作成時に**[受信トレイ]**に自動的に作成される「Windows(r) phone メール使用上のヒント」のメールをあらかじめ削除してください。「Windows(r) phone メール使用上のヒント」のメールが存在すると、テキスト辞書の作成に失敗します。

電話機能

H-21の電話番号を確認する

H-21に取り付けられているFOMAカードの電話番号を確認できます。

1 **[スタート]▶[設定]▶[個人]▶[電話]**

2 **[電話]タブを選択**

画面上部に電話番号が表示されます。

3 **[OK]**

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

＜Numericキーモデルの場合＞

1

電話画面が表示されます。

- **[スピードダイヤル]**をタップすると、スピードダイヤルの一覧が表示されます。
- **[通話履歴]**をタップすると、通話履歴の一覧が表示されます。
- 連絡先に登録されている電話番号を入力した場合は、名前が表示されます。連絡先に登録されていない電話番号の場合は、「該当なし」と表示されます。
- 番号を間違えた場合は、 を押すと1桁削除できます。 を押し続けると、入力した番号がすべて削除されます。
- 番号を間違えた場合は、**[キーパッド]**を選択して**[←]**をタップすると1桁削除できます。**[←]**をタップしたまま押さえると、入力した番号がすべて削除されます。

2 **0 ～ 9 を押して相手の電話番号を入力▶**

通話中画面が表示されます。

- **[スピーカーオン]**をタップすると、スピーカーフォンで通話できます。
- **[ミュート]**をタップすると、相手にH-21側の音声が聞こえなくなります。
- **[保留]**をタップすると、通話を一時保留します。
  ※「キャッチホン」および「転送でんわサービス」をご契約いただいていない場合は、**[保留]**をタップしても保留になりません。
  ※ H-21では、保留音は聞こえません。
- **[通話の追加]**をタップすると、別の相手に電話をかけることができます。
  ※ 別の相手に電話をかけると、最初の相手との通話は一時保留になります。
  ※「キャッチホン」および「転送でんわサービス」をご契約いただいていない場合は、**[通話の追加]**をタップしても電話をかけることはできません。
- **[連絡先]**をタップすると、連絡先が表示されます。
- **[終了]**をタップすると、電話を切ります。

3 **通話が終了したら**

＜QWERTYキーモデルの場合＞

1

電話画面が表示されます。画面は、Numericキーモデルと同様です。

2 ～ を押して相手の電話番号を入力▶

通話中画面が表示されます。画面は、Numericキーモデルと同様です。

- 番号を間違えた場合は、 を押すと1桁削除できます。 を押し続けると、入力した番号がすべて削除されます。

3 通話が終了したら

おしらせ

- **[スタート]▶[電話]**と操作しても、電話画面を表示できます。
- 画面の表示が消えてスリープモードになった場合は、 を押すことで復帰させることができます。
- 電話番号を入力した後で を押しても、電話をかけることができます。
- 通話中でも、パケット通信やSMSの送受信が可能です。
- H-21では、相手が電話を切ったときに聞こえる通話終了音(「プープー」という音)が鳴りません。
- H-21では、テレビ電話はご利用になれません。

＜Numericキーモデルの場合＞

- Today画面でダイヤルキーを押しても、電話画面を表示できます。
- 通話中に ～ 、 または を押すと、プッシュ信号(DTMF)を送信できます。

＜QWERTYキーモデルの場合＞

- Today画面でQWERTYキー(、 、 、 、 、 、 、 を除く)を押しても、電話画面を表示できます。
- 電話画面で を押すと「P」が入力され、相手が電話に出た後で「P」の後に入力した番号のプッシュ信号(DTMF)が送信されます。
- 電話画面で を押すと「W」が入力され、通話中に を押すことで「W」の後に入力した番号のプッシュ信号(DTMF)を送信できます。
- 通話中に ～ 、 または を押すと、プッシュ信号(DTMF)を送信できます。

スマートダイヤルで電話をかける

電話画面には、番号やアルファベット、記号を入力するたびに、該当する連絡先や通話履歴が絞り込んで表示されます。絞り込まれた連絡先や通話履歴を選択することで電話をかけられます。

1

電話画面が表示されます。

2 電話番号の一部などを入力

連絡先や通話履歴が絞り込まれて表示されます。

3 連絡先または通話履歴を選択▶電話番号を選択

選択した電話番号に電話がかかります。

おしらせ

- 漢字や、ひらがな、カタカナを入力して、絞り込むことはできません。

リダイヤルで電話をかける

最後に電話をかけた電話番号に電話をかけることができます。

1 を2回押す

通話履歴から電話をかける

1 [ ] ▶ **[通話履歴]**

通話履歴の一覧が表示されます。
は、その電話番号に電話をかけたことを示します。
は、その電話番号から電話を受けたことを示します。
は、その電話番号から不在着信があったことを示します。

2 **電話番号を選択**

通話履歴の詳細が表示されます。

3 **[ダイヤル]**

通話履歴の電話番号に電話がかかります。

おしらせ

- 通話履歴の一覧で**[メニュー]**▶**[通話時間]**と操作すると、すべての通話時間と件数と、最近の通話時間と件数を確認できます。**[リセット]**をタップすると、最近の通話時間と件数をリセットできます。

連絡先から電話をかける

連絡先に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 **[スタート]**▶**[連絡先]**

連絡先の一覧が表示されます。

2 **連絡先を選択▶発信する電話番号を選択**

選択した電話番号に電話がかかります。

おしらせ

- 連絡先の一覧で [↕] で連絡先を選択して [ ] を押しても、電話をかけることができます。
  連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、連絡先を選択した後で [↔] を押すと電話番号を選択できます。

発信者番号を通知／非通知にして電話をかける

電話番号の前に「186」(通知)または「184」(非通知)を追加することで、H-21の電話番号を相手の電話機に通知するかどうかを選択できます。

＜Numericキーモデルの場合＞

1 [ ] ▶ [1.あ/@] [8tuv] [6mno] **(通知)または** [1.あ/@] [8tuv] [4ghi] **(非通知)**

2 **相手の電話番号を入力**▶[ ]

＜QWERTYキーモデルの場合＞

1 [ ] ▶ [J/Y] [B/N] [G/K] **(通知)または** [J/Y] [B/N] [F/H] **(非通知)**

2 **相手の電話番号を入力**▶[ ]

おしらせ

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。
- 発信者番号の通知／非通知をあらかじめ設定しておくことができます。設定方法については、「発信者番号通知を設定する」(P.80)を参照してください。

電話を受ける

＜Numericキーモデルの場合＞

1 電話がかかってきたら

2 通話が終了したら

＜QWERTYキーモデルの場合＞

1 電話がかかってきたら

2 通話が終了したら

おしらせ

- 着信時に相手の電話番号が通知された場合は、相手の電話番号が表示されます。電話番号が連絡先に登録されている場合は、連絡先の名前が表示されます。
  相手の電話番号が通知されなかった場合は、非通知の理由が表示されます。
- 着信中に ◁ または ▷ を押すと、着信音とバイブレーターを停止できます。
- 着信時に**[応答]**を選択しても電話に出ることができます。**[拒否]**を選択すると、着信を拒否します。
- デバイスロック中に電話がかかってきた場合は、**[応答]**を右にスライドさせると電話に出ることができます。**[拒否]**を右にスライドさせると着信を拒否します。
  デバイスロックの詳細については、「デバイスロックを設定する[ロック]」(P.143)を参照してください。
- H-21では、応答を保留することはできません。

通話中に相手の声の音量を調節する

通話中の相手の声の音量(受話音量)は、発信中や通話中のみ調節できます。

1 通話中に ◁(音量を上げる)または ▷(音量を下げる)を押して調節する

おしらせ

- 発信中や通話中にタイトルバーの🔈、🔇または📳をタップすると、受話音量を調節するスライダーが表示されます。スライダーを上下させても音量を調節することができます。

スピーカーフォンを利用する

通話中の相手の声をスピーカーから聞くことができ、ハンズフリーで通話できます。

1 通話中に[スピーカーオン]をタップ

[スピーカーオフ]をタップすると、通常の通話に戻ります。

おしらせ

- スピーカーフォンを利用しているときは、H-21を耳に当てないでください。

スピードダイヤルを利用する

スピードダイヤルに連絡先の電話番号を登録すると、すばやく電話をかけることができます。

スピードダイヤルに連絡先の電話番号を登録する

1 ▶**[スピードダイヤル]**

スピードダイヤルの一覧が表示されます。

2 **[メニュー]**▶**[新規作成]**

連絡先の一覧が表示されます。

3 **連絡先を選択**▶**登録内容を必要に応じて変更**

名前:	連絡先の名前とは異なった名前でスピードダイヤルに登録する場合は変更します。
電話番号:	連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、**[▼]**をタップして電話番号を選択します。
短縮番号:	登録先の短縮番号を変更する場合は、**[▲]**または**[▼]**をタップして短縮番号を変更します。 ・登録済みの短縮番号を選択した場合は、上書きされます。

4 **[OK]**

おしらせ

- スピードダイヤルの一覧で名前と電話番号の表示をタップすると、登録内容の編集や削除ができます。
- スピードダイヤルの一覧で短縮番号をタップすると、登録されている電話番号に電話をかけます。
- お買い上げ時には、短縮番号1番の「留守番電話」には、留守番電話サービスセンターの番号が設定されています。

スピードダイヤルを利用して電話をかける

1 ▶**短縮番号が割り当てられた番号のキーを1秒以上押し続ける**

スピードダイヤルに登録されている電話番号に電話がかかります。

おしらせ

- 短縮番号が2桁のスピードダイヤルに電話をかけるには、▶**[スピードダイヤル]**と操作してスピードダイヤルの一覧を表示し、短縮番号をタップするか、電話番号を選択することで電話をかけてください。

電話モード(マナーモード)を設定する

1 [スタート]▶[設定]▶[個人]▶[電話モード]

2 電話モードを選択

通常:	電話モードを通常モードにします。通常モードでは、**[音と通知]**(P.138)の設定に従って着信音が鳴り、バイブレーターが動作します。 ・通常モードでは、画面の下部に表示されている(スピーカーの音量)と(着信音の音量)のスライダーで音量を調節することができます。 ・(スピーカーの音量)と(着信音の音量)のスライダーを両方ともレベル0にして設定を終了すると、電話モードが自動的にサイレントモードに変更されます。
マナー:	電話モードをマナーモードにします。マナーモードでは、スピーカーと着信音の音量がレベル0になります。 ・着信時は、**[音と通知]**の設定に関わらず、着信音がオフになり、バイブレーターが振動します。
サイレント:	電話モードをサイレントモードにします。サイレントモードでは、スピーカーと着信音の音量がレベル0になり、バイブレーターが振動しなくなります。 ・着信時は、**[音と通知]**の設定に関わらず、着信音がオフになり、バイブレーターも振動しません。
アウトドア:	電話モードをアウトドアモードにします。アウトドアモードでは、スピーカーと着信音の音量が最大になり、バイブレーターが振動します。
自動:	電話モードを自動モードにします。自動モードでは、予定表に会議が登録されている時間のみ自動的にマナーモードにします。それ以外は通常モードになります。
公共:(ドライブ)	電話モードを公共モード(ドライブモード)にします。公共モード(ドライブモード)では、スピーカーと着信音の音量がレベル0になり、バイブレーターが振動しなくなります。また、着信の動作は行われず、不在着信になります。

3 [OK]

おしらせ

● 画面下部の**[音と通知]**をタップすると、**[音と通知]**の設定画面(P.138)が表示されます。

■公共モード(ドライブモード)について

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードに設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 圏外など、電波が受信できないときでも設定／解除できます。
- 公共モード設定中でも電話をかけることができます。
- 本機能はデータ通信中はご利用できません。

■公共モード(ドライブモード)に設定すると

お客様のH-21に電話がかかってきても着信音は鳴りません。
通話履歴には不在着信として記憶されます。

- 電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- メール受信時の着信音は鳴らず、メールの受信を示すメッセージが表示されます。
- 電源が入っていない場合や画面に圏外(Y!)が表示されている場合は、公共モード(ドライブモード)のガイダンスは流れずに圏外(Y!)が表示されているときと同じガイダンスが流れます。
- 公共モード(ドライブモード)中は、次の音も鳴りません。
  - **[時計とアラーム]**のアラーム音※1　・予定表のアラーム音
  - Windows Media Player Mobileなどの再生音※2

※1 **[時計とアラーム]**の**[その他]**タブの**[デバイスがサイレントまたはバイブに設定されていてもアラーム音を再生する]**のチェックがオンになっている場合は、電話モードの設定に関わらずアラーム音が鳴ります。

※2 付属のイヤフォンとイヤフォン用変換ケーブル使用時も音は鳴りません。

- 公共モード(ドライブモード)に設定すると、タイトルバーには、🚗が表示されます。

公共モード(電源OFF)を利用する

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。
公共モード(電源OFF)に設定すると、電話を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

公共モード(電源OFF)を設定する

＜Numericキーモデルの場合＞

1 ▶ [*] [2] [5] [2] [5] [1] ▶

＜QWERTYキーモデルの場合＞

1 ▶ [*] [J] [J] [J] [J] [Y] ▶

■公共モード(電源OFF)に設定すると

公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時には「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが電話をかけてきた相手に流れ、通話を終了します。

「*25250」にダイヤルして公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。

サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。

公共モード(電源OFF)を解除する

<Numericキーモデルの場合>

1 ▶ [*] [2] [5] [2] [5] [0] ▶

<QWERTYキーモデルの場合>

1 ▶ [*] [7] [5] [7] [5] [0] ▶

公共モード(電源OFF)の現在の設定を確認する

<Numericキーモデルの場合>

1 ▶ [*] [2] [5] [2] [5] [9] ▶

現在の設定がアナウンスされます。

<QWERTYキーモデルの場合>

1 ▶ [*] [7] [5] [7] [5] [9] ▶

現在の設定がアナウンスされます。

ネットワークサービスを利用する

利用できるネットワークサービス

H-21では、以下のドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

・ネットワークサービスについて詳しくは、ドコモの『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

サービス名	月額使用料	お申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P.76
キャッチホン	有料	必要	P.77
転送でんわサービス	無料	必要	P.78
迷惑電話ストップサービス	無料	不要	P.80
発信者番号通知サービス	無料	不要	P.80
番号通知お願いサービス	無料	不要	P.81
公共モード(ドライブモード)	無料	不要	P.74
公共モード(電源OFF)	無料	不要	P.74

おしらせ

● サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスの設定はできません。

● 本書では各ネットワークサービスの概要を、H-21のメニューを使って操作する方法で説明しています。

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり最長3分、最大20件まで録音でき、最長72時間保存されます。
- 留守番電話サービスの開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、通話履歴に不在着信として記録され、タイトルバーに が表示されます。
- 伝言メッセージが録音されると、 と件数が表示されます。
  はすべての伝言メッセージを保存または消去すると消えます。
- 伝言メッセージが録音されると、本文が「VM：XX」（Xは伝言メッセージの件数）の通知SMSを受信します。SMSの一覧画面から通知SMSを選択しても、留守番電話サービスセンターにアクセスできません。
- が表示されている場合、メニューバーの**[留守番電話]**を選択すると留守番電話サービスセンターにつながります。

1 [スタート]▶[設定]▶[個人]▶[ネットワークサービス]

2 [留守番電話]▶項目を選択

留守番メッセージ再生	**[はい]**を選択すると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。伝言メッセージがある場合は、音声ガイダンスの指示に従って操作すると再生できます。
留守番電話サービス開始	**[はい]**を選択すると、留守番電話サービスが開始されます。
留守番サービス停止	**[はい]**を選択すると、留守番電話サービスが停止されます。
留守番呼出時間設定	呼出時間（0～120秒）を入力して**[接続]**を選択します。 • 呼出時間を0秒に設定した場合は、かかってきた電話は直接留守番電話サービスセンターにつながります。H-21は呼び出されず、通話履歴には着信が記録されません。
留守番設定確認	留守番電話サービスの現在の設定を確認できます。
留守番サービス設定	**[はい]**を選択すると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。音声ガイダンスの指示に従って操作すると設定を変更できます。
メッセージ問合せ	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがあるかどうか確認できます。 • 問い合わせの結果は、SMSとしてH-21に送信されます。
件数増加鳴動設定	**[はい]**を選択すると、**[音と通知]**の**[通知]**タブが表示されます。**[イベント:]**で**[電話:留守番電話]**を選択すると、新しい伝言メッセージをお預かりしたときの通知を設定できます。
着信通知開始	着信通知を開始すると、H-21の電源が入っていないときや圏外のときに着信があったことをお知らせします。 • **[全着信]**を選択すると、すべての着信を通知します。 • **[発信号あり]**を選択すると、発信者番号を通知してきた着信のみ通知します。 • 着信通知は、再びH-21の電源を入れたときや圏内に入ったときにSMSでお知らせします

着信通知停止	**[はい]**を選択すると、着信通知が停止されます。
着信通知設定確認	着信通知の現在の設定を確認できます。

3 **[×]**

■留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始する

↓

お客様のFOMA端末に電話がかかる

↓

電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

↓

相手が伝言メッセージを録音する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を入力すると、すぐに録音できる状態になります。

↓

留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしていることが通知される

↓

伝言メッセージを再生する

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

おしらせ

● 保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

1 **[スタート]▶[設定]▶[個人]▶[ネットワークサービス]**

2 **[キャッチホン]▶項目を選択**

キャッチホン サービス開始	**[はい]**を選択すると、キャッチホンサービスが開始されます。
キャッチホン サービス停止	**[はい]**を選択すると、キャッチホンサービスが停止されます。
キャッチホン サービス設定確認	キャッチホンサービスの現在の設定を確認できます。

3 **[×]**

■通話を保留にして、かかってきた電話に出るには

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[応答]をタップ

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けることができます。

＜後からかかってきた相手との通話を終了する場合＞
[終了]をタップすると、後からかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

＜後からかかってきた相手との通話を保留にする場合＞
[切り替え]をタップすると、後からかかってきた相手との通話が保留になり、最初の相手との通話に切り替わります。**[切り替え]**をタップするたびに通話の相手が切り替わります。

おしらせ

- 通話中保留にしているときに電話がかかってくると、「ププ…ププ…」という音が聞こえます。**[応答]**をタップすると、最初の相手との通話は保留のまま、後からかかってきた電話を受けることができます。

■通話を保留にして、別の相手に電話をかけるには

1 通話中に[保留]をタップ

最初の相手との通話が保留になります。

2 相手の電話番号を入力▶

電話番号を入力する代わりに**[連絡先]**をタップすると、連絡先から電話番号を選択して電話をかけられます。
新しくかけた相手が電話に出ると通話ができます。

＜新しくかけた相手との通話を終了する場合＞
[終了]をタップすると、新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

＜新しくかけた相手との通話を保留にする場合＞
[切り替え]をタップすると、新しくかけた相手との通話が保留になり、最初の相手との通話に切り替わります。**[切り替え]**をタップするたびに通話の相手が切り替わります。

おしらせ

- 「キャッチホン」および「転送でんわサービス」をご契約いただいていない場合、通話中に**[保留]**をタップしても、一時保留にはなりません。
- 通話中に**[通話の追加]**をタップしても、別の相手に電話をかけることができます。その場合は、別の相手に電話をかけた時点で、最初の相手との通話は一時保留になります。
  ※「キャッチホン」および「転送でんわサービス」をご契約いただいていない場合、通話中に**[通話の追加]**をタップしても電話をかけることはできません。

転送でんわサービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスの開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、通話履歴に不在着信として記録され、が表示されます。

1 [スタート]▶[設定]▶[個人]▶[ネットワークサービス]

2 **[転送でんわ]▶項目を選択**

転送サービス開始	**[はい]**を選択した後、転送先の電話番号と呼出時間(0～120秒)を入力して**[接続]**を選択すると、転送でんわサービスが開始されます。 • 呼出時間を0秒に設定した場合は、かかってきた電話は直接転送先の電話番号につながります。H-21は呼び出されず、通話履歴には着信が記録されません。
転送サービス停止	**[はい]**を選択すると、転送でんわサービスが停止されます。
転送先変更	転送先の電話番号を変更して**[接続]**を選択すると、転送先を変更できます。 続けて**[はい]**を選択すると、転送先の電話番号が変更され、転送でんわサービスが開始されます。
転送先通話中時設定	**[接続する]**を選択すると、転送先が通話中の場合、かかってきた電話は留守番電話サービスセンターに接続されます。 • ご利用には、留守番電話サービスのご契約が必要です。
転送サービス設定確認	転送でんわサービスの現在の設定を確認できます。

3 **[×]**

■転送ガイダンスの有無を設定するには

電話と転送するとき、電話をかけてきた相手に、電話を転送することを告げる音声ガイダンスを流すかどうかを設定します。

<Numericキーモデルの場合>

1 ▶ 1 4 2 9 ▶

2 **音声ガイダンスに従って設定する**

<QWERTYキーモデルの場合>

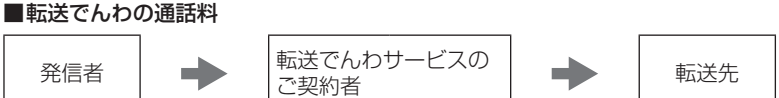
1 ▶ Y H J M ▶

2 **音声ガイダンスに従って設定する**

■転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する
↓
転送でんわサービスを開始に設定する
↓
お客様のFOMA端末に電話がかかる
↓
電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

■転送でんわの通話料



発信者に通話料がかかります。

転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

おしらせ

● 転送でんわサービスを開始していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話などの迷惑電話を拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 相手の電話番号が非通知の場合でも、着信応答した直後に着信拒否登録することができます。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、通話履歴にも不在着信は記録されません。

1 **[スタート]▶[設定]▶[個人]▶[ネットワークサービス]**

2 **[迷惑電話ストップ]▶項目を選択**

最後に着信応答した電話番号の登録（迷惑電話着信拒否登録）	**[はい]**を選択すると、最後に着信応答した相手の電話番号が着信拒否登録されます。
電話番号指定拒否登録	着信拒否したい電話番号を入力し、**[接続]**をタップして登録します。
迷惑電話全登録削除	**[はい]**を選択すると、着信拒否登録した電話番号がすべて削除されます。
迷惑電話1登録削除	**[はい]**を選択すると、最後に登録した電話番号が1件削除されます。 ・**[迷惑電話1登録削除]**の操作を繰り返すと、最後から1件ずつ削除できます。
拒否登録件数確認	登録した電話番号の件数を確認できます。

3 **[×]**

おしらせ

● 着信拒否する電話番号は、30件まで登録できます。

● 着信拒否登録した日時や電話番号は確認することができません。電話番号を入力して拒否登録するときは、お間違えのないようにご注意ください。

発信者番号通知を設定する

電話をかけたとき、自分の電話番号（発信者番号）を相手の電話機に通知するかどうかを設定できます。

- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際はご注意ください。

1 **[スタート]▶[設定]▶[個人]▶[ネットワークサービス]**

2 **[発信者番号通知]▶項目を選択**

発信者番号通知設定確認	発信者番号通知の現在の設定を確認できます。
発信者番号通知設定	数字で4桁のネットワーク暗証番号を入力して**[接続]**を選択します。 続けて**[通知する]**を選択すると、自分の電話番号（発信者番号）を相手の電話機に通知します。**[通知しない]**を選択すると、通知しません。

3 **[×]**

おしらせ

● 電話をかけるたびに発信者番号の通知／非通知を指定することができます。指定方法については、「発信者番号を通知／非通知にして電話をかける」(P.70)を参照してください。
通話ごとの指定の方が、発信者番号通知の設定よりも優先されます。

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号が非通知の電話でかかってきたとき、発信者に対して番号通知を依頼するガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- このサービスで着信を拒否した電話は、通話履歴に不在着信として記録されません。
- 公衆電話や海外からの着信など電話番号の通知ができない場合は、番号通知お願いサービスのガイダンスは流れずに着信します。

1 [スタート]▶[設定]▶[個人]▶[ネットワークサービス]

2 [番号通知お願いサービス]▶項目を選択

番号通知お願いサービス開始	**[はい]**を選択すると、番号通知お願いサービスが開始されます。
番号通知お願いサービス停止	**[はい]**を選択すると、番号通知お願いサービスが停止されます。
番号通知お願いサービス設定確認	番号通知お願いサービスの現在の設定を確認できます。

3 [×]

追加サービスを設定する

ドコモによって新しいネットワークサービスが追加されたときは、そのサービスを**[ネットワークサービス]**のメニューに登録して利用できます。

1 [スタート]▶[設定]▶[個人]▶[ネットワークサービス]▶[追加サービス]
追加サービスの一覧が表示されます。

2 [未登録]の項目を選択
追加サービスの登録画面が表示されます。

3 特番またはサービスコードとサービス名を入力
[ネットワークサービスコード:]には、ドコモから追加提供されたサービスの特番またはサービスコードを入力してください。
[サービス名:]には、任意のサービス名を入力してください。

4 [確定]▶[×]

おしらせ

● 追加サービスの一覧で登録したサービスを選択▶**[はい]**と操作すると、そのサービスを利用できます。
● 追加サービスの一覧で登録したサービスを[↕]で選択▶**[設定]**と操作すると、設定内容を編集できます。
● 最大10件のサービスを追加できます。

連絡先／予定の管理

連絡先を管理する

電話番号や電子メールアドレスを連絡先に登録しておくと、電話をかける際やメールを送信する際に利用できます。
連絡先には、Outlook連絡先とSIMカード連絡先の2種類があります。
Outlook連絡先は、パソコンのOutlookやExchange Serverと同期させることができます。
SIMカード連絡先は、FOMAカードのメモリに登録されます。そのため、他のFOMA端末にFOMAカードを挿入した場合でも、登録したSIMカード連絡先をご利用になれます。

連絡先を新規作成する

1 **[スタート]▶[連絡先]**
連絡先の一覧が表示されます。

2 **[新規作成]▶[Outlook連絡先]**
FOMAカードに連絡先を登録する場合は、**[SIMカード連絡先]**を選択します。

3 **[詳細]タブに必要に応じて情報を入力**

名前:	姓、名、それぞれのフリガナ、ニックネームを入力します。
画像:	画像を選択すると、その画像が着信時や通話中に表示されます。 ・一覧の先頭に表示されたカメラのアイコンを選択すると、その場で写真を撮影できます。
勤務先:	勤務先とフリガナを入力します。
部署:	部署を入力します。
役職:	役職を入力します。
表題:	この連絡先の表題として表示する内容を選択します。
勤務先電話:	勤務先の電話番号を入力します。
勤務先FAX:	勤務先のFAX番号を入力します。
勤務先住所:	郵便番号、都道府県、市町村、番地、国／地域を入力します。
IM:	IM(インスタントメッセージ)の宛先を入力します。
電子メール:	電子メールアドレスを入力します。
携帯電話:	携帯電話の番号を入力します。
着信音:	この連絡先から電話がかかってきたときの着信音を選択します。
Webページ:	WebページのURLを入力します。
事業所:	事業所名を入力します。

自宅電話:	自宅の電話番号を入力します。
自宅住所:	自宅の住所を入力します。
分類項目:	分類項目を選択すると、分類項目のグループごとに連絡先を管理できます。 • 分類項目を追加する場合は、**[新規]**を選択してください。
その他の住所: **〜子供:**	その他の住所や、複数の電話番号、複数の電子メールアドレス、誕生日などを入力します。

4 [メモ]タブを選択▶必要に応じてメモを入力▶[OK]

おしらせ

- SIMカード連絡先には、名前、電話番号、勤務先電話番号、電子メールアドレスのみ登録できます。
- 電話番号は、市外局番から入力してください。

連絡先の登録内容を表示する

1 [スタート]▶[連絡先]

連絡先の一覧が表示されます。

2 連絡先を選択

最新の通話履歴とともに、電話番号や電子メールアドレスなどの登録内容が表示されます。

連絡先を検索する

1 [スタート]▶[連絡先]

連絡先の一覧が表示されます。

2 [1]、[A]、[ア]〜[ワ]のいずれかをタップする

連絡先の頭文字で検索されます。

おしらせ

- **[名前の入力...]**の入力欄に名前を入力すると、入力した名前の連絡先を検索できます。
- **[1]**、**[A]**、**[ア]**〜**[ワ]**をタップしたまま押さえると、例えば**[ア]**であれば**[ア]**、**[イ]**、**[ウ]**、**[エ]**、**[オ]**の選択肢が表示されます。それを選択することで、連絡先の頭文字で検索することができます。
- 連絡先の一覧から**[メニュー]▶[フィルター]**を選択し、分類項目を選択すると、連絡先の一覧を分類項目で絞り込んで表示できます。
  すべての連絡先を表示する場合は、連絡先の一覧から**[メニュー]▶[フィルター]▶[すべての連絡先]**と操作します。
- 連絡先の一覧を分類項目で絞り込んで表示しているときに連絡先を新規作成すると、その分類項目があらかじめ選択されます。
- 連絡先の一覧から**[メニュー]▶[表示方法]▶[勤務先]**と操作すると、連絡先の一覧に勤務先が表示されます。勤務先を選択すると、その勤務先の連絡先が表示されます。
  名前の一覧に戻すには、連絡先の一覧から**[メニュー]▶[表示方法]▶[名前]**と操作します。

連絡先を編集する

1 [スタート]▶[連絡先]

連絡先の一覧が表示されます。

2 連絡先を選択▶[メニュー]▶[編集]

3 登録内容を編集▶[OK]

連絡先を削除する

1 **[スタート]▶[連絡先]**
連絡先の一覧が表示されます。

2 **連絡先を選択▶[メニュー]**

3 **[連絡先の削除]または[SIMカード連絡先の削除]▶[はい]**

メールグループを新規作成する

メールグループを作成すると、メールグループに登録した相手に同じメールを一斉に送信できます。
メールグループには、電子メールを送信するための電子メールグループと、SMSを送信するためのSMSグループの2種類があります。

1 **[スタート]▶[連絡先]**

2 **[新規作成]▶[電子メールグループ]または[SMSグループ]**

3 **グループ名、グループ名(フリガナ)を入力▶[メンバーの追加]**
連絡先の一覧が表示されます。

4 **電子メールグループに登録する連絡を選択▶[完了]▶[OK]**

メールグループを利用してメールを送る

1 **[スタート]▶[連絡先]**
連絡先の一覧が表示されます。

2 **メールグループを選択▶[電子メール]または[SMS]**

3 **件名、本文などを入力▶[送信]**

予定表を利用する

会議などのスケジュールを登録して管理できます。

予定表を表示する

予定表には、予定一覧、日ごと、週ごと、月ごと、年ごとの5種類の表示があります。

1 **[スタート]▶[予定表]**
予定表が表示されます。
メニューバーの**[日]**、**[週]**、**[月]**、**[年]**または**[予定一覧]**を選択すると、表示を切り替えられます。
月ごとや年ごとの表示のときに日付をタップすると、その日の予定が表示されます。

おしらせ

- 年ごとに予定表を表示しているとき、6週目の日付がある場合は、5週目の日付が「／」で表示されます。「／」をタップしたまま押さえると日付が表示され、そのままスタイラスペンをずらすと別の日付を選択できます。スタイラスペンを離すと、その日の予定が表示されます。

予定を新規登録する

1 **[スタート]▶[予定表]**
予定表が表示されます。

2 **[メニュー]▶[新しい予定]**

3 [詳細]タブに必要に応じて情報を入力

件名:	予定の件名を入力します。
場所:	予定のある場所を入力します。
開始:	開始日と時刻を入力します。 ・予定表で選択していた日付や時刻が**[開始:]**と**[終了:]**にあらかじめ入力されます。
終了:	終了日と時刻を入力します。
終日:	**[はい]**を選択すると、終日の予定になります。
パターン:	繰り返しのある予定の場合は、繰り返しのパターンを選択します。
アラーム:	**[通知]**を選択すると、予定が開始される前に通知します。 どのくらい前に通知するかも設定します。
分類項目:	分類項目を選択すると、分類項目のグループごとに予定を管理できます。 ・分類項目を追加する場合は、**[新規]**を選択してください。
出席者:	出席者を連絡先から選択します。選択した出席者には、会議出席依頼の電子メールが送信されます。 ・あらかじめ電子メールアドレスが登録されている連絡先を選択してください。 ・相手がOutlookまたはOutlook Mobileを使用している連絡先を選択してください。相手がOutlookまたはOutlook Mobile以外の電子メールソフトを使用している場合、会議出席依頼の内容を確認できません。 ・会議出席依頼の送信方法は、**[スタート]**▶**[予定表]**▶**[メニュー]**▶**[ツール]**▶**[オプション]**▶**[予定]**タブの**[会議出席依頼の送信方法]**で選択します。
公開方法:	予定の種類を選択します。
秘密度:	予定の秘密度を選択します。

4 [メモ]タブを選択▶必要に応じてメモを入力▶[OK]

予定を表示／編集する

1 [スタート]▶[予定表]

予定表が表示されます。
予定一覧、日ごと、週ごとの表示に切り替えて、予定を選択してください。

2 予定を選択

予定の内容が表示されます。

3 [メニュー]▶[編集]▶登録内容を編集▶[OK]

予定を削除する

1 [スタート]▶[予定表]

予定表が表示されます。
予定一覧、日ごと、週ごとの表示に切り替えて、予定を選択してください。

2 予定を選択

予定の内容が表示されます。

3 [メニュー]▶[削除]▶[はい]

仕事を管理する

進捗状況や期限を設定して、仕事を管理できます。

仕事を新規登録する

1 [スタート]▶[仕事]

仕事の一覧が表示されます。

2 [メニュー]▶[新しい仕事]

3 [仕事]タブに必要に応じて情報を入力

件名:	仕事の件名を入力します。
優先度:	仕事の優先度を**[高]**、**[標準]**または**[低]**から選択します。
進捗状況:	仕事の進捗状況を**[作業中]**または**[終了]**から選択します。
開始日:	仕事の開始日を入力します。
期限:	仕事の期限を入力します。
パターン:	繰り返しのある仕事の場合は、繰り返しのパターンを選択します。 ・**[1回]**以外を選択すると、繰り返しのある仕事として登録されます。その場合は、**[進捗状況:]**、**[開始日:]**、**[期限:]**は設定できません。
アラーム:	**[通知]**を選択すると、通知します。 ・**[通知]**を選択した場合は、通知する日付と時刻を設定します。
分類項目:	分類項目を選択すると、分類項目のグループごとに仕事を管理できます。 ・分類項目を追加する場合は、**[新規]**を選択してください。
秘密度:	仕事の秘密度を選択します。

4 [メモ]タブを選択▶必要に応じてメモを入力▶[OK]

おしらせ

● **[ここをタップして新しい仕事を追加]**を選択して、仕事の件名を入力しても、仕事を新規登録できます。この場合は、件名のみ登録された仕事になります。
※ 登録する前に**[!]**を選択してから仕事を登録した場合は優先度が**[高]**の仕事になり、**[↓]**を選択してから仕事を登録した場合は優先度が**[低]**の仕事になります。

仕事の進捗状況を変更する

仕事の一覧から、進捗状況を**[終了]**または**[作業中]**に設定できます。

1 [スタート]▶[仕事]

仕事の一覧が表示されます。

2 一覧の先頭のチェックボックスをオンまたはオフにする

チェックボックスをオンにした仕事の進捗状況は**[終了]**になります。
チェックボックスをオフにした仕事の進捗状況は**[作業中]**になります。

おしらせ

● 一覧で仕事を選択▶**[終了]**または**[作業中]**と操作しても、進捗状況を変更できます。

仕事を表示／編集する

1 [スタート]▶[仕事]

仕事の一覧が表示されます。

2 仕事を選択

仕事の内容が表示されます。

3 [編集]▶登録内容を編集▶[OK]

おしらせ

- 仕事の一覧から**[メニュー]▶[フィルター]▶[作業中の仕事]**と操作して、**[作業中の仕事]**のチェックをオンにすると、進捗状況が**[作業中]**の仕事のみを一覧に表示できます。
  [メニュー]▶[フィルター]▶[終了した仕事]と操作して、**[終了した仕事]**のチェックをオンにすると、進捗状況が**[終了]**の仕事のみを一覧に表示できます。
  進捗状況が**[作業中]**と**[終了]**の仕事を両方とも一覧に表示するには、チェックがオンになっている**[作業中の仕事]**または**[終了した仕事]**を再度選択してチェックをオフにします。
- 仕事の一覧から**[メニュー]▶[フィルター]**を選択し、分類項目を選択すると、仕事の一覧を分類項目で絞り込んで表示できます。
  すべての仕事を表示する場合は、仕事の一覧から**[メニュー]▶[フィルター]▶[すべての仕事]**と操作します。

仕事を削除する

1 [スタート]▶[仕事]

仕事の一覧が表示されます。

2 仕事を選択

仕事の内容が表示されます。

3 [メニュー]▶[削除]▶[はい]

データ通信

パケット通信を利用する

パケット通信は、受信時は最大7.2Mbps※、送信時は最大5.76Mbps（HSUPA使用時）※の通信速度でデータを送受信できるデータ通信サービスです。ただし、通信環境やネットワークの混み具合により通信速度が変化するベストエフォート方式でサービスが提供されます。
送受信したデータの量に応じて課金されるため、少ない量のデータを間欠的に高速で送受信する通信に適しています。FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスして、データ通信を行うこともできます。

※ 最大の通信速度である受信時最大7.2Mbpsと、送信時最大5.76Mbps（HSUPA使用時）は、規格上の最大速度です。実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混み具合により変化します。また、FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEED非対応のアクセスポイントへ接続すると、通信速度が遅くなる場合があります。

おしらせ

- ワイヤレスLANで接続しているときは、パケット通信をご利用になれません。ワイヤレスLAN機能をオフにしてから、パケット通信をご利用ください。ワイヤレスLAN機能をオフにする方法については、「電話・通信機能のオン／オフを切り替える」(P.53)を参照してください。
- Bluetooth機能がオンのときは、パケット通信をご利用になれません。Bluetooth機能をオフにしてから、パケット通信をご利用ください。Bluetooth機能をオフにする方法については、「電話・通信機能のオン／オフを切り替える」(P.53)を参照してください。
- パケット通信を利用して接続すると、パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- H-21は、64Kデータ通信には対応していません。

[既定のインターネット設定]にモデム接続を追加する

パケット通信でインターネットに接続する際に使用するモデム接続の設定を追加します。

おしらせ

- 設定時に必要なアクセスポイント名や、ユーザー名、パスワードなどの情報については、ご利用のプロバイダーまたは社内のシステム管理者にお問い合わせください。

1 [スタート]▶[設定]▶[接続]▶[接続]▶[設定]タブを選択

2 [既定のインターネット設定]の[新しいモデム接続の追加]を選択

[既定の社内ネットワーク設定]にモデム接続の設定を追加する場合は、[既定の社内ネットワーク設定]の[新しいモデム接続の追加]を選択してください。

3 説明を入力▶[モデムの選択:]で[移動体通信網(3G, GPRS)]を選択▶[次へ]

4 接続名を入力▶[次へ]

5 ユーザー名、パスワード、必要に応じてドメインを入力

[詳細設定...]を選択すると、TCP/IPとサーバーに関する詳細な設定を行うことができます。必要に応じて設定を行ってください。

6 [完了]

おしらせ

● PPP認証方式は、[スタート]▶[設定]▶[接続]▶[PPP認証方式]▶[認証なし]、[CHAP]または[PAP]を選択▶[OK]と操作すると変更できます。

[既定のインターネット設定]のモデム接続を選択する

複数のモデム接続の設定を追加した場合は、[既定のインターネット設定]で利用するモデム接続の設定を切り替えることができます。

1 [スタート]▶[設定]▶[接続]▶[接続]▶[設定]タブを選択

2 [既定のインターネット設定]の[既存の接続を管理]を選択

[既定の社内ネットワーク設定]のモデム接続の設定を選択する場合は、[既定の社内ネットワーク設定]の[既存の接続の管理]を選択してください。

3 [モデム]タブを選択

[既定のインターネット設定]のモデム接続の設定の一覧が表示されます。

4 モデム接続の設定を選択

5 [OK]

おしらせ

● [モデム]タブでモデム接続の設定を選択▶[編集]と操作すると、モデム接続の設定を編集できます。

● [モデム]タブでモデム接続の設定をタップしたまま押さえると、コンテキストメニューが表示されます。[削除]を選択すると、設定を削除できます。

インターネットへの接続方法を追加する

[既定のインターネット設定]や[既定の社内ネットワーク設定]以外に接続方法を追加することができます。

1 [スタート]▶[設定]▶[接続]▶[接続]▶[詳細設定]タブを選択

2 [ネットワークの選択]

ネットワーク管理画面が表示されます。

3 [インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法:]の[追加...]を選択

4 [全般]タブの[これらの設定の名前を入力してください:]の名前を必要に応じて変更

5 [モデム]タブを選択▶[追加...]を選択

6 モデム接続の設定を行う

モデム接続の設定方法については、「[既定のインターネット設定]のモデム接続を追加する」(P.88)を参照してください。

7 [OK]

[インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法:]が追加した接続方法になります。

8 [OK]▶[OK]

インターネットへの接続方法を切り替える

インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法を**[既定のインターネット設定]**以外に切り替えることができます。

1 [スタート]▶[設定]▶[接続]▶[接続]▶[詳細設定]タブを選択

2 [ネットワークの選択]

ネットワーク管理画面が表示されます。

3 [インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法:]で接続方法を選択

4 [OK]▶[OK]

おしらせ

- **[接続]**の**[設定]**タブには、ネットワーク管理画面の**[インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法:]**で選択した接続方法のメニューが表示されます。

VPNサーバーへの接続を設定する

VPN(Virtual Private Network)を利用すると、送受信するデータを暗号化することによって、インターネット上で第三者にデータを盗聴されたり、通信が妨害されることを防ぐことができます。そのため、インターネットを経由しても、安全に社内のネットワークやサーバーにアクセスすることができます。

おしらせ

- VPNの利用方法や、VPNサーバーへ接続するために必要なホスト名、ユーザー名、パスワードなどの情報については、社内のシステム管理者にお問い合わせください。
- あらかじめH-21で**[既定の社内ネットワーク設定]**にモデム接続の設定を追加してください。設定方法については、「[既定のインターネット設定]にモデム接続を追加する」(P.88)を参照してください。

1 [スタート]▶[設定]▶[接続]▶[接続]▶[設定]タブを選択

2 [既定の社内ネットワーク設定]の[新しいVPNサーバー接続の追加]を選択

すでに登録されている設定がある場合は、**[VPNサーバーの編集]**を選択してください。

3 名前とホスト名またはIPアドレスを入力▶[IPSec/L2TP]または[PPTP]を選択▶[次へ]

[IPSec/L2TP]を選択した場合は、IPSec/L2TPの接続の認証方法を選択する画面が表示されます。

[このデバイスの証明書]を選択するか、**[事前共有キー]**を選択しキーを入力して、**[次へ]**を選択してください。

4 ユーザー名、パスワード、必要に応じてドメインを入力

[詳細設定...]を選択すると、TCP/IPとサーバーに関する詳細な設定を行うことができます。必要に応じて設定を行ってください。

5 [完了]

ワイヤレスLANを利用する

H-21のワイヤレスLAN機能を利用すると、社内ネットワークの無線LANアクセスポイントや、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、最大54Mbps※のデータ通信を行うことができます。

※ 最大の通信速度は、規格上の最大速度です。実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混み具合、接続先のアクセスポイントなどにより変化します。

おしらせ

- H-21のワイヤレスLAN機能と、Bluetooth通信は、どちらも2.4GHzの周波数帯を使用します。そのため、H-21のワイヤレスLAN機能とBluetooth機器を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度が低下したり、雑音が発生したり、接続が不能になる可能性があります。この場合は、Bluetooth機器の電源を切るか、H-21からBluetooth機器を10m以上離して使用してください。

アクセスポイントを検出して接続する

ワイヤレスLAN機能をオンにすると、ワイヤレスLANのアクセスポイントを自動的に検出して接続できます。

1 [スタート]▶[設定]▶[接続]▶[ワイヤレスマネージャー]

[Wi-Fi]がオフになっている場合は、**[Wi-Fi]**を選択してワイヤレスLAN機能をオンにしてください。

2 [Wi-Fi]

ワイヤレスLAN機能がオンになると、付近の利用可能なアクセスポイントを自動的に検出します。
アクセスポイントが検出されると、**[新しいネットワークが検出されました]**という通知画面が表示されます。

3 [OK]

複数のアクセスポイントが検出された場合は、**[複数のネットワークが検出されました]**という通知画面が表示されます。その場合は、接続するアクセスポイントを選択▶**[OK]**と操作してください。

4 [インターネット設定(またはVPN経由)]または[社内ネットワーク設定]を選択

インターネットに接続する場合は、**[インターネット設定(またはVPN経由)]**を選択してください。
社内LANなどのプライベートなネットワークに接続する場合は、**[社内ネットワーク]**を選択してください。

5 [接続]

セキュリティが有効なネットワークの場合は、ネットワークキーの入力などが必要になります。接続に必要な情報については、ご利用のプロバイダーまたは社内のシステム管理者にお問い合わせください。

おしらせ

- 同一のアクセスポイントに次回接続するときは、通知画面は表示されず自動的に接続されます。
- ワイヤレスLAN機能を使用しないときは、電池を長持ちさせるため、ワイヤレスLAN機能をオフにすることをおすすめします。

アクセスポイントの設定を追加する

アクセスポイントの情報を入力して、アクセスポイントの設定を追加することができます。

おしらせ

- ネットワーク名(SSID)や、ネットワーク認証の設定など、設定に必要な情報については、ご利用のプロバイダーまたは社内のシステム管理者にお問い合わせください。

1 [スタート]▶[設定]▶[接続]▶[Wi-Fi]

[ワイヤレス]タブにアクセスポイントの設定の一覧が表示されます。

2 [ワイヤレス]タブの[新しい設定の追加...]を選択

アクセスポイントの設定を新規登録する画面が表示されます。

3 ネットワーク名(SSID)を入力▶[接続先:]で[インターネット設定]または[社内ネットワーク設定]を選択

インターネットに接続する場合は、**[インターネット設定]**を選択してください。
社内LANなどのプライベートなネットワークに接続する場合は、**[社内ネットワーク]**を選択してください。

4 必要に応じて[これは非表示のネットワークです]または[これはデバイスとデバイス(ad-hoc)の接続です]のチェックをオンにする

ネットワーク名(SSID)を非表示にしているアクセスポイントに接続する場合は、**[これは非表示のネットワークです]**のチェックをオンにしてください。
アドホックモードで接続する場合は、**[これはデバイスとデバイス(ad-hoc)の接続です]**のチェックをオンにしてください。

5 [次へ]▶ネットワーク認証の設定を行う▶[次へ]▶ネットワーク認証の設定を行う

ネットワーク認証について必要な設定は、ご利用のプロバイダーまたは社内のシステム管理者にお問い合わせください。

6 [完了]

設定したアクセスポイントに接続します。

おしらせ

- **[ワイヤレス]**タブでアクセスポイントの設定を選択すると、設定を編集できます。
- **[ワイヤレス]**タブでアクセスポイントの設定をタップしたまま押さえると、コンテキストメニューが表示されます。**[接続]**を選択すると、タップしたまま押さえたアクセスポイントに接続できます。**[削除]**を選択すると、設定を削除できます。

ワイヤレスLANのネットワークアダプターを設定する

ワイヤレスLAN機能で使用するネットワークアダプターの設定を変更できます。

1 [スタート]▶[設定]▶[接続]▶[Wi-Fi]

2 [ネットワークアダプター]タブを選択

3 [ネットワークカードの接続先:]で[インターネット設定]または[社内ネットワーク設定]を選択

4 [アダプターをタップして設定を変更します:]で[Broadcom 802.11 DHD Network Adapter]を選択

5 [IPアドレス]タブの[サーバー割り当てのIPアドレスを使用する]または[指定したIPアドレスを使用する]を選択

[指定したIPアドレスを使用する]を選択した場合は、H-21で使用するIPアドレスを入力してください。

6 [ネームサーバー]タブを選択▶必要に応じてDNSサーバーやWINSサーバーのIPアドレスを入力

7 [OK]▶[OK]

おしらせ

● ネットワークアダプターの設定に必要な情報については、ご利用のプロバイダーまたは社内のシステム管理者にお問い合わせください。

Wi-Fiユーティリティを利用する

Wi-Fiユーティリティを利用すると、ワイヤレスLANの接続状態を確認したり、省電力の設定を行うことができます。

1 [スタート]▶[Wi-Fiユーティリティ]

2 タブを選択

状態	接続状態や、現在接続しているアクセスポイントのネットワーク名(SSID)、信号レベルなどを確認できます。 ・信号レベルは、H-21が受信しているアクセスポイントの信号の強度の目安を表示しており、受信の状態を正確に表示していません。信号レベルの表示に関わらず、周囲の電波環境などにより、正常に通信できない場合があります。
IP Info	H-21のIPアドレスやサブネットマスクなどの情報を確認できます。 ・**[IP情報更新]**を選択すると、最新の情報に表示が更新されます。
省電力	省電力モードを**[省電力優先]**、**[送信スピード優先]**または**[自動優先]**から選択します。
WoL	Wake on LANをオンまたはオフにします。 ・Wake on LANがオンの場合、スリープモード中、ネットワークからマジックパケットをH-21へ送信すると、H-21はスリープモードから復帰します。
規制	日本国内で使用する場合は、**[日本(TELEC)]**を選択してください。
Ping	**[ターゲットアドレス]**にホスト名やIPアドレスを入力して**[PING]**を選択すると、Pingのパケットを送信して、相手の機器から返信があるかどうかを確認できます。
情報	Wi-Fiユーティリティのバージョン情報や、ワイヤレスLAN機能で使用するネットワークアダプターのMACアドレスが表示されます。

3 [OK]

ドメインに登録する

H-21を社内のWindowsのドメインに登録すると、社内のシステム管理者がH-21を管理できるようになります。

おしらせ

- ドメインに登録するために必要な電子メールアドレス、登録パスワード、サーバー名などの情報については、社内のシステム管理者にお問い合わせください。
- 登録時にH-21がリセット(再起動)されることがあります。保存していないデータがある場合は、データを保存してから登録の操作を行ってください。

1 [スタート]▶[設定]▶[接続]▶[ドメインへの登録]

2 会社の電子メールアドレスと登録パスワードを入力

[サーバーを自動的に検出する]のチェックをオフにした場合は、**[次へ]**を選択した後でサーバー名を入力してください。

3 [次へ]

サーバーの検出が開始されます。

Bluetooth通信を利用する

H-21のBluetooth機能を利用すると、Bluetooth対応のマイク付きイヤフォンやヘッドフォンと接続したり、Bluetooth対応の携帯電話やパソコンなどとデータを送受信することができます。

おしらせ

- H-21は、Bluetooth標準規格に準拠していますが、すべてのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。
- Bluetooth通信とH-21のワイヤレスLAN機能は、どちらも2.4GHzの周波数帯を使用します。そのため、Bluetooth機器とH-21のワイヤレスLAN機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度が低下したり、雑音が発生したり、接続が不能になる可能性があります。この場合は、H-21のワイヤレスLAN機能をオフにするか、ワイヤレスLANの接続先の機器を10m以上離して使用してください。
- Bluetooth機能はスリープモード中も有効であるため、Bluetooth機能をオンにするとスリープモード中の電池の消耗が多くなります。電話の待受可能時間が大きく減少する原因となりますので、Bluetooth機能を使用しないときは、Bluetooth機能をオフにすることをおすすめします。

H-21からパートナーシップを確立する

Bluetooth通信でH-21とBluetooth機器を接続するには、あらかじめパートナーシップを確立する必要があります。

おしらせ

- あらかじめパートナーシップを確立するBluetooth機器のBluetooth機能をオンにして、他のBluetooth機器から検出可能な設定にしてください。Bluetooth機器の設定や操作方法については、Bluetooth機器に付属している取扱説明書を参照してください。
- パートナーシップを確立するBluetooth機器は、H-21から10m以内に置いてください。
- Bluetooth機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するため、両方の機器で同じパスコードを入力します。H-21では、パスコードとして最大16文字の半角英数字を入力できます。

1 [スタート]▶[設定]▶[Bluetooth]▶[モード]タブを選択

2 [Bluetoothをオンにする]のチェックをオンにする

Bluetooth機能がオンになります。

3 [デバイス]タブを選択▶[新しいデバイスの追加...]を選択

Bluetooth機器の検索が開始され、応答したBluetooth機器が一覧に表示されます。
[最新の情報に更新]を選択すると、再度Bluetooth機器を検索します。

4 パートナーシップを確立するBluetooth機器を選択▶[次へ]

5 パスコードを入力▶[次へ]

6 Bluetooth機器で同じパスコードを入力

7 [完了]

パートナーシップが確立されたBluetooth機器が**[デバイス]**タブの一覧に追加されます。

Bluetooth機器からパートナーシップを確立する

Bluetooth機器を操作して、H-21とパートナーシップを確立することもできます。

おしらせ

- あらかじめパートナーシップを確立するBluetooth機器のBluetooth機能をオンにしてください。Bluetooth機器の設定や、他のBluetooth機器を検出する方法については、Bluetooth機器に付属している取扱説明書を参照してください。
- パートナーシップを確立するBluetooth機器は、H-21から10m以内に置いてください。

1 [スタート]▶[設定]▶[Bluetooth]▶[モード]タブを選択

2 [Bluetoothをオンにする]と[このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする]のチェックをオンにする

[このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする]のチェックをオンにすると、他のBluetooth機器からH-21を検出できるようになります。

3 Bluetooth機器で他のBluetooth機器を検出する操作を行う

4 Bluetooth機器でパスコードを入力

5 H-21に確認画面が表示されたら[はい]を選択▶同じパスコードを入力▶[次へ]▶[完了]

Bluetooth機器から使用するサービスを設定する

1 [スタート]▶[設定]▶[Bluetooth]▶[デバイス]タブを選択

2 一覧のBluetooth機器を選択

パートナーシップの設定画面が表示されます。
[最新の情報に更新]を選択すると、サービスの一覧を更新します。

3 使用するサービスのチェックをオンにする▶[保存]▶[OK]

パートナーシップを削除する

1 [スタート]▶[設定]▶[Bluetooth]▶[デバイス]タブを選択

2 一覧のBluetooth機器をタップしたまま押さえる

コンテキストメニューが表示されます。

3 [削除]▶[はい]▶[OK]

Bluetooth通信でデータを送信する

Bluetooth通信を利用して、エクスプローラーからファイルを送信したり、連絡先や予定表、仕事などからデータを送信することができます。

おしらせ

- あらかじめ**[スタート]▶[設定]▶[Bluetooth]▶[モード]**タブを選択▶**[Bluetoothをオンにする]**のチェックをオンにする▶**[OK]**と操作して、H-21のBluetooth機能をオンにしてください。
- あらかじめデータを受信するBluetooth機器のBluetooth機能をオンにして、他のBluetooth機器から検出可能な設定にしてください。Bluetooth機器の設定や操作方法については、Bluetooth機器に付属している取扱説明書を参照してください。
- Bluetooth通信や赤外線通信でデータを送信することを、Windows Mobileでは「ビーム」と呼びます。

例:エクスプローラーからファイルを送信する場合

1 [スタート]▶[エクスプローラー]

2 送信するファイルをタップしたまま押さえる▶[ファイルをビームする...]

Bluetooth機器の検索が開始され、応答したBluetooth機器が一覧に表示されます。

3 ファイルを送信したいBluetooth機器の名前が表示されたら選択する

Bluetooth通信でファイルを送信します。

4 [OK]

Bluetooth通信でデータを受信する

Bluetooth通信を利用して、他のH-21やBluetooth機器から、ファイルや連絡先、予定表、仕事などのデータを受信することができます。

1 [スタート]▶[設定]▶[Bluetooth]▶[モード]タブを選択

2 [Bluetoothをオンにする]と[このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする]のチェックをオンにする▶[OK]

[このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする]のチェックをオンにすると、他のBluetooth機器からH-21を検出できるようになります。

3 [スタート]▶[設定]▶[接続]▶[ビーム]

4 [すべての着信ビームを受信する]のチェックをオンにする▶[OK]

[すべての着信ビームを受信する]のチェックをオンにすると、Bluetooth通信や赤外線通信でデータを受信できるようになります。

5 他のBluetooth機器からBluetooth通信を利用してデータを送信する

データを受信すると、H-21に**[データを受信中]**という通知画面が表示されます。

6 [はい]

受信したデータが保存されます。

おしらせ

● **[データを受信中]**という通知画面が表示されない場合は、タイトルバーの をタップするか、Today画面で**[通知]**を選択すると表示されます。

赤外線通信を利用する

赤外線通信を利用して、ファイルや連絡先、予定表、仕事などのデータを送受信することができます。

おしらせ

● 直射日光が当たる場所や、他の赤外線装置の近くでは、正常にデータを送受信できない場合があります。
● 赤外線通信中は、赤外線ポートを指などでおおわないでください。
● 赤外線ポートが汚れていると、正常にデータを送受信できない場合があります。柔らかい布などで赤外線ポートを拭いてください。

赤外線通信でデータを送信する

赤外線通信を利用して、エクスプローラーからファイルを送信したり、連絡先や予定表、仕事などからデータを送信することができます。

おしらせ

● あらかじめ受信側の機器を赤外線通信でデータを受信できる設定にしてください。機器の設定や操作方法については、機器に付属している取扱説明書を参照してください。
● Bluetooth通信や赤外線通信でデータを送信することを、Windows Mobileでは「ビーム」と呼びます。

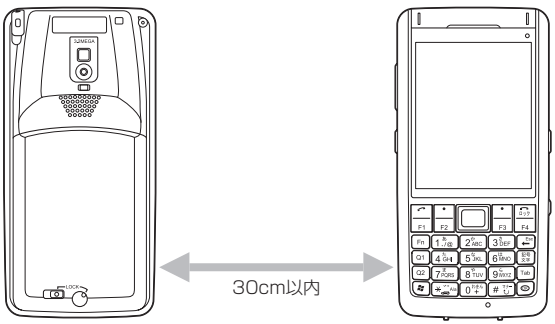
例:エクスプローラーからファイルを送信する場合

1 [スタート]▶[エクスプローラー]

2 送信するファイルをタップしたまま押さえる▶[ファイルをビームする...]▶[赤外線]を選択

3 H-21の赤外線ポートと、受信側の機器の赤外線ポートを30cm以内の距離で向かい合わせる

例:H-21同士で赤外線通信する場合



※ イラストは、Numericキーモデルです。

4 [OK]

赤外線通信でデータを受信する

赤外線通信を利用して、他のH-21や赤外線通信に対応した機器から、ファイルや連絡先、予定表、仕事などのデータを受信することができます。

おしらせ

● 赤外線通信でデータを送信する方法については、送信側の機器に付属している取扱説明書を参照してください。

1 [スタート]▶[設定]▶[接続]▶[ビーム]

2 [すべての着信ビームを受信する]のチェックをオンにする▶[OK]

[すべての着信ビームを受信する]のチェックをオンにすると、赤外線通信やBluetooth通信でデータを受信できるようになります。

3 他の機器から赤外線通信を利用してデータを送信する

4 H-21の赤外線ポートと、送信側の機器の赤外線ポートを30cm以内の距離で向かい合わせる

データを受信すると、H-21に**[データを受信中]**という通知画面が表示されます。

5 [はい]

受信したデータが保存されます。

おしらせ

● **[データを受信中]**という通知画面が表示されない場合は、タイトルバーの をタップするか、Today画面で**[通知]**を選択すると表示されます。

インターネット共有を利用する

インターネット共有を利用すると、H-21がインターネットに接続することで、USBケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンからもインターネットにアクセスできるようになります。

インターネット共有を利用するための準備

インターネット共有を利用するには、ご利用のパソコンとH-21で次の準備を行ってください。

■USBケーブルで接続する場合の準備

- あらかじめパソコンにWindows Mobileデバイスセンターまたは ActiveSyncをインストールしてください。インストールの方法については、「Windows Mobileデバイスセンターをパソコンにインストールする」(P.101)または「ActiveSyncをパソコンにインストールする」(P.103)を参照してください。
- あらかじめH-21で**[既定のインターネット設定]**にモデム接続の設定を追加してください。設定方法については、「[既定のインターネット設定]にモデム接続を追加する」(P.88)を参照してください。
- あらかじめH-21とパソコンをUSBケーブルで接続してください。接続方法については、「パソコンと接続して同期関係を設定する」(P.104)を参照してください。

■Bluetooth通信で接続する場合の準備

- パソコンと接続する場合は、あらかじめパソコンでBluetooth通信を利用できる設定にしてください。設定については、パソコン本体の取扱説明書や、Bluetooth機器の取扱説明書を参照してください。
- H-21で**[スタート]▶[設定]▶[接続]▶[ビーム]▶[すべての着信ビームを受信する]**のチェックをオンにする▶**[OK]**と操作すると、他のデバイスからビームを受信することができます。
- H-21で**[スタート]▶[設定]▶[Bluetooth]▶[モードタブ]**を選択▶**[Bluetoothをオンする]**と**[このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする]**のチェックをオンにする▶**[OK]**と操作すると、Bluetoothをオンにして H-21 が他のデバイスからも検出できるようになります。
- パソコンと接続する場合は、あらかじめH-21とパソコンの間でBluetooth通信のパートナーシップを確立してください。パートナーシップを確立する方法については、「H-21からパートナーシップを確立する」(P.94)を参照してください。
- H-21をモデムとして使用する場合は、**[既定のインターネット設定]**にモデム接続の設定を追加してください。設定方法については、「[既定のインターネット設定]にモデム接続を追加する」(P.88)を参照してください。

インターネット接続の共有を開始する

1 [スタート]▶[インターネット共有]

2 [PCとの接続:]で[USB]または[Bluetooth PAN]を選択

USBケーブルで接続する場合は、**[USB]**を選択してください。
Bluetooth通信で接続する場合は、**[Bluetooth PAN]**を選択してください。

3 [ネットワーク接続:]で接続に利用するネットワーク接続(モデム接続)を選択

4 [接続]

接続に成功すると、パソコンからもインターネットにアクセスできるようになります。

おしらせ

● パケット通信を利用して接続すると、パケット通信料がかかりますのでご注意ください。

パソコンとの同期

Windows Mobileデバイスセンターと ActiveSyncについて

パソコンにWindows Mobileデバイスセンターまたは ActiveSyncをインストールすることで、パソコンとH-21を同期させたり、パソコンとH-21の間でファイルのコピーや移動などができます。

■同期について

Outlookのメール、連絡先、予定表、仕事、メモや、Internet Explorerのお気に入り、Windows Media Playerのライブラリなどをパソコンと H-21の間で同期させることができます。

Windows Mobileデバイスセンターまたは ActiveSyncを使用して同期可能なアプリケーションは、次の通りです。

- Microsoft Outlook 2003/XP/2007(Outlookメール、連絡先、予定表、仕事、メモの同期)
- Internet Explorer 6.0以降(お気に入りの同期)
- Windows Media Player 10以降(ライブラリの同期※)

※ Windows 2000では、Windows Media Player 10以降のバージョンがサポートされていません。Windows 2000をご利用の場合は、Windows Media Player 9の機能を使ってH-21にライブラリのファイルを転送してください。

■ファイルの操作について

パソコンでH-21に保存されているフォルダーやファイルを表示して、パソコンとH-21の間でファイルのコピーや移動ができます。H-21に取り付けられたmicroSDメモリカード内のファイルもコピーや移動ができます。

■アプリケーションの追加と削除について

パソコン上のWindows Mobileデバイスセンターまた は ActiveSyncから、H-21にアプリケーションを追加したり、削除することができます。

おしらせ

- パソコンからWordやExcelのファイルをH-21にコピーすると、Windows Mobileデバイスセンターまたは ActiveSyncによってWord Mobileや Word Mobileのファイルに変換されます。このとき一部の内容や書式設定が削除されることがあります。

Windows Mobileデバイスセンターを利用する

パソコンでWindows Vistaをご利用の場合は、パソコンにWindows Mobileデバイスセンターをインストールしてください。

おしらせ

- Windows Mobileデバイスセンターの詳しい動作環境については、Windows Mobileデバイスセンターの Readmeファイルをご確認ください。Readmeファイルは、付属の「お使いになる前にディスク」の**[WMDC]**フォルダー内に保存されている WMDC_SR1_README_ALL_LOCALES.zip内の WMDC_SR1_README_jpn.docです。
- Windows Mobileデバイスセンターの詳しい操作方法については、Windows Mobileデバイスセンターのヘルプを参照してください。

Windows Mobileデバイスセンターをパソコンにインストールする

Windows Mobileデバイスセンターは、パソコンとH-21を接続していない状態でインストールしてください。

1 パソコンのCD-ROMドライブに付属の「お使いになる前にディスク」を挿入する

2 [自動再生]ダイアログが表示された場合は[Start.exeの実行]をクリック

[Windows Mobile - はじめに]のダイアログが表示されます。

3 [日本語]が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリック

4 [セットアップとインストール]をクリック

5 [Windows Mobile® デバイスセンター]のチェックがオンになっていることを確認し、[インストール]ボタンをクリック

Windows Mobileデバイスセンターがインストールされます。

6 インストールが完了したら[終了]ボタンをクリック▶[閉じる]ボタンをクリック

おしらせ

- パソコンとH-21を接続した状態でWindows Mobileデバイスセンターをインストールすると、インストールが完了しない場合があります。その場合は、H-21をパソコンから取り外して、インストールをやり直してください。

パソコンのOutlookの設定を確認する

パソコンのOutlookのメール、連絡先、予定表、仕事、メモと、H-21を同期させる場合は、H-21を接続する前にOutlookの設定を確認してください。

1 パソコンのOutlookを起動する

2 [ツール]▶[オプション]▶[その他]タブを選択

3 [Outlookを既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする]のチェックがオンになっていることを確認

チェックがオフになっている場合は、オンにしてください。

4 [OK]ボタンをクリック

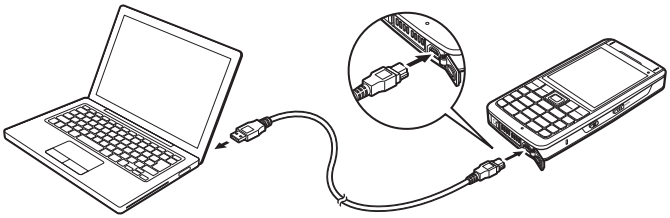
パソコンと接続して同期関係を設定する

Windows Mobileデバイスセンターをインストールした後で、最初にH-21をパソコンに接続したときは、同期関係の設定を行います。

1 USBケーブルとパソコンを接続する

2 mini USBポートカバーの突起に指の爪をかけて、mini USBポートカバーを開く

3 H-21とUSBケーブルを接続する



4 画面の指示に従ってパソコンを操作する

Windows Mobileデバイスセンターが起動して、マイクロソフト社のソフトウェアライセンス条項が表示されます。ライセンス条項に同意すると、Windows Mobileメンバーセンターへの登録画面が表示されます。

[オンラインで登録する]ボタンをクリックした場合は、画面の指示に従って登録の操作を行ってください。

[後で登録する]ボタンまたは**[登録しない]**ボタンをクリックした場合は、Windows Mobileデバイスセンターのホーム画面が表示されます。

5 Windows Mobileデバイスセンターのホーム画面で[デバイスのセットアップ]をクリック

[デバイスをセットアップしないで接続]をクリックした場合は、同期関係の設定は行われず、クイック接続でパソコンに接続されます。クイック接続した後で**[モバイルデバイスの設定]**の**[デバイスのセットアップ]**をクリックすると、同期関係を設定できます。

6 [同期する項目の種類]のチェックをオンまたはオフにする▶[次へ]ボタンをクリック

パソコンがMicrosoft Exchange Serverに接続している場合は、電子メールサーバーの情報を入力する画面が表示されます。サーバーアドレスやアカウント情報を入力した後、**[次へ]**ボタンをクリックしてください。設定しない場合は、**[スキップ]**ボタンをクリックしてください。

7 デバイス名を入力

ここで入力したデバイス名がWindows Mobileデバイスセンターや、H-21のActiveSyncに表示されます。

ここで**[デスクトップにWindows Mobileデバイスセンターのショートカットを作成する]**のチェックをオフにした場合は、デスクトップにショートカットは作成されません。

8 [セットアップ]をクリック

セットアップが完了すると、同期が開始されます。

おしらせ

- USBケーブルの端子は、USBポートに対して水平に差し込んでください。
- USBケーブルを取り外した後は、防塵・防滴性能を保つためmini USBポートカバーを閉めてください。
- 別売の専用クレードルとパソコンをUSBケーブルで接続して、専用クレードルにH-21をセットしても、同様に同期関係を設定することができます。
- うまく接続できない場合は、**[スタート]▶[設定]▶[接続]▶[PCへのUSB接続]▶[高度なネットワーク機能を有効にする]**のチェックをオフにする▶**[OK]**と操作してから、再度接続してみてください。
- Microsoft Exchange Serverに接続するために必要な情報については、社内のシステム管理者にお問い合わせください。

パソコンと接続して同期させる

1 USBケーブルとパソコンを接続する

2 mini USBポートカバーの突起に指の爪をかけて、mini USBポートカバーを開く

3 H-21とUSBケーブルを接続する

パソコンとH-21を接続すると、自動的に同期が開始されます。

おしらせ

- 別売の専用クレードルとパソコンをUSBケーブルで接続して、専用クレードルにH-21をセットしても、同様に同期させることができます。
- 同期が開始されてもWindows Mobileデバイスセンターは表示されません。同期の状態を確認したり、同期関係の設定を変更する場合は、パソコン上で**[スタート]**▶**[プログラム]**▶**[Windows Mobileデバイスセンター]**と操作して、Windows Mobileデバイスセンターを表示してください。
- パソコン上のWindows Mobileデバイスセンターの画面で🔄をクリックすると、手動で同期を開始できます。また、H-21で**[スタート]**▶**[ActiveSync]**▶**[同期]**と操作しても、手動で同期を開始できます。
- 同期する項目の種類を変更するには、Windows Mobileデバイスセンターの画面で**[モバイルデバイスの設定]**▶**[コンテンツの同期の設定の変更]**とクリックし、項目のチェックをオンまたはオフにして**[保存]**ボタンをクリックします。
- Windows Mobileデバイスセンターの画面で**[ファイル管理]**の**[デバイスのコンテンツの参照]**をクリックすると、パソコンとH-21の間でファイルのコピーや移動ができます。
  ※ H-21の**[My Documents]**フォルダー以外のフォルダーやファイルを操作すると、Windows Mobileやその他のアプリケーションが正しく動作しなくなる可能性がありますのでご注意ください。
- Windows Mobileデバイスセンターでパソコンに接続している間も、H-21でパケット通信やワイヤレスLAN機能を利用する場合は、Windows Mobileデバイスセンターの画面で**[モバイルデバイス設定]**の**[接続の設定]**をクリックし、**[PCへの接続時にデバイス上でデータ接続を許可する]**のチェックをオンにして**[OK]**ボタンをクリックしてください。

ActiveSyncを利用する

パソコンでWindows XPやWindows 2000などをご利用の場合は、パソコンにActiveSyncをインストールしてください。

おしらせ

- ActiveSyncの詳しい動作環境については、ActiveSyncのReadmeファイルをご確認ください。Readmeファイルは、付属の「お使いになる前にディスク」の**[ACTIVESYNC]**フォルダー内の**[JAPAN]**フォルダーに保存されています。
- ActiveSyncの詳しい操作方法については、ActiveSyncのヘルプを参照してください。

ActiveSyncをパソコンにインストールする

ActiveSyncは、パソコンとH-21を接続していない状態でインストールしてください。

1 パソコンのCD-ROMドライブに付属の「お使いになる前にディスク」を挿入する

[Windows Mobile - はじめに]のダイアログが表示されます。

2 [日本語]が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリック

3 [セットアップとインストール]をクリック

4 [Windows Mobile®デバイスセンター]のチェックがオンになっていることを確認し、[インストール]ボタンをクリック

マイクロソフト社のソフトウェアライセンス条項が表示されます。

5 [同意する]ボタンをクリック

Windows Mobileデバイスセンターがインストールされます。

6 インストールが完了したら[終了]ボタンをクリック▶[閉じる]ボタンをクリック

おしらせ

● パソコンとH-21を接続した状態でActiveSyncをインストールすると、インストールが完了しない場合があります。その場合は、H-21をパソコンから取り外して、インストールをやり直してください。

パソコンのOutlookの設定を確認する

パソコンのOutlookのメール、連絡先、予定表、仕事、メモと、H-21を同期させる場合は、H-21を接続する前にOutlookの設定を確認してください。

1 パソコンのOutlookを起動する

2 [ツール]▶[オプション]▶[その他]タブを選択

3 [Outlookを既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする]のチェックがオンになっていることを確認

チェックがオフになっている場合は、オンにしてください。

4 [OK]ボタンをクリック

パソコンと接続して同期関係を設定する

ActiveSyncをインストールした後で、最初にH-21をパソコンに接続したときは、同期関係の設定を行います。

1 USBケーブルとパソコンを接続する

2 mini USBポートカバーの突起に指の爪をかけて、mini USBポートカバーを開く

3 H-21とUSBケーブルを接続する

接続方法については、「パソコンと接続して同期関係を設定する」のイラスト(P.102)を参照してください。
接続すると、**[同期セットアップウィザード]**のダイアログがパソコンに表示されます。
[同期セットアップウィザード]のダイアログで**[キャンセル]**ボタンをクリックした場合は、同期関係の設定は行われず、クイック接続でパソコンに接続されます。

4 [次へ]ボタンをクリック

デバイス名を入力する画面が表示された場合は、デバイス名を入力して**[次へ]**ボタンをクリックしてください。ここで入力したデバイス名がActiveSyncに表示されます。
パソコンがMicrosoft Exchange Serverに接続している場合は、H-21をサーバーと直接同期させるか確認する画面が表示されます。直接同期させる場合は、**[Microsoft Exchangeを実行中のサーバーと直接同期する。…]**のチェックがオンになっていることを確認し、**[次へ]**ボタンをクリックしてください。画面の指示に従ってサーバーへの接続に必要な情報を入力して設定してください。

6 [情報の種類]のチェックをオンまたはオフにする▶[次へ]ボタンをクリック

7 [デバイスがコンピューターに接続されている間の無線データ接続(MMSまたはインターネット電話など)を許可します]のチェックを必要に応じてオンにする

チェックをオンにすると、ActiveSyncで接続している間もH-21でパケット通信やワイヤレスLAN機能を利用できます。

8 [完了]ボタンをクリック

同期が開始されます。

おしらせ

- USBケーブルの端子は、USBポートに対して水平に差し込んでください。
- USBケーブルを取り外した後は、防塵・防滴性能を保つためmini USBポートカバーを閉めてください。
- 別売の専用クレードルとパソコンをUSBケーブルで接続して、専用クレードルにH-21をセットしても、同様に同期関係を設定することができます。
- うまく接続できない場合は、**[スタート]▶[設定]▶[接続]▶[PCへのUSB接続]▶[高度なネットワーク機能を有効にする]**のチェックをオフにする▶**[OK]**と操作してから、再度接続してみてください。
- Microsoft Exchange Serverに接続するために必要な情報については、社内のシステム管理者にお問い合わせください。

パソコンと接続して同期させる

1 USBケーブルとパソコンを接続する

2 mini USBポートカバーの突起に指の爪をかけて、mini USBポートカバーを開く

3 H-21とUSBケーブルを接続する

パソコンとH-21を接続すると、パソコンにActiveSyncの画面が表示され、自動的に同期が開始されます。

おしらせ

- 別売の専用クレードルとパソコンをUSBケーブルで接続して、専用クレードルにH-21をセットしても、同様に同期させることができます。
- パソコン上のActiveSyncの画面で**[同期]**をクリックすると、手動で同期を開始できます。また、H-21で**[スタート]▶[ActiveSync]▶[同期]**と操作しても、手動で同期を開始できます。
- 同期する項目の種類を変更するには、ActiveSyncの画面で**[ツール]▶[オプション]**と操作し、**[オプション]**タブのチェックをオンまたはオフにして**[OK]**ボタンをクリックします。
- パソコン上のActiveSyncの画面で**[エクスプローラー]**をクリックすると、H-21の**[My Documents]**フォルダーが表示され、パソコンとH-21の間でファイルのコピーや移動ができます。
  ※ 一覧で**[マイWindows Mobileデバイス]**を選択すると、H-21に保存されているすべてのフォルダーやファイルを操作できます。ただし、**[My Documents]**フォルダー以外のフォルダーやファイルを操作すると、Windows Mobileやその他のアプリケーションが正しく動作しなくなる可能性がありますのでご注意ください。

Bluetooth通信でパソコンと同期させる

ご利用のパソコンがBluetoothに対応している場合、Bluetooth通信を利用してパソコンと同期させることができます。

Bluetooth通信で同期させるための準備

Bluetooth通信で同期させるためには、ご利用のパソコンとH-21で次の準備を行ってください。

■ご利用のパソコンでの準備

- あらかじめパソコンでBluetooth通信を利用できる設定にしてください。設定については、パソコン本体の取扱説明書や、Bluetooth機器の取扱説明書を参照してください。
- あらかじめパソコン上のWindows Mobileデバイスセンターまたは ActiveSyncの設定を、Bluetooth通信で同期可能な設定に変更してください。設定については、Windows Mobileデバイスセンターまたは ActiveSyncのヘルプを参照してください。

■H-21での準備

- あらかじめH-21とパソコンの間でBluetooth通信のパートナーシップを確立してください。パートナーシップを確立する方法については、「H-21からパートナーシップを確立する」(P.94)を参照してください。
- あらかじめH-21で**[スタート]**▶**[設定]**▶**[接続]**▶**[ビーム]**▶**[すべての着信ビームを受信する]**のチェックをオンにする▶**[OK]**と操作して、すべての着信ビームを受信する設定にしてください。
- あらかじめH-21で**[スタート]**▶**[設定]**▶**[Bluetooth]**▶**[デバイス]**タブで接続するパソコンを選択▶サービスの一覧の**[ActiveSync]**のチェックをオンにする▶**[保存]**▶**[OK]**と操作して、Bluetooth通信で同期可能な設定にしてください。
- あらかじめH-21で**[スタート]**▶**[設定]**▶**[Bluetooth]**▶**[モードタブ]**を選択▶**[Bluetoothをオンする]**と**[このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする]**のチェックをオンにする▶**[OK]**と操作して、Bluetoothをオンにし、H-21が他のデバイスからも検出できるようにしてください。

Bluetooth通信で同期させる

「Bluetooth通信で同期させるための準備」(P.106)をすべて行った後で、次の操作をH-21で行ってください。

1 **[スタート]**▶**[ActiveSync]**

2 **[メニュー]**▶**[Bluetoothから接続]**

Bluetooth通信を利用して、同期が開始されます。

おしらせ

- 同期を終了した後は、電池を長持ちさせるため、**[スタート]**▶**[設定]**▶**[Bluetooth]**▶**[モードタブ]**を選択し、**[Bluetoothをオンする]**のチェックをオフにして、Bluetooth機能をオフにすることをおすすめします。
- Bluetooth通信を利用して同期する場合は、Windows Media Playerのライブラリは同期されません。Windows Media Playerのライブラリを同期するには、USBケーブルでパソコンとH-21を接続してください。

赤外線通信でパソコンと同期させる

ご利用のパソコンが赤外線通信に対応している場合、赤外線通信を利用してパソコンと同期させることができます。

赤外線通信で同期させるための準備

赤外線通信で同期させるためには、ご利用のパソコンとH-21で次の準備を行ってください。

■ご利用のパソコンでの準備

- あらかじめパソコンで赤外線通信を利用できる設定にしてください。設定については、パソコン本体の取扱説明書や、赤外線機器の取扱説明書を参照してください。
- あらかじめパソコン上のWindows Mobileデバイスセンターまたは ActiveSyncの設定を、赤外線通信で同期可能な設定に変更してください。設定については、Windows Mobileデバイスセンターまたは ActiveSyncのヘルプを参照してください。

■H-21での準備

- あらかじめH-21で**[スタート]**▶**[設定]**▶**[接続]**▶**[ビーム]**▶**[すべての着信ビームを受信する]**のチェックをオンにする▶**[OK]**と操作して、すべての着信ビームを受信する設定にしてください。

赤外線通信で同期させる

「赤外線通信で同期させるための準備」(P.107)をすべて行った後で、次の操作をH-21で行ってください。

1 [スタート]▶[ActiveSync]▶[メニュー]

H-21の本体左側の赤外線ポートと、パソコンの赤外線ポートを30cm以内の距離で向かい合わせてください。

2 [赤外線から接続]

赤外線通信を利用して、同期が開始されます。

おしらせ

● 赤外線ポートの位置については、「各部の名称と機能」(P.25)を参照してください。

メール

メールアカウントを新規設定する

電子メールを送受信するには、最初にメールアカウントの設定を行う必要があります。
Outlookメール以外に最大6件のアカウントを設定できます。アカウントごとに送受信したメールを管理できます。

一般のプロバイダーのアカウントを設定する

1 [スタート]▶[電子メール]

アカウントの選択画面が表示されます。

2 [電子メールの設定]

3 電子メールアドレスとパスワードを入力

[パスワードの保存]のチェックをオフにすると、メールを送受信するたびにパスワードの入力が必要になります。

4 [次へ]

[インターネットから電子メール設定を自動的に取得する]のチェックをオフにすると、メールサーバーなどの設定情報を手動で入力する必要があります。

5 [次へ]

電子メールの設定をインターネットから取得します。

6 [次へ]▶[名前:]に自分の名前を入力し、必要に応じて[アカウントの表示名:]の内容を変更

[アカウントの表示名:]に入力した名前がアカウントの選択画面などに表示されます。

7 電子メールアドレスを入力▶[次へ]

8 [自動送受信:]でメールを自動的に送受信する間隔を選択

[手動実行]を選択した場合は、自動的にメールを送受信しません。「メールを受信する」(P.110)を参照して、手動でメールを送受信してください。
詳細な設定の変更を行わない場合は、ここで**[完了]**を選択してください。

9 [全ダウンロード設定の確認]を選択▶[メッセージのダウンロード:]でメールサーバーに保存されているメールのうち、ダウンロードするメールの期間を選択

[すべてのメッセージ]を選択した場合は、メールサーバーに保存されているメールをすべて受信します。

10 [詳細設定]を選択▶必要に応じて設定を変更

[送信]をクリックしたときに送受信を実行する	チェックをオフにすると、メールの新規作成時などに**[送信]**を選択したとき、メールは**[受信トレイ]**に保存されます。「メールを受信する」(P.110)を参照して、手動でメールを送受信してください。
ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する	チェックをオンにすると、ローミング時にも**[自動送受信:]**で設定した間隔でメールの送受信が行われます。
メッセージの削除時:	**[サーバーから削除]**を選択すると、H-21で削除したメールがメールサーバーからも削除されます。**[サーバーに残しておく]**を選択すると、メールサーバーからは削除されません。

11 [完了]▶[次へ]▶必要に応じて設定を変更

メッセージ形式:	メッセージを送受信する形式を**[HTML]**または**[テキスト形式]**から選択します。
メッセージのダウンロード制限:	1件あたりのメールをダウンロードする上限のサイズを選択します。**[メッセージ全体]**を選択した場合は、メールの内容や添付ファイルがすべて受信されます。

12 [完了]

新規設定したアカウントでメールサーバーに接続して、メールを受信します。

おしらせ

- インターネットからの電子メール設定の取得に失敗した場合は、**[電子メールプロバイダー:]**で**[インターネット電子メール]**を選択して、受信メールサーバーや送信メールサーバーの情報を手動で設定してください。入力する情報については、ご利用のプロバイダーにお問い合わせください。
- アカウントの設定を後で変更する場合は、**[スタート]**▶**[電子メール]**▶**[メニュー]**▶**[オプション]**と操作して**[アカウント]**タブでアカウントを選択します。

自社のメールサーバーを利用したアカウントを設定する

1 [スタート]▶[電子メール]

アカウントの選択画面が表示されます。

2 [電子メールの設定]

3 電子メールアドレスとパスワードを入力

[パスワードの保存]のチェックをオフにすると、メールを送受信するたびにパスワードの入力が必要になります。

4 [次へ]▶[インターネットから電子メール設定を自動的に取得する]のチェックをオフにする▶[次へ]

以降の操作で必要な設定については、社内のシステム管理者にお問い合わせください。

メールを利用する

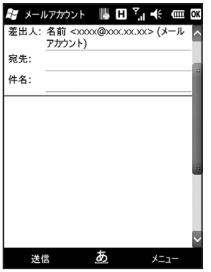
メールを新規作成して送信する

1 [スタート]▶[電子メール]

アカウントの選択画面が表示されます。

2 メールの送信に使用するアカウントを選択▶[メニュー]▶[新規]

メールの作成画面が表示されます。



3 [宛先:]にメールアドレスを入力

[宛先:]の見出しをタップすると、連絡先からメールアドレスを選択できます。

複数の宛先に同時に送信する場合は、「;」(セミコロン)で区切ってメールアドレスを入力します。

BCC(隠し同報)やCC(同報)を利用してメールを送信する場合は、メールの作成画面を上にスクロールさせます。隠れていた**[BCC:]**、**[CC:]**が表示されるので、**[BCC:]**、**[CC:]**にメールアドレスを入力します。

4 メッセージを入力

5 必要に応じてファイルを添付

ファイルを添付する場合は、**[メニュー]▶[挿入]**と操作して、**[画像]**、**[ボイスメモ]**または**[ファイル]**を選択します。

[画像]を選択した場合は、**[マイピクチャ]**フォルダー内の画像の一覧が表示され、選択すると添付されます。

[ボイスメモ]を選択した場合は、画面の下部に録音ツールバーが表示されます。**[●]**をタップして録音を開始し、**[■]**をタップして録音を終了すると、音声ファイルが添付されます。

[ファイル]を選択した場合は、ファイルを選択すると添付されます。

6 [送信]

おしらせ

- メールの作成画面で**[メニュー]▶[下書きに保存]**と操作すると、メールを送信せずに**[下書き]**フォルダーに保存できます。

[下書き]フォルダーのメールを送信する

1 [スタート]▶[電子メール]

アカウントの選択画面が表示されます。

2 [下書き]フォルダーにメールを保存したアカウントを選択

3 画面左上の[▼]をタップ▶[下書き]を選択▶送信するメールを選択

メールの作成画面が表示されます。

必要に応じてメールの内容を修正します。

4 [送信]

メールを受信する

アカウントごとに手動でメールを送受信することができます。受信したメールは、それぞれアカウントの**[受信トレイ]**に保存されます。

1 [スタート]▶[電子メール]

アカウントの選択画面が表示されます。

2 メールを受信したいアカウントを選択

3 [メニュー]▶[送受信]

メールを受信します。メールが**[送信トレイ]**に保存されている場合は、同時に送信されます。

4 画面左上の[▼]をタップ▶[受信トレイ]を選択▶メールを選択

メールの内容が表示されます。
[OK]を選択すると、メールの一覧画面に戻ります。

おしらせ

- メールの内容を表示した画面に**[メッセージと添付ファイルをすべて取得する]**とメッセージが表示されている場合は、そのメッセージを選択するか、**[メニュー]▶[メッセージのダウンロード]**と操作してください。
  ※ 表示されるメッセージは、アカウントの種類によって異なります。
- パケット通信を利用してメールを送受信すると、パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- パケット通信を利用してインターネットに接続してメールを送受信する場合、メールの送受信が終了しても、タイムアウトにならない限りパケット通信の回線は接続されたままとなります。タイトルバーの 3G または H をタップし**[切断]**を選択して、パケット通信の回線を手動で切断することをおすすめします。
- 受信したメールによっては、絵文字やHTMLメールの内容などが正しく表示されない場合があります。
- 自動受信した新着のメールがある場合は、タイトルバーに✉が表示されます。✉をタップ▶**[表示]**と操作すると、新着のメールが1件の場合はメールの内容が表示されます。新着のメールが複数の場合は**[受信トレイ]**が表示されます。

添付ファイルを保存する

1 メールの一覧画面で添付ファイルが添付されたメールを選択

メールの内容が表示されます。

2 添付ファイルのファイル名をタップしたまま1秒以上押さえる

添付ファイルのファイル名をタップした場合は、添付ファイルに対応したアプリケーションが起動して、添付ファイルが開きます。

3 [名前をつけて保存]▶必要に応じて保存するファイルの名前の変更、保存先のフォルダーの選択などを行う▶[保存]

おしらせ

- メールの内容を表示した画面に**[メッセージと添付ファイルをすべて取得する]**とメッセージが表示されている場合は、そのメッセージを選択するか、**[メニュー]▶[メッセージのダウンロード]**と操作してください。
  ※ 表示されるメッセージは、メールアカウントの種類によって異なります。

受信したメールに返信する

1 メールの一覧画面で画面左上の[▼]をタップ▶[受信トレイ]を選択

2 返信したいメールを選択

メールの内容が表示されます。

3 [返信]

メールの作成画面が表示されます。
本文を入力します。必要に応じてその他のメールの内容を修正します。

4 [送信]

おしらせ

● メールの内容を表示した画面で**[メニュー]**▶**[返信／転送]**▶**[全員へ返信]**と操作すると、送信元以外の宛先やCC(同報)の宛先にも同時にメールを返信できます。

メールを転送する

1 メールの一覧画面で転送したいメールを選択▶[メニュー]

2 [返信／転送]▶[転送]

メールの作成画面が表示されます。
本文を入力します。必要に応じてその他のメールの内容を修正します。

3 [送信]

メールを削除する

削除したメールは、**[削除済み]**フォルダーに移動されます。

1 メールの一覧画面で削除したいメールを選択

メールの内容が表示されます。

2 [メニュー]▶[削除]

おしらせ

● メールの一覧画面で**[削除]**▶**[はい]**と操作しても、メールを削除できます。
● メールの一覧画面で**[メニュー]**▶**[メッセージの選択]**▶**[すべて]**、**[以下すべて]**または**[複数]**を選択すると、複数のメールを選択できます。その後で**[削除]**を選択すると、複数のメールを一度に削除できます。
● **[削除済みアイテム]**フォルダー内のメールを削除する操作を行った場合は、メールが完全に削除されます。

[削除済みアイテム]フォルダーを空にする

[削除済みアイテム]フォルダー内のメールがすべて削除されます。

1 メールの一覧画面で[メニュー]

2 [ツール]▶[[削除済みアイテム]を空にする]▶[はい]

メールを並べ替える

一覧のメールを並べ替えて表示することができます。

1 メールの一覧画面で画面右上の[▼]をタップ

2 [メッセージの種類]、[差出人]、[受信日時]または[件名]

フォルダーを作成する

[受信トレイ]などの既存のフォルダーの中にフォルダーを作成することができます。

1 メールの一覧画面で[メニュー]

2 [ツール]▶[フォルダーの管理]

3 フォルダーをタップしたまま1秒以上押さえる▶[新しいフォルダー]

4 フォルダー名を入力▶[OK]

メールを別のフォルダーに移動する

1 メールの一覧画面で移動したいメールを選択▶[メニュー]

2 [移動]▶移動先のフォルダーを選択▶[選択]

おしらせ

- メールの一覧画面で**[メニュー]▶[メッセージの選択]▶[すべて]**、**[以下すべて]**または**[複数]**を選択すると、複数のメールを選択できます。その後でメールを移動する操作を行うと、複数のメールを一度に移動できます。
- 別のアカウントのフォルダーにはメールを移動できません。

アカウントを切り替える

1 メールの一覧画面で[メニュー]

2 [切り替え]▶アカウントを選択

おしらせ

- メールの一覧画面で画面左上の**[▼]**をタップして、現在のアカウント以外のアカウントやフォルダーを選択しても、アカウントを切り替えることができます。

署名を設定する

メールの新規作成時や、返信時、転送時に、あらかじめ設定しておいた署名をメールの末尾に自動的に挿入できます。署名には、名前や連絡先などを入力しておきます。

1 メールの一覧画面で[メニュー]

2 [ツール]▶[オプション]▶[アカウント]タブの[署名...]を選択

3 [アカウントの選択:]で署名を使用するアカウントを選択

4 [このアカウントで署名を使用する]のチェックをオンにする

メールの返信時や転送時にも署名を使用する場合は、**[返信時／転送時に使用する]**のチェックもオンにします。

5 署名を入力▶[OK]▶[OK]

SMSを利用する

FOMA端末の電話番号を宛先として、最大全角70文字(半角英数字の場合160文字)の文字メッセージを送受信できるサービスです。

SMSを作成して送信する

1 [スタート]▶[電子メール]

アカウントの選択画面が表示されます。

2 [SMSメッセージ]▶[メニュー]▶[新規]

SMSの作成画面が表示されます。

3 [宛先:]に他のFOMA端末の電話番号を入力

複数の宛先に同時に送信する場合は、「;」(セミコロン)で区切って宛先を入力します。
[宛先:]の見出しをタップすると、連絡先から電話番号を選択できます。

4 メッセージを入力▶[送信]

おしらせ

- 宛先の電話番号に「#」または「＊」が含まれる場合、SMSを送信できません。
- 送信したSMSの有効期限は3日間固定で変更できません。
- SMSの送受信中も、通話やパケット通信が可能です。
- ドコモ以外の海外の通信事業者を利用している電話との間でもSMSを送受信できます。ご利用可能な国や海外通信事業者については、ドコモの『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの『国際サービスホームページ』を参照してください。
- ドコモ以外の海外の通信事業者の電話番号が宛先の場合は、電話番号の前に「＋」と「国・地域番号」を入力してください。
  - ※ 携帯電話の番号が「0」で始まる電話番号の場合は、先頭の「0」を除いて電話番号を入力してください。
  - ※ 電話番号の前に「010」と「国・地域番号」を入力しても送信できます。
  - ※ 海外から受信したSMSに返信する場合は、電話番号の前に「010」を入力してください。

受信したSMSを確認する

SMSの受信時は、通知音が鳴ります。受信したSMSは、**[SMSメッセージ]**アカウントの**[受信トレイ]**に保存されます。

1 [スタート]▶[電子メール]

アカウントを選択する画面が表示されます。

2 [SMSメッセージ]▶画面左上の[▼]をタップ▶[受信トレイ]を選択

3 メッセージを選択

メッセージの内容が表示されます。

おしらせ

- 電話機能がオンになっている場合は、SMSを自動的に受信します。電話機能がオフになっている場合は、H-21の電話機能がオンになるまで携帯電話会社のメールサーバーにSMSが保存されます。サーバーでの保存期限は最長3日間です。
- H-21を操作することで、SMSのメールサーバーにメッセージがあるかどうかを問い合わせることはできません。
- 連絡先にSMSの送信元の電話番号が登録されている場合は、SMSの受信時に連絡先に登録されている名前が表示されます。
- 受信したSMSは、FOMAカードに最大19件までコピーできます。メッセージの内容を表示して**[メニュー]▶[SIMカードにコピー]**と操作すると、コピーできます。

Webブラウザ

Internet Explorer MobileでWebページを閲覧する

パケット通信やワイヤレスLANなどでインターネットに接続すると、Internet Explorer MobileでWebページを閲覧できます。

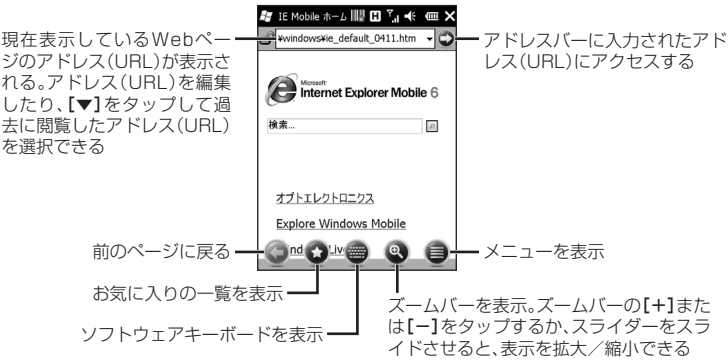
1 [スタート]▶[Internet Explorer]

Internet Explorer Mobileが起動して、ホームページにアクセスします。
リンクを選択すると、リンク先のWebページにアクセスします。
表示しきれていない部分がある場合は、画面を上下や左右になぞるとスクロールやパンができます。

ホームページの例

2 をタップ

画面上部にはタイトルバーとアドレスバーが表示され、画面下部にはアイコンが表示されます。
一定時間が経過するか、画面をタップすると、タイトルバー、アドレスバー、アイコンは非表示に戻ります。



おしらせ

- 画面を2回連続してタップすることで、表示を拡大／縮小できます。
- を押すとが画面に表示され、画面を上下にスクロールさせたり、左右にパンさせることができます。がに変わったところで を押すと、リンク先のWebページにアクセスすることなどができます。
- Internet Explorer Mobileの実行中にパケット通信の回線を切断しても、自動的に再接続する可能性があります。Internet Explorer Mobileを使用しない場合は、をタップ▶をタップ▶**[終了]**と操作して、Internet Explorer Mobileを終了することをおすすめします。

● パケット通信を利用してインターネットに接続している場合、Internet Explorer Mobileを終了しても、タイムアウトにならない限りパケット通信の回線は接続されたままとなります。タイトルバーの3Gまたは Hをタップし**[切断]**を選択して、パケット通信の回線を手動で切断することをおすすめします。

● パケット通信を利用してインターネットに接続すると、パケット通信料がかかりますのでご注意ください。

コンテキストメニューを利用する

1 Webページの閲覧中に、表示内容をタップしたまま1秒以上押さえる

コンテキストメニューが表示されます。

2 コンテキストメニューの項目を選択

ズーム	ズームバーを表示します。ズームバーの**[+]**または**[−]**をタップするか、スライダーをスライドさせると、表示を拡大／縮小できます。
選択	画面に表示されたテキストをなぞって選択した後、**[コピー]**を選択するとテキストをコピーできます。
戻る	前のページに戻ります。
最新の情報に更新	現在表示しているWebページを更新します。
お気に入りに追加	現在表示しているWebページをお気に入りに登録します。
ショートカットのコピー	タップしたまま押さえたリンク先のアドレス(URL)などをコピーします。
対象をファイルに保存	タップしたまま押さえたリンク先のWebページなどを保存します。
イメージを保存	タップしたまま押さえた画像を保存します。
お気に入り	お気に入りの一覧を表示します。

おしらせ

● タップしたまま押さえた表示内容によって、コンテキストメニューに表示される項目は異なります。

お気に入りを利用する

お気に入りにWebページを登録すると、そのページに簡単にアクセスすることができます。

お気に入りにWebページを登録する

閲覧中のページをお気に入りに登録することができます。

1 Webページの閲覧中に をタップ▶ をタップ

お気に入りの一覧が表示されます。

2 をタップ

お気に入りの編集画面が表示されます。
必要に応じてお気に入りの名前やアドレス(URL)を変更したり、お気に入りが保存されるフォルダーを選択できます。

3 [追加]

お気に入りが登録され、一覧に戻ります。
をタップすると、Webページの閲覧画面に戻ります。

お気に入りのWebページにアクセスする

1 Webページの閲覧中に をタップ▶ をタップ

お気に入りの一覧が表示されます。

2 お気に入りを選択

お気に入りのWebページにアクセスします。

お気に入りにフォルダーを追加する

1 Webページの閲覧中に をタップ▶ をタップ

お気に入りの一覧が表示されます。

2 をタップ▶フォルダーの名前を入力▶[追加]

おしらせ

● フォルダー内にさらにフォルダーを追加することはできません。

お気に入りを編集する

お気に入りの名前やアドレス(URL)を変更したり、お気に入りが保存されるフォルダーを変更できます。

1 Webページの閲覧中に をタップ▶ をタップ

お気に入りの一覧が表示されます。

2 お気に入りをタップしたまま1秒以上押さえる

お気に入りが選択されます。
[↕]で選択することもできます。

3 をタップ

お気に入りの編集画面が表示されます。

4 登録内容を編集▶[OK]

お気に入りが登録され、一覧に戻ります。

おしらせ

● フォルダーを選択して編集する場合は、フォルダーの名前を編集できます。

お気に入りを削除する

1 Webページの閲覧中に をタップ▶ をタップ

お気に入りの一覧が表示されます。

2 お気に入りをタップしたまま1秒以上押さえる

お気に入りが選択されます。
[↕]で選択することもできます。

3 をタップ▶[はい]

お気に入りが削除されます。

おしらせ

● フォルダーを選択して削除する場合は、フォルダーとそのフォルダー内のお気に入りがすべて削除されます。

メニューを利用する

1 Webページの閲覧中に をタップ▶ をタップ

2 メニューの項目を選択

ホームページ		ホームページにアクセスします。
履歴		過去にアクセスしたWebページが一覧で表示されます。Webページを選択すると、そのページにアクセスします。
進む		次のページに進みます。
最新の情報に更新		現在表示しているWebページを更新します。
表示		表示に関する設定を行うことができます。 ・**[文字サイズ]**を選択すると、Webページの表示に使用する文字サイズを**[最大]**、**[大]**、**[中]**、**[小]**または**[最小]**から選択できます。 ・**[ActiveXの有効化]**を選択すると、ActiveXの有効と無効を切り替えられます。 ・Webページの表示方法を**[モバイル]**または**[デスクトップ]**から選択できます。
ツール	**リンクを送る**	現在表示しているWebページのアドレス(URL)を本文に入力したメールを作成します。
	プロパティ	現在表示しているWebページのプロパティを表示します。
	オプション	Internet Explorer Mobileのオプションを設定できます。 ・**[ホームページ]**を選択すると、ホームページのアドレス(URL)を変更できます。 ・**[閲覧の履歴]▶[一時ファイル]**／**[Cookie]**／**[履歴]▶[クリア]▶[はい]**と操作すると、履歴を削除できます。Internet Explorer Mobileの動作が遅いときや、Webページがうまく表示されない場合は、一時ファイルを削除してください。 ・**[プライバシーとセキュリティ]**を選択すると、スクリプトの有効／無効、Cookieの有効／無効、セキュリティ保護のないページに移動するときの警告の有無を設定できます。スクリプトやCookieを無効にすると、Webページを閲覧する際の安全性が高まりますが、一部のWebサービスは利用できなくなる可能性があります。 ・**[言語]**を選択すると、Webページの表示に使用する言語やエンコード(文字コード)を選択できます。
コピー／貼り付け	**選択**	画面に表示されたテキストをなぞって選択した後、**[コピー]**を選択するとテキストをコピーできます。
	貼り付け	Webページのテキストボックスなどにコピーしたテキストを貼り付けます。
終了		Internet Explorer Mobileを終了します。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを設定する

1 **[スタート]▶[設定]▶[システム]▶[バーコードリーダー設定]**

バーコードリーダー設定画面が表示されます。

2 **[基本設定]タブの設定を変更**

バーコードリーダーを有効にする	チェックをオンにすると、バーコードリーダーが有効になります。
トリガーキー	<Numericキーモデルの場合> **[トリガーキーを有効にする]**のチェックをオンにすると、キー操作によるコードの読み取りが可能になります。 読み取りに使用できるキー(トリガーキー)は、H-21の両サイドにある (サイドトリガーキー)または ～ です。**[サイド]**または**[F1]**～**[F4]**のチェックをオンにすることで有効になります。 ・**[サイド]**のチェックをオンにすると、 (サイドトリガーキー)が有効になります。 ・**[トリガーキーを有効にする]**のチェックがオンになっていても、**[サイド]**、**[F1]**～**[F4]**のチェックがすべてオフになっている場合は、トリガーキーによってコードを読み取ることはできません。 <QWERTYキーモデルの場合> **[トリガーキーを有効にする]**のチェックをオンにすると、キー操作によるコードの読み取りが可能になります。 読み取りに使用できるキー(トリガーキー)は、H-21の両サイドにある (サイドトリガーキー)、 または です。**[サイド]**、**[F1]**または**[F2]**のチェックをオンにすることで有効になります。 ・**[サイド]**のチェックをオンにすると、 (サイドトリガーキー)が有効になります。 ・**[トリガーキーを有効にする]**のチェックがオンになっていても、**[サイド]**、**[F1]**、**[F2]**のチェックがすべてオフになっている場合は、トリガーキーによってコードを読み取ることはできません。

出力モード	読み取り結果の出力先を**[データバッファー]**、**[キーボード]**または**[クリップボード]**から選択します。 • **[データバッファー]**を選択した場合は、バーコードリーダーに対応した業務アプリケーションでコードを読み取ってください。
バーコードのサフィックス	サフィックス(読み取り結果の後に追加するキーコード)を設定できます。
読み取り時の通知	コードの読み取り時の通知を設定できます。 • 通知の種類は、**[ブザー]**、**[バイブ]**、**[ブザー、バイブ]**または**[なし]**から選択します。 • 読み取り時に鳴るサウンドファイル名が表示されています。サウンドファイル名を選択するか**[▼]**をタップすると、別のサウンドファイルを選択できます。 • **[確認]**を選択すると、サウンドファイルを鳴らして確認できます。

3 その他のタブの設定を変更

コードオプション	**[バーコードタイプ]**に表示されたコードの種類のチェックボックスをオンにすると、読み取り対象となります。 • コードの名称をタップしたまま押さえると、各コードの詳細オプションを設定できます。 • **[初期値に戻す]**を選択すると、**[バーコードタイプ]**のチェックがお買い上げ時の設定に戻ります。
読み取りオプション	読み取りのオプションを設定できます。 • **[読み取りモード]**を**[単発読み]**または**[複数読み]**から選択します。 • **[読み取り時間]**を**[0]**～**[9]**または**[無制限]**から選択します。**[0]**を選択すると、トリガーキーを押している間のみコードを読み取ります。 • **[マージンチェック]**を**[無し]**、**[標準の1/7]**～**[標準の6/7]**または**[標準]**から選択します。 **[いいえ]**を選択すると、マージンチェックは行われません。 • **[照合回数]**を**[0]**～**[8]**から選択します。 • **[反転バーコード]**を**[通常バーコード]**または**[反転バーコード]**から選択します。 • **[走査幅]**を**[標準]**または**[狭い]**から選択します。
高度な設定	バーコード設定ファイル(設定コマンド)によりバーコードスキャナーモジュールと**[バーコードリーダー]**の設定を変更できます。 **[...]**を選択すると、バーコード設定ファイルの一覧が表示されます。バーコード設定ファイルを選択した後で**[設定]**を選択してください。 • **[編集]**を選択すると、Word Mobileが起動してバーコード設定ファイルを編集できます。 • **[全て初期値に戻す]**を選択すると、バーコードスキャナーモジュールのすべての設定と、**[バーコードリーダー]**のすべての設定が初期値に戻ります。
情報	バーコードリーダーに関連したバージョン情報などが表示されます。

4 [OK]

バーコードリーダーの有効／無効を切り替える

タイトルバーのをタップすると、バーコードリーダーとトリガーキーの有効／無効を切り替えることができます。

1 タイトルバーのをタップ▶有効／無効を切り替え

2 [非表示]

おしらせ

● バーコードリーダーを無効に設定している場合は、タイトルバーにが表示されます。

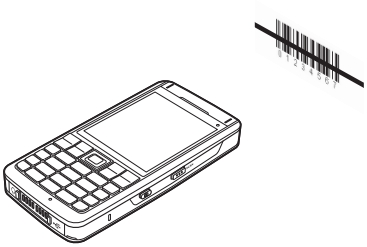
一次元バーコードモデルの使いかた

一次元バーコードモデルでは、JAN、EAN、UPC-A、UPC-E、NW-7（Codabar）、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、Code 39、Code 128、GS1 DataBarなどのコードを赤色半導体レーザーで読み取ることができます。
この操作説明では、読み取ったコードの内容をメモに入力してみます。

1 [スタート]▶[メモ]▶[新規]

2 (サイドトリガーキー)

レーザー光が読み取り対象のコードを横切るように当ててください。



3 読み取りが成功すると、コードの内容がメモに入力される

おしらせ

- 読み取り窓からレーザー光を直接のぞかないでください。目に障害を及ぼす場合があります。
- パソコンのモニターなどの点滅する光の当たる場所では、読み取りができない場合があります。
- 読み取ったコードをメモに入力するには、バーコードリーダー設定の**[基本設定]**タブの**[出力モード]**が**[キーボード]**または**[クリップボード]**に設定されている必要があります。
- ダイヤル画面でコードを読み取ると、コードの番号に電話がかかりますのでご注意ください。
- 業務アプリケーションでコードを読み取る操作については、業務アプリケーションに付属している取扱説明書を参照してください。
- コードを読み取る際は、角度によっては読み取りにくい場合があります。特にコードに対して真正面、およびスキュー角※においてデッドゾーン（$\beta \leqq \pm 8^\circ$）の範囲では正反射となり、読み取りにくくなります。読み取り対象のコードに対して、スキュー方向に8°以上の傾きをつけることで読み取りが改善できます。
  ※ コードシンボルの長さに平行な軸に対しての、コードシンボルの回転角のことをスキュー角と呼びます。

二次元コード対応モデルの使いかた

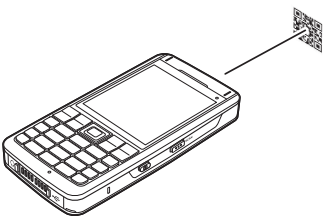
二次元コード対応モデルでは、JAN、EAN、UPC-A、UPC-E、NW-7（Codabar）、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、Code 39、Code 128、GS1 DataBarなどに加えて、QR Code、MicroQR Code、PDF417などの二次元コードもCMOSエリアセンサーで読み取ることができます。
この操作説明では、読み取ったコードの内容をメモに入力してみます。

1 [スタート]▶[メモ]▶[新規]

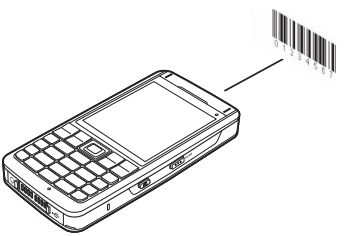
2 (○○○)（サイドトリガーキー）

エイミングポイント（赤色レーザー）を読み取り対象のコードの中心に当ててください。

■ 読み取り対象が二次元コードの場合



■ 読み取り対象が一次元バーコードの場合



3 読み取りが成功すると、コードの内容がメモに入力される

おしらせ

- 読み取り窓からレーザー光を直接のぞかないでください。目に障害を及ぼす場合があります。
- パソコンのモニターなどの点滅する光の当たる場所では、読み取りができない場合があります。
- 読み取ったコードをメモに入力するには、バーコードリーダー設定の**[基本設定]**タブの**[出力モード]**が**[キーボード]**または**[クリップボード]**に設定されている必要があります。
- ダイヤル画面でコードを読み取ると、コードの番号に電話がかかりますのでご注意ください。
- 業務アプリケーションでコードを読み取る操作については、業務アプリケーションに付属している取扱説明書を参照してください。
- コードを読み取る際は、角度によっては読み取りにくい場合があります。読み取り部分の反射率が高い場合、コードに対して真正面、およびスキュー角※においてデットゾーン（$\beta \leqq \pm 15^\circ$）の範囲では、投光LEDの正反射となり、読み取りにくくなります。
  読み取り対象のコードに対して、スキュー方向に 15° 程度の傾きをつけることで読み取りが改善できます。また、投光LEDの消灯設定を行うことで読み取りが改善できます。
  なお、投光LEDを消灯設定にする場合、十分な環境照度（500lx以上）がないと読み取り特性が低下することがあります。また、照明の写り込みや反射光の影響などで読み取り特性が低下することがあります。
  ※ コードシンボルの長さに平行な軸に対しての、コードシンボルの回転角のことをスキュー角と呼びます。
  ※ LEDの消灯設定の方法については、サポート窓口(E-mail: h-21_tecinfo@opto.co.jp)までご連絡ください。

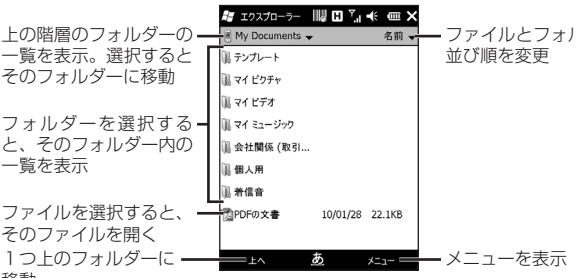
その他の機能

エクスプローラーでファイルを管理する

エクスプローラーを利用すると、H-21の本体メモリやmicroSDメモリカード内に保存されているファイルやフォルダーを管理できます。

1 [スタート]▶[エクスプローラー]

エクスプローラーが表示されます。



おしらせ

- フォルダーの一覧で**[マイデバイス]**を選択すると、H-21の本体メモリに保存されているフォルダーの一覧が表示されます。
- **[マイデバイス]**の**[My Documents]**フォルダー以外のフォルダーやファイルを操作すると、Windows Mobileやその他のアプリケーションが正しく動作しなくなる可能性があります。ご注意ください。
- フォルダーの一覧で**[Storage Card]**を選択すると、H-21に取り付けられているmicroSDメモリカード内のフォルダーやファイルの一覧が表示されます。
- エクスプローラーの一覧でファイルを選択しても開かない場合は、ファイルに対応するアプリケーションを起動して、アプリケーションから開いてください。

ファイルやフォルダーの名前を変更する

1 [スタート]▶[エクスプローラー]

2 ファイルまたはフォルダーをタップしたまま押さえる▶[名前の変更]

3 名前を変更

フォルダーを作成する

1 [スタート]▶[エクスプローラー]

2 [メニュー]▶[新しいフォルダー]▶フォルダー名を入力

ファイルやフォルダーを移動／コピーする

1 **[スタート]▶[エクスプローラー]**

2 **ファイルまたはフォルダーをタップしたまま押さえる▶[切り取り]／[コピー]**

ファイルやフォルダーを移動する場合は、**[切り取り]**を選択します。

3 **移動／コピー先のフォルダーを開く**

4 **[メニュー]▶[編集]▶[貼り付け]**

ファイルやフォルダーを削除する

1 **[スタート]▶[エクスプローラー]**

2 **ファイルまたはフォルダーをタップしたまま押さえる▶[削除]▶[はい]**

Office Mobileを利用する

パソコンのMicrosoft Officeで作成されたファイルを閲覧できます。また、Word Mobile、Excel Mobile、OneNote Mobileでは、ファイルを編集したり、新規作成することもできます。

Word Mobileを利用する

Word Mobileは、パソコン用のMicrosoft Wordの簡易版です。

1 **[スタート]▶[Office Mobile]▶[Word Mobile]**

本体メモリとmicroSDメモリカードに保存されているWordファイルの一覧が表示されます。ここでWordファイルを選択すると、既存のWordファイルを編集できます。
Wordファイルが1件も保存されていない場合は、一覧の代わりに新規作成画面が表示されます。

2 **[新規]▶文章を入力▶[OK]**

Wordファイルが保存され、Wordファイルの一覧に戻ります。

おしらせ

- Word Mobileでは、.doc、.dot、.docx、.dotx、.docm、.dotm、.rtfまたは.txt形式のファイルを開くことができます。
- 新規作成したファイルを保存するときは、.docx(Word文書)、.dotx(Wordテンプレート)、.rtf(リッチテキスト形式)または.txt(テキスト形式)でのみ保存できます。
- 変更履歴などパソコン用のMicrosoft Wordの機能の一部は、サポートされていません。パソコン用のMicrosoft Wordで作成されたファイルを編集して保存すると、一部の内容や書式設定が削除されることがあります。

Excel Mobileを利用する

Excel Mobileは、パソコン用のMicrosoft Excelの簡易版です。

1 **[スタート]▶[Office Mobile]▶[Excel Mobile]**

本体メモリとmicroSDメモリカードに保存されているExcelファイルの一覧が表示されます。ここでExcelファイルを選択すると、既存のExcelファイルを編集できます。
Excelファイルが1件も保存されていない場合は、一覧の代わりに新規作成画面が表示されます。

2 **[新規]▶データを入力▶[OK]**

Excelファイルが保存され、Excelファイルの一覧に戻ります。

おしらせ

- Excel Mobileでは、.xls、.xlt、.xlsx、.xltx、.xlsm、または.xltm形式のファイルを開くことができます。
- 新規作成したファイルを保存するときは、.xlsx(Excel 2007ブック)または.xltx(Excel 2007テンプレート)形式でのみ保存できます。
- パソコン用のMicrosoft Excelの機能の一部は、サポートされていません。パソコン用のMicrosoft Excelで作成されたファイルを編集して保存すると、一部の内容や書式設定が削除されることがあります。
- Excel Mobileは、モーションセンサーによる画面の縦横切り替えに対応しています。詳しくは、「モーションセンサーを利用する」(P.53)を参照してください。

PowerPoint Mobileを利用する

PowerPoint Mobileは、パソコン用のMicrosoft PowerPointで作成されたファイルを閲覧することができます。編集することはできません。

1 [スタート]▶[Office Mobile]▶[PowerPoint Mobile]

本体メモリとmicroSDメモリカードに保存されているPowerPointファイルの一覧が表示されます。

2 ファイルを選択

PowerPointファイルがスライドショーで表示されます。
画面をタップすると、次のスライドが表示されます。スライドショーが終了すると、ファイルの一覧に戻ります。

おしらせ

- スライドショーを途中で終了するには、画面左下の**[▲]**をタップして**[スライドショーの終了]**を選択します。
- PowerPoint Mobileでは、.ppt、.pps、.pptx、.ppsx、.pptmまたは.ppsm形式のファイルを開くことができます。

OneNote Mobileを利用する

画像やサウンドを挿入したノートを作成できます。パソコンでMicrosoft Office OneNoteをご利用の場合は、パソコン上のノートと同期させることができます。

1 [スタート]▶[Office Mobile]▶[OneNote Mobile]

ノートの一覧が表示されます。ここでノートを選択すると、既存のノートを編集できます。

2 [新規作成]▶文章などを入力▶[完了]

メモが保存され、メモの一覧に戻ります。

おしらせ

- 保存したノートは、**[My Documents]**フォルダーには保存されません。保存されたノートは、OneNote Mobileによって管理されるため、エクスプローラーなどでは操作できません。

Adobe Reader LEでPDFファイルを表示する

Adobe Reader LEを利用すると、PDFファイルを表示できます。

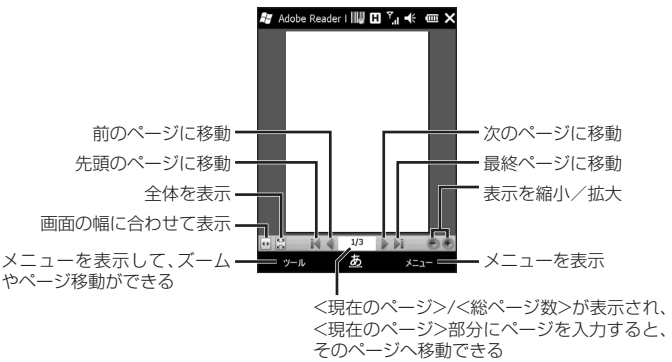
1 [スタート]▶[Adobe Reader LE]

最近開いたPDFファイルの一覧が表示されます。
一覧に目的のPDFファイルが表示されていない場合は、**[参照]**を選択し、PDFファイルが保存されているフォルダーを開き、PDFファイルを選択してください。

※ 最近開いたPDFファイルの一覧が表示されなかった場合は、PDFファイルが保存されているフォルダーを開き、PDFファイルを選択してください。

2 PDFファイルを選択

PDFファイルの内容が表示されます。



おしらせ

● 別のPDFファイルを開く場合は、**[メニュー]▶[開く]**と操作した後、PDFファイルを選択します。

メモを取る

メモ機能では、文字を入力するだけでなく、画面に直接文字を書いたり、絵を描くこともできます。また、音声などを録音することもできます。

メモを新規作成する

1 [スタート]▶[メモ]

本体メモリとmicroSDメモリカードに保存されているメモの一覧が表示されます。ここでメモを選択すると、既存のメモを編集できます。
メモが1件も保存されていない場合は、一覧の代わりにメモの新規作成画面が表示されます。

2 [新規]▶メモを入力▶[OK]

メモが保存され、メモの一覧に戻ります。

おしらせ

● 画面に手書きをすると、文字を書いたり、絵を描くことができます。描画の機能をオフにしたい場合は、**[メニュー]▶[描画]**を選択してチェックをオフにします。

録音する

音声などを録音することができます。

1 [スタート]▶[メモ]▶[メニュー]▶[録音ツールバーの表示]を選択してチェックをオンにする

画面の下部に録音ツールバーが表示されます。

2 [●]をタップして録音を開始▶[■]をタップして録音を終了

録音した内容がファイルに保存され、メモの一覧に表示されます。
録音したファイルを選択すると、再生されます。

おしらせ

- メモの編集中に録音ツールバーを表示して録音した場合は、メモにスピーカーのアイコンが表示され、メモに添付されます。スピーカーのアイコンをタップすることで再生できます。

電卓で計算する

画面に電卓を表示して計算ができます。

1 [スタート]▶[電卓]

おしらせ

- **[編集]**を選択すると、現在の値をコピーしたり、クリップボードの値を貼り付けることができます。

データを検索する

入力した文字列が含まれるファイルや、メール、仕事、予定表、連絡先などを検索することができます。また、ファイル名を入力しても検索することができます。

1 [スタート]▶[検索]

2 [検索:]に検索したい文字列やファイル名を入力▶[種類:]で検索したい項目を選択▶[検索]

検索結果の一覧が表示されます。

3 項目を選択

選択した項目の内容が表示されます。

おしらせ

- ファイルの種類によっては、ファイルに含まれる文字列が検索されない場合があります。
- microSDメモリカード内のファイルも検索されます。

カメラで撮影する

H-21は、3.2メガピクセルのカメラを搭載しています。画像(静止画)やビデオ(動画)を撮影することができます。

おしらせ

- 指紋などがカメラのレンズ部に付いていると、撮影した画像がぼやけることがあります。撮影前に眼鏡拭きなどの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。なお、強くこするとレンズを傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 撮影時はカメラのレンズ部に指やストラップなどがかからないようにご注意ください。

● カメラを起動したままにして約1分経過すると画面に「カメラは一時停止しています。再開するにはスクリーンをタップしてください。」と表示されます。(◎) を押すか、画面をタップすると、カメラ画面に戻ります。

● **[スタート]▶[設定]▶[個人]▶[ボタン]▶[その他]**タブの**[カメラボタンでカメラを起動する]**のチェックをオンにすると、(◎) を押すことでカメラが起動できるようになります。

カメラを設定する

撮影する前に必要に応じてカメラを設定してください。

1 [スタート]▶[画像とビデオ]▶一覧の先頭の を選択

カメラが起動します。

2 をタップ▶設定を変更

	効果、ホワイトバランス、コントラスト、明るさ、撮影モードシーン、シャープネス、ライトを設定できます。
	画像撮影時に有効な設定です。画像フォーマット、解像度、ファイルタイプ、ファイル名のシリアルナンバー、画質、シャッター音を設定できます。
	ビデオ撮影時に有効な設定です。動画フォーマット、解像度、ファイルタイプ、ファイル名のシリアルナンバー、フリッカー調整を設定できます。
	保存先、マクロモード、測光モードを設定できます。

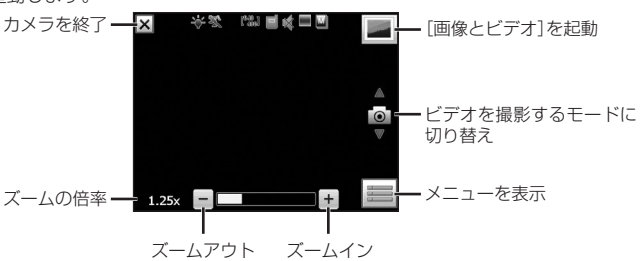
3 または をタップ

画像を撮影する

最大2,048×1,536ピクセルの画像を撮影できます。

1 [スタート]▶[画像とビデオ]▶一覧の先頭の を選択

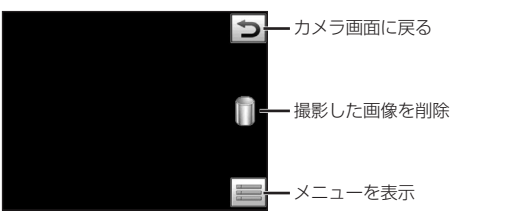
カメラが起動します。



2 (◎)

撮影した画像が表示されます。

をタップ▶**[Eメールで送信します]**を選択すると、撮影した画像を添付したEメールを作成できます。



3 をタップ

おしらせ

- 撮影した画像は、お買い上げ時の設定では**[My Documents]**フォルダー内の**[マイピクチャ]**フォルダーに保存されます。
- 解像度が1,600×1,200ピクセル以上の場合、ズームできません。

ビデオを撮影する

320×240または640×480ピクセルのビデオを撮影できます。

1 カメラ画面▶ をタップ

ビデオを撮影するモードに切り替わります。

2

録画が開始されます。

3

録画が終了して、撮影したビデオが保存されます。

おしらせ

- 録画中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。
- 撮影したビデオは、お買い上げ時の設定では**[My Documents]**フォルダー内の**[マイビデオ]**フォルダーに保存されます。

画像やビデオを表示／再生する

画像やビデオを表示／再生したり、画像を編集することなどができます。

1 [スタート]▶[画像とビデオ]

起動時は、**[マイピクチャ]**フォルダー内の画像の一覧がサムネイルで表示されます。
一覧の先頭に表示されているカメラのアイコンを選択すると、カメラを起動できます。

2 画像を選択

画面に表示された画像を右に向けてなぞると、次の画像が表示されます。
左に向けてなぞると、前の画像が表示されます。

おしらせ

- ビデオを再生する場合は、画面右上の**[マイピクチャ▼]**をタップして、ビデオが保存されているフォルダーを選択してください。ビデオを選択すると、Windows Media Player Mobileが起動して再生されます。
- **[画像とビデオ]**は、モーションセンサーによる画面の縦横切り替えに対応しています。詳しくは、「モーションセンサーを利用する」(P.53)を参照してください。

Windows Media Player Mobileを利用する

Windows Media形式のビデオや、MP3形式(.asf、.wma、.wmv、.mp3)の音楽ファイルなどを再生できます。また、パソコンでWindows Media Playerをご利用の場合は、パソコン上のライブラリと同期させることができます。

1 [スタート]▶[Windows Media]

Windows Media Player Mobileのライブラリ画面が表示されます。

2 [マイミュージック]／[マイビデオ]／[マイテレビ]▶分類を選択▶再生したいファイルを選択▶[再生]

選択したビデオや音楽ファイルが再生されます。
[メニュー]▶[ライブラリ]と操作すると、ライブラリ画面に戻ります。

おしらせ

- 自分で撮影したビデオや録音した音声ファイルなどをライブラリ画面に表示するには、**[スタート]▶[Windows Media]▶[メニュー]▶[ライブラリの更新]**と操作して、ライブラリに登録してください。
- Windows Media Player Mobileは、モーションセンサーによる画面の縦横切り替えに対応しています。詳しくは、「モーションセンサーを利用する」(P.53)を参照してください。

Microsoftのオンラインサービスを利用する

Windows LiveやWindows Live™ Messenger、Microsoft My Phoneなど、マイクロソフト社が提供するオンラインサービスを利用できます。

おしらせ

- Microsoftのオンラインサービスを利用するには、インターネットに接続する必要があります。接続には、別途パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- 詳しいサービス内容については、マイクロソフト社のホームページなどをご確認ください。

Windows Liveを利用する

インターネットの検索(Live Search)や、電子メール(Windows Liveメール)、チャット(Live Messenger)、オンラインのアドレス帳など、マイクロソフト社のオンラインサービスを利用できます。

1 [スタート]▶[Windows Live]▶[ここをクリックしてサインインします。]

2 Windows Live使用条件とMicrosoftオンラインプライバシーに関する声明を読む▶[承諾]

3 ご利用のWindows Live IDまたはHotmailの電子メールアドレスとパスワードを入力▶[次へ]

[パスワードを保存する]のチェックをオンにしてから**[次へ]**を選択すると、次からパスワードの入力が不要になります。

Windows Live IDまたはHotmailのアカウントをお持ちでない場合は、**[Windows Live IDの新規作成]**を選択し、画面の指示に従ってWindows Live IDを新規登録してください。

4 Today画面にWindows Liveを表示する場合は[Windows Liveサービス]のチェックをオンにする▶[次へ]

5 H-21と同期させる項目を選択▶[次へ]

[Windows Liveの知り合いの連絡先情報を携帯電話のアドレス帳に保存する]のチェックをオンにすると、Windows Liveの連絡先情報がH-21とWindows Liveの両方に保存されます。

[重複する連絡先情報を結合する]のチェックをオンにすると、H-21とWindows Liveの重複している連絡先情報が1つに結合されます。

[電子メールを同期する]のチェックをオンにすると、Windows LiveメールまたはHotmailの受信トレイのメッセージがH-21にダウンロードされ、同期させることができます。

[次へ]を選択すると、同期が開始されます。

6 [完了]

Windows Liveのメイン画面が表示されます。

Messengerを利用する

パソコンのWindows Live™ Messengerと同様に文字や音声のインスタントメッセージを送受信したり、複数のユーザーと会話することなどができます。

1 [スタート]▶[Messenger]▶[サインイン]

2 ご利用のWindows Live IDとパスワードを入力▶[サインイン]

[パスワードを保存する]のチェックをオンにしてから**[サインイン]**を選択すると、次からパスワードの入力が不要になります。
サインインすると、Windows Live™ Messengerのメイン画面が表示されます。

おしらせ

- Windows Live™ Messengerのサービスを利用するには、Windows Live IDでサインインする必要があります。Windows Live IDをお持ちでない場合は、「Windows Liveを利用する」(P.131)を参照してWindows Live IDを新規登録してください。

Microsoft My Phoneを利用する

Microsoft My Phoneは、マイクロソフト社が提供しているオンラインのデータ保存サービスです。
H-21に保存されている連絡先や、予定表、仕事、SMSメッセージ、音楽、写真、ビデオ、その他の**[My Documents]**フォルダー内のドキュメントをMicrosoft My Phoneのオンライン上の保存領域と同期させることができます。

1 [スタート]▶[Microsoft My Phone]▶[次へ]

2 [Microsoft My Phoneプライバシーに関する声明と Microsoft My Phoneサービス利用規約]▶[承諾]

3 ご利用のWindows Live IDとパスワードを入力▶[サインイン]

[パスワードを保存する]のチェックをオンにしてから**[サインイン]**を選択すると、次からパスワードの入力が不要になります。また、自動同期を利用する場合は、チェックをオンにする必要があります。
Windows Live IDをお持ちでない場合は、**[Windows Live IDの新規作成]**を選択し、画面の指示に従ってWindows Live IDを新規登録してください。

4 [次へ]▶同期の方法として[自動]または[手動]を選択▶[次へ]

[手動]を選択した場合は、同期する項目を選択し、**[次へ]**を選択してください。

5 [完了]

同期が開始されます。

Marketplaceを利用する

Windows Marketplace for Mobileでお好みのアプリケーションを探して、H-21にインストールできます。有料のアプリケーションについては、その場で購入することができます。

1 [スタート]▶[Marketplace]

2 規約とMicrosoftオンラインプライバシーに関する声明を読む▶[承諾]

Marketplaceのメイン画面が表示されます。
アプリケーションを選択し、画面の指示に従ってインストールしてください。

おしらせ

● アプリケーションをインストールするには、Windows Live IDでサインインする必要があります。Windows Live IDをお持ちでない場合は、Windows Live IDサインイン画面が表示されたら**[Windows Live IDの新規作成]**を選択し、画面の指示に従ってWindows Live IDを新規登録してください。

MSN天気予報を利用する

日本や世界各地の天気予報を確認できます。

1 [スタート]▶[MSN 天気予報]

2 [続行]

市町村の一覧が表示されます。

3 市町村を選択

選択した市町村の週間天気予報などが表示されます。

おしらせ

● **[今後表示しない]**のチェックをオンにしてから**[続行]**を選択すると、MSN天気予報の起動時に確認メッセージが表示されなくなります。

● 一覧に市町村を追加するには、**[メニュー]▶[設定]▶[市町村の追加＋]**▶市町村名をローマ字で入力▶**[検索]**▶追加する市町村の**[＋]**を選択▶**[完了]**と操作します。

MSNマネーを利用する

MSNマネーを利用すると、世界のマーケット情報をリアルタイムで確認できます。

1 [スタート]▶[MSNマネー]

データ通信の使用に関する確認メッセージが表示されます。

2 [続行]

Nikkei 225(日経平均株価)などのマーケット情報が表示されます。

おしらせ

● **[今後表示しない]**のチェックをオンにしてから**[続行]**を選択すると、MSNマネーの起動時に確認メッセージが表示されなくなります。

検索ウィジェットで検索する

Microsoft社が提供する検索サービス「Bing」を利用して、インターネットを検索できます。

1 [スタート]▶[検索ウィジェット]

2 検索したい文字列を入力▶[検索]

インターネットへ情報を送信するか確認するメッセージが表示されます。**[今後、このメッセージを表示しない]**のチェックをオンにしてから**[はい]**を選択すると、インターネットへ情報を送信するときに、確認メッセージが表示されなくなります。

3 [はい]

Internet Explorerが起動して、Webや画像、ニュース、地図などの種類ごとに検索結果が表示されます。

おしらせ

● 詳しい操作方法については、Bingのヘルプを参照してください。

ゲームで遊ぶ

2種類のゲームがあらかじめ用意されています。

1 [スタート]▶[ゲーム]

2 アイコンを選択

Bubble Breaker	泡(Bubble)を消して遊ぶパズルゲームです。
ソリティア	1人で遊ぶことのできるカードゲームです。

JBlendを利用する

JBlendは、Javaアプリケーションを動作させるための実行環境です。

Javaアプリケーションをインストールする

1 [スタート]▶[JBlend]▶[インストール]

2 メニューを選択

ダウンロード	Internet Explorer Mobileが起動します。Javaアプリケーションを検索して、ダウンロードできます。
アプリを探す	本体メモリやmicroSDメモリカード内のJavaアプリケーションを検索してインストールできます。 Javaアプリケーションの一覧が表示されたら、インストールするJavaアプリケーションを選択します。インストールするかどうか確認する画面が表示されたら、表示内容を確認した上で**[はい]**を選択します。続けて**[はい]**を選択すると、インストールしたJavaアプリケーションが起動します。

Javaアプリケーションを起動する

1 [スタート]▶[JBlend]

2 Javaアプリケーションを選択

選択したJavaアプリケーションが起動します。

3 [終了]

Javaアプリケーションが終了します。

JBlendのメニューを利用する

1 [スタート]▶[JBlend]▶[メニュー]

2 メニューを選択

アプリ	JBlendにインストールしたJavaアプリケーションの削除、名前の変更、パーミッションの変更、情報の表示などができます。
Java設定	Javaアプリケーションが使用するネットワークを選択できます。
JBlendについて	MIDPバージョン、ビルド番号、利用可能なJSRが表示されます。
終了	JBlendを終了します。

リモートデスクトップモバイルを利用する

離れた場所にあるWindowsパソコンの画面をH-21の画面に表示して遠隔操作することができます。

パソコンに接続してデスクトップを表示する

1 [スタート]▶[リモートデスクトップモバイル]

2 コンピューター名、ユーザー名、パスワード、ドメインを入力▶[接続]

入力したパスワードを保存しておく場合は、**[パスワードの保存]**のチェックをオンにします。

接続に成功すると、H-21の画面にパソコンの画面が表示されます。

3 パソコンをH-21から操作する

[全画面表示]を選択すると、全画面にパソコンの画面が表示されます。左右どちらかの□(ソフトキー)を押すと、元の画面に戻ります。

4 [切断]

おしらせ

- 接続する際に必要なコンピューター名、ユーザー名、パスワード、ドメインについては、社内のシステム管理者にお問い合わせください。
- リモートデスクトップモバイルで接続される側のパソコンで接続を許可する設定にしておく必要があります。設定については、社内のシステム管理者にお問い合わせください。

オプションを設定する

1 [スタート]▶[リモートデスクトップモバイル]▶[オプション]

2 タブを選択

表示	色数やリモートデスクトップ画面の表示方法を設定できます。
リソース	デバイスの保存スペースをリモートマシンにマップするかどうかや、リモートデスクトップの操作音をどこから出力するかを設定できます。

3 [OK]

バックアップマネージャーを利用する

[My Documents]フォルダー内のファイル、仕事の登録内容、連絡先の登録内容、予定表の登録内容をまとめてバックアップできます。

おしらせ

- バックアップファイルは、microSDメモリカードに保存することをおすすめします。
- 本体メモリにバックアップファイルを保存した場合は、バックアップファイルをパソコンなどにコピーしておくことをおすすめします。

完全バックアップをする

完全バックアップを実行すると、[My Documents]フォルダー内のすべてのファイル、仕事の登録内容、連絡先の登録内容、予定表の登録内容がバックアップされます。

1 **[スタート]▶[バックアップマネージャー]▶[完全バックアップ]**

2 **必要に応じて設定を変更**

ファイル名:	バックアップファイルの名前を入力します。 • 初期値のファイル名“Backup_XX_XX_XXXX”を変更できます。 • “XX_XX_XXXX”の部分は、現在の月、日、西暦です。
ファイル名自動設定	選択すると、“Backup_XX_XX_XXXX”が**[ファイル名:]**に入力されます。
フォルダー:	バックアップファイルの保存場所のフォルダーを指定します。 • **[Select...]**を選択すると、任意のフォルダーを選択できます。

3 **[バックアップ]▶[OK]▶[OK]▶[オプション]▶[終了]**

カスタムバックアップをする

バックアップする項目を選択してバックアップできます。

1 **[スタート]▶[バックアップマネージャー]▶[カスタムバックアップ]**

2 **必要に応じて設定を変更**

バックアップしたい項目の選択:	バックアップする項目のチェックをオンにします。
ファイル名:	バックアップファイルの名前を入力します。 • 初期値のファイル名“Backup_XX_XX_XXXX”を変更できます。 • “XX_XX_XXXX”の部分は、現在の月、日、西暦です。
ファイル名自動設定	選択すると、“Backup_XX_XX_XXXX”が**[ファイル名:]**に入力されます。
フォルダー:	バックアップファイルの保存場所のフォルダーを指定します。 • **[Select...]**を選択すると、任意のフォルダーを選択できます。

3 **[バックアップ]▶[OK]▶[OK]▶[オプション]▶[終了]**

バックアップファイルからリストアする

1 **[スタート]▶[バックアップマネージャー]▶[リストア]**

2 **[リストアするバックアップファイル:]にバックアップファイルのファイル名(パスを含む)を入力**

[...]を選択すると、フォルダーの一覧を表示して、バックアップファイルを選択できます。

3 **[リストア]**

リストアが成功すると、リセット(再起動)が必要な旨のメッセージが表示されます。**[はい]**を選択すると、H-21がリセット(再起動)されます。

端末の設定／管理

画面や音に関する設定

Today画面を設定する［Today］

Today画面やスタートメニューの背景に表示される画像を選択したり、Today画面に表示する項目を選択できます。

1 **［スタート］▶［設定］▶［Today］**

2 **タブを選択**

デザイン	**［デバイスのテーマを選択:］**からテーマを選択すると、そのテーマがToday画面やスタートメニューの背景に表示されます。 **［この画像を背景に使用する:］**のチェックをオンにした後で、**［参照］**を選択してH-21に保存されている画像を選択すると、その画像がToday画面やスタートメニューの背景に表示されます。
アイテム	アイテムのチェックをオンにすると、Today画面に表示されます。 ・**［Windows標準］**とそれ以外のアイテムを同時にオンにすることはできません。 ・**［上へ移動］**または**［下へ移動］**を選択してアイテムの位置を変更すると、Today画面に表示される位置も変更されます。 ・アイテムによっては、**［オプション］**を選択することで表示内容を設定できます。 ・**［［Today］画面の表示:］**のチェックをオンにして時間を選択すると、H-21を使用せずに選択した時間が経過したとき、Today画面が表示されます。

3 **［OK］**

バックライトを設定する［バックライト］

無操作が続いた場合にバックライトを消灯する設定にしたり、バックライトの明るさを暗くすると、電池を節約することができます。

1 **［スタート］▶［設定］▶［システム］▶［バックライト］**

2 **タブを選択**

バッテリ	電池パックを電源として使用しているときのバックライトの点灯を設定します。 無操作が続いた場合に画面のバックライトを消灯するには、**［バックライトを消すまでのアイドル時間］**のチェックをオンにして、消灯するまでの時間を選択します。 ・**［ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける］**のチェックをオフにすると、バックライトが消灯した後で、キーを押したり、画面をタップしてもバックライトが点灯しなくなります。
外部電源	外部電源を使用しているときのバックライトの点灯を設定します。 設定できる項目は、**［バッテリ］**タブと同様です。

バックライト輝度	[画面の明るさを自動的に調整する]のチェックをオフにして、バッテリ使用時または外部電源使用時のスライダーを左右に動かすと、バックライトの明るさを調節できます。 • [画面の明るさを自動的に調整する]のチェックをオンにした場合は、手動で明るさを調整できません。照度センサーで外部の明るさを感知して自動的にバックライトの明るさが調整されます。

3 [OK]

タッチパネルディスプレイを調整する［画面］

画面をタップしたときに正しく応答しない場合は、タッチパネルディスプレイを調整します。

1 [スタート]▶[設定]▶[システム]▶[画面]

2 [配置]タブを選択▶[画面の補正]

3 画面の中心、左上、左下、右下、右上、上、下に次々と表示される＋をタップする

4 [OK]

文字のサイズを変更する［画面］

画面の表示に使用する文字のサイズを変更できます。

1 [スタート]▶[設定]▶[システム]▶[画面]

2 [文字サイズ]タブを選択▶スライダーを左右に動かす

3 [OK]

電話の着信音を設定する［電話］

音声着信時の着信音や、ダイヤル時のキー操作音を設定できます。

1 [スタート]▶[設定]▶[個人]▶[電話]

2 [電話]タブを選択▶設定を変更

着信パターン:	バイブレーターを振動させるかどうかなど、着信音を鳴らすパターンを選択します。
着信音:	着信音を選択します。
キーパッド:	ダイヤル時にキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。

3 [OK]

音と通知を設定する［音と通知］

効果音の有無や、イベントの通知を設定できます。

1 [スタート]▶[設定]▶[音と通知]

2 タブを選択

サウンド	警告やシステムイベント、アラーム、予定などの通知があったとき、画面をタップしたとき、キーを押したときに、効果音を鳴らすかどうかを設定します。それぞれの項目のチェックをオフにすると、音が鳴らなくなります。

通知	電話の着信やアラームなど、イベントごとに音やバイブレーターなどの詳細な設定ができます。 最初に**[イベント:]**で設定するイベントを選択した後で、個別の設定を行います。

3 **[OK]**

時計とアラームを設定する［時計とアラーム］

1 **[スタート]▶[設定]▶[時計とアラーム]**

2 **タブを選択**

時刻	日付と時刻の設定を行います。 • 日本国内で使用する場合は、**[現在地]**のタイムゾーンを**[GMT+9 東京、大阪]**に設定してください。 • **[訪問先]**を選択してタイムゾーンを選択すると、選択したタイムゾーンの時刻がWindows Mobileで使用されます。 • パソコンと接続して同期させると、H-21の時刻はパソコンの時刻に同期します。
アラーム	最大3件のアラームを設定できます。 • チェックをオンにすると、アラームが有効になります。 • 曜日をタップすると、アラームを鳴らす曜日を選択できます。 • **[<アラームの詳細>]**を選択すると、編集できます。 • を選択すると、アラーム音を設定できます。 • 時刻をタップすると、アラームを鳴らす時刻を設定できます。
その他	**[すべてのプログラムのタイトルバーに時計を表示する]**のチェックをオンにすると、画面の右上に時刻が表示されます。 **[デバイスがサイレントまたはバイブに設定されていてもアラーム音を再生する]**のチェックをオンにすると、電話モードの設定に関わらずアラーム音が鳴ります。

3 **[OK]**

おしらせ

● H-21の電源を切っている間にアラームを設定した時刻になった場合は、電源は切れたままでアラームは鳴りません。

キー操作や入力に関する設定

キーバックライトの点灯を設定する［キーバックライト］

1 **[スタート]▶[設定]▶[システム]▶[キーバックライト]**

2 **設定を変更**

キーバックライトを点灯にする	チェックをオンにすると、キーを押したときにキーバックライトが点灯します。
点灯時間	キーを押したときのバックライトの点灯時間を**[1秒]**～**[10秒]**から選択します。

3 **[OK]**

入力の設定をする［入力］

1 **［スタート］▶［設定］▶［個人］▶［入力］**

2 **タブを選択**

入力方法	**［入力方法:］**で入力方法を選択して**［オプション...］**を選択すると、その入力方法について設定できます。 ・**［ひらがな／カタカナ］**または**［ローマ字／かな］**を選択して**［オプション...］**を選択すると、Microsoft IME辞書ツールで単語の登録や編集ができます。 ※ 日本語入力システムとしてiWnnIMEを使用している場合は、iWnnIMEの辞書ツールで単語を登録してください。登録方法については、「ユーザー辞書に変換候補を登録する」(P.66)を参照してください。 ・**［手書き検索］**を選択して**［オプション...］**を選択すると、利き手を左手に設定できます。 ・**［手書き検索］**を選択して**［オプション...］**を選択すると、利き手や、入力ボックス、タイムアウトなどを設定できます。
オプション	録音時の録音形式や、既定ズームの設定などができます。

3 **［OK］**

ボタン操作を設定する［ボタン］

1 **［スタート］▶［設定］▶［個人］▶［ボタン］**

2 **タブを選択**

プログラムボタン	**＜Numericキーモデルの場合＞** F1～F4、Q1 または Q2 に特定の動作やプログラムの起動を割り当てることができます。 **［1.ボタンの選択:］**の**［F1］**～**［F4］**、**［Q1］**または**［Q2］**を選択した後、**［2.プログラムの割り当て:］**で特定の動作やプログラムを選択します。 **＜QWERTYキーモデルの場合＞** F1 または F2 に特定の動作やプログラムの起動を割り当てることができます。 **［1.ボタンの選択:］**の**［F1］**または**［F2］**を選択した後、**［2.プログラムの割り当て:］**で特定の動作やプログラムを選択します。
上／下 コントロール	上／下コントロールを使った操作の**［移動開始までの待ち時間:］**と**［移動速度:］**を設定します。
その他	**［音量ボタン:］**では、◁ VOL ▷ の機能を**［音量アップ／音量ダウン］**、**［前ページ／次ページ］**、**［なし］**から選択できます。 **［カメラボタンでカメラを起動する］**のチェックをオンにすると、◎ を押すことでカメラが起動できるようになります。

その他	<Numericキーモデルの場合> [プログラムボタンで端末を起動する]のチェックをオンにすると、、、、、、、(サイドトリガーキー)を押すことでスリープモードから復帰させることができるようになります。 <QWERTYキーモデルの場合> [プログラムボタンで端末を起動する]のチェックをオンにすると、、、～、、、、、(サイドトリガーキー)を押すことでスリープモードから復帰させることができるようになります。

3 **[OK]**

GPSに関する設定

A-GPS機能を設定する［A-GPS設定］

H-21では、内蔵されたGPSを使用して、現在地の確認や目的地までのルート検索を行うことができます。GPSの動作はアプリケーションにより制御されます。A-GPS機能を利用すると、GPSによる位置決定の時間を短縮することができます。

A-GPS機能を有効にするには、次の操作で**[A-GPS設定]**の**[A-GPS機能を有効にする]**のチェックをオンにしてください。

A-GPS機能をオフにすると、スタンドアロンGPSとしてもお使いいただけます。

1 **[スタート]▶[設定]▶[システム]▶[A-GPS設定]**

2 **[A-GPS機能を有効にする]のチェックをオンまたはオフにする**

[A-GPS機能を有効にする]のチェックをオンにすると、アシスト情報を利用してGPSによる位置決定の時間を短縮することができます。

3 **[OK]**

おしらせ

- 電話が利用できない場合、A-GPS機能は無効です。電話を使用しない場合、**[A-GPS機能を有効にする]**のチェックをオフにしてください。

外付けGPSを設定する［外付けGPS］

H-21に外付けのGPSデバイスを接続する場合の設定です。必要な設定については、GPSデバイスに付属している取扱説明書を参照してください。

1 **[スタート]▶[設定]▶[システム]▶[外付けGPS]**

2 **タブを選択**

プログラム	プログラムがGPSデバイスからGPSデータを取得するポートを選択します。
ハードウェア	GPSデバイスを接続するハードウェアポートを指定します。ボーレートも選択できます。
アクセス	Windows MobileがGPSデバイスへのアクセスを管理し、複数のプログラムが同時にGPSデータを取得できるようにします。 ・**[GPSを自動的に管理する(推奨)]**のチェックをオフにすると、一部のプログラムでGPSデータを取得できなくなる場合があります。

3 **[OK]**

セキュリティに関する設定

PINコードの入力を必要にする［電話］

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、お客様ご自身で番号を変更できます。
PIN1コードは、第三者によるH-21の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付ける、またはH-21の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能になります。
PIN2コードは、ユーザー証明書利用時や発行申請などに使用する4～8桁の暗証番号です。

※ H-21ではPIN2コードを使用する機能はありません。

1 ［スタート］▶［設定］▶［個人］▶［電話］

2 ［セキュリティ］タブを選択

3 ［電話使用時に暗証番号（PIN）を要求］のチェックをオンにする

4 現在のPIN1コードを入力▶［入力］

おしらせ

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■PINロック解除コード（PUK）について

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードを入力してPINロックを解除した後は、新しいPIN1コード（暗証番号）を入力して設定します。
- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、FOMAカードがロックされます。
- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違える前にドコモのインフォメーションセンター（0120-800-000）にお問合せください。
- もし、10回間違えてロックされた場合は、必要書類をインフォメーションセンターでご確認の上、ドコモショップ窓口にてご相談ください。

PINコードを変更する［電話］

1 ［スタート］▶［設定］▶［個人］▶［電話］

2 ［セキュリティ］タブを選択

3 ［暗証番号の変更］または［暗証番号2の変更］を選択

PIN1コードを変更する場合は**［暗証番号の変更］**を選択します。
PIN2コードを変更する場合は**［暗証番号2の変更］**を選択します。

4 現在のPINコードを入力▶[入力]

5 新しいPINコードを入力▶[入力]▶もう一度新しいPINコードを入力▶[入力]

デバイスロックを設定する[ロック]

デバイスロックを解除する際にパスワードの入力を必要にすることができます。

1 [スタート]▶[設定]▶[ロック]

2 タブを選択

パスワード	パスワードの入力を必要にするには、**[パスワード入力が必要になるまでの時間]**のチェックをオンにして、無操作が続いた場合にデバイスがロックされるまでの時間を選択します。 その後で**[パスワードの種類]**で**[数字の簡易パスワード]**または**[強力な英数字のパスワード]**を選択して、**[パスワード]**欄と**[確認入力]**欄に同じパスワードを入力します。 ・**[0分]**を選択した場合は、無操作で約1分経過するか、スリープモードになるとロックされます。 ・**[パスワードの種類]**で**[数字の簡易パスワード]**を選択した場合は、0～9の数字のみを使用するパスワードを設定できます。 ・**[パスワードの種類]**で**[強力な英数字のパスワード]**を選択した場合は、大文字と小文字、数字、および,(コンマ)や.(ピリオド)などの記号を使用したパスワードを設定できます。 ・**[パスワードの種類]**で**[強力な英数字のパスワード]**を選択した場合は、**[画面]**タブでロック解除画面のスタイルを選択することはできません。ロックされた場合は、英数字のパスワードを入力する画面が表示されます。
ヒント	パスワードを忘れた場合に備えてヒントを入力できます。 ・ヒントは、パスワードを5回間違えて入力すると表示されます。
画面	ロック解除画面のスタイルを**[Windows標準]**と**[Windowsクラシック]**から選択できます。 ・設定の変更を有効にするには、設定後にH-21をリセット(再起動)する必要があります。リセット(再起動)するか確認するメッセージが表示された場合は、**[はい]**を選択してリセット(再起動)してください。

3 [OK]

おしらせ

- **[パスワード入力が必要になるまでの時間]**のチェックをオンにした場合、電源を入れたときや、リセット(再起動)したとき、デバイスロックの設定を行うときもパスワードの入力が必要になります。
- **[スタート]▶[ロック]**と操作しても、ロックできます。
- Numericキーモデルの場合は、[0]を押し続けてもロックできます。
- QWERTYキーモデルの場合は、[Fn]を押した後で[P]を押してもロックできます。
- ロックされた状態でも、電話を受けたり、メールを受信することができます。
- デバイスロックのパスワードを忘れてしまいロックを解除できなくなった場合は、オプトエレクトロニクス社サポート窓口(http://www.opto.co.jp/products/support/h-21/またはE-mail:h-21_tecinfo@opto.co.jp)までお問い合わせください。

■デバイスロックを解除するには(Windows標準)

ロック解除画面のスタイルが**[Windows標準]**の場合は、を右または左に画面の外側へスライドさせます。その後でパスワードを入力して をタップします。

- の代わりに をタップした場合は、ロックが解除された後、連絡先の一覧が表示されます。
- の代わりに をタップした場合は、ロックが解除された後、メールのアカウント選択画面が表示されます。
- 不在着信や新着メールなどの通知がある場合は、のように数字が表示されます。をタップすると、通知の種類ごとにアイコンが表示されます。そのアイコンを右または左に画面の外にスライドさせ、ロックを解除すると、通知のある情報を確認できます。

■デバイスロックを解除するには(Windows クラシック)

ロック解除画面のスタイルが**[Windows クラシック]**の場合は、パスワードを入力して**[ロックの解除]**を選択します。

ファイルを暗号化してmicroSDメモリカードに保存する［暗号化］

microSDメモリカードにファイルを保存するときに、自動的に暗号化して保存できます。暗号化されたファイルは、ご使用のH-21以外の機器では一切読み出すことができなくなります。

1 **[スタート]▶[設定]▶[システム]▶[暗号化]**

2 **[メモリカード内のファイルを暗号化する]のチェックをオンまたはオフにする▶[OK]**

おしらせ

- ご使用のH-21が出荷時の状態に戻されると、microSDメモリカード内の暗号化されたファイルを一切読み出すことができなくなります。

端末の管理

オーナー情報を登録する［オーナー情報］

お客様の個人情報を登録できます。H-21の電源を入れたときにオーナー情報を表示するかどうかも設定できます。

1 **[スタート]▶[設定]▶[個人]▶[オーナー情報]**

2 **タブを選択**

オーナー情報	名前、勤務先、住所、電話番号、電子メールアドレスを入力できます。
メモ	メモを自由に入力できます。
オプション	**[オーナー情報]**のチェックをオンにすると、H-21の電源を入れたときにオーナー情報が表示されます。 **[メモ]**のチェックをオンにすると、H-21の電源を入れたときにメモが表示されます。

3 **[OK]**

デバイス名を変更する［バージョン情報］

H-21を識別するためのデバイス名を変更できます。デバイス名は、他の携帯電話やパソコンなどと接続したときに表示されます。

1 **［スタート］▶［設定］▶［システム］▶［バージョン情報］**

2 **［デバイスID］タブを選択**

3 **［デバイス名:］欄のデバイス名を変更▶［OK］**

おしらせ

● 必要に応じて**［説明:］**欄に説明を入力することもできます。

バージョン情報を確認する［バージョン情報］

Windows Mobileのバージョン情報などを確認できます。

1 **［スタート］▶［設定］▶［システム］▶［バージョン情報］**

2 **［バージョン］タブを選択**

バージョンなどの情報が表示されます。

地域を設定する［地域］

地域を変更すると、選択した地域に適した形式で数値、通貨、時刻、日付などが表示されます。

1 **［スタート］▶［設定］▶［システム］▶［地域］**

2 **地域を選択▶［OK］▶［OK］**

おしらせ

● **［数値］**、**［通貨］**、**［時刻］**、**［日付］**タブで形式、単位、記号などを個別に設定することもできます。
● 設定の変更を有効にするには、設定後にH-21をリセット（再起動）する必要があります。

電話のネットワークとモードを確認する［電話］

1 **［スタート］▶［設定］▶［個人］▶［電話］**

2 **タブを選択**

ネットワーク	電話やデータ通信に使用するネットワークが表示されます。 ・日本国内でH-21を使用する場合、設定を変更する必要はありません。 ・日本国内でH-21を使用する場合、**［ネットワーク選択］**では**［自動］**が選択されている必要があります。
モード	電話やデータ通信に使用するモードを選択できます。 ・日本国内でH-21を使用する場合、設定を変更する必要はありません。 ・日本国内でH-21を使用する場合、**［自動］**または**［3G］**が選択されている必要があります。

3 **［OK］**

パワーマネージメントを設定する［パワーマネージメント］

電池パックの詳細な充電残量を確認できます。また、一定時間操作をしないとき、自動的にスリープモードにするかどうかを設定できます。

1 **［スタート］▶［設定］▶［パワーマネージメント］**

2 **タブを選択**

バッテリ	**［メインバッテリ］**には、電池パックの残量が表示されます。表示が100%に近いほど残量が多く、使用可能時間が長いことを示します。 ・残量の表示は目安です。H-21を使用している環境や、使用している機能によっては、**［メインバッテリ］**の表示にある程度残量があっても、電池残量不足の警告メッセージが表示されたり、確認用LED2が赤色で点滅したり、電池切れで使用不可能になる場合があります。 ・**［バックアップバッテリ］**に**［正常］**と表示されている場合は、バックアップバッテリの充電が十分であるため、RAMデータを保持したままバックアップバッテリを交換できます。**［少ない］**と表示されている場合は、バックアップバッテリの充電が不十分であるため、電池パックの交換は行わないでください。
詳細設定	バッテリ使用時と外部電源使用時のそれぞれについて、一定時間操作をしないとき、スリープモードにするかどうかを設定します。 スリープモードにする場合は、それぞれの**［次の時間経過後、電源を切る］**のチェックをオンにして、スリープモードにするまでの時間を選択します。 ・スリープモードの詳細については、「スリープモードにする」(P.54)を参照してください。

3 **［OK］**

おしらせ

- 画面下部の**［バックライト］**をタップすると、バックライトの設定画面が表示されます。
- 画面下部の**［ビーム］**をタップすると、ビームの設定画面が表示されます。**［すべての着信ビームを受信する］**のチェックをオフにすると、電池を長持ちさせることができます。

メモリの使用状況を確認する［メモリ］

1 **［スタート］▶［設定］▶［システム］▶［メモリ］**

2 **タブを選択**

メイン	H-21本体のプログラム実行用メモリとデータ記憶用メモリの使用状況が表示されます。
メモリカード	H-21に取り付けられたmicroSDメモリカードの容量や、使用状況などが表示されます。

3 **［OK］**

おしらせ

- プログラム実行用メモリの空き領域が極端に少なくなると、H-21の動作が遅くなったり、動作が不安定になることがあります。その場合は、タスクマネージャーで実行中のプログラムを終了してください。
- データ記憶用メモリの空き領域が極端に少なくなると、データの登録やファイルの操作などができなくなることがあります。その場合は、不要なファイルやプログラムを削除して、空き領域を増やしてください。
- 画面下部の**[検索]**をタップすると、ファイルを検索する画面が表示されます。続けて**[検索]**を選択すると、64KBより大きいファイルが検索され、一覧が表示されます。

プログラムを削除する［プログラムの削除］

後からインストールしたアプリケーションプログラムを削除することができます。

1 **[スタート]▶[設定]▶[システム]▶[プログラムの削除]**

削除できるプログラムの一覧が表示されます。

2 **プログラムを選択▶[削除]▶[はい]**

おしらせ

- あらかじめインストールされているプログラムは削除できません。

カスタマーフィードバックを設定する［カスタマーフィードバック］

Windows Mobileの品質向上のために、Windows Mobileの使用状況をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定します。

1 **[スタート]▶[設定]▶[システム]▶[カスタマーフィードバック]**

2 **[フィードバックを送信する(推奨)]または[フィードバックを送信しない]を選択▶[OK]**

おしらせ

- 情報の送信は、ワイヤレスLAN、Windows Mobileデバイスセンターまたは ActiveSync を通じて行われます。

エラー報告を設定する［エラー報告］

重大なエラーが発生した場合に、端末やプログラムの状態に関する技術情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定します。

1 **[スタート]▶[設定]▶[システム]▶[エラー報告]**

2 **[エラー報告を有効にする(推奨)]または[エラー報告を無効にする]を選択▶[OK]**

おしらせ

- エラー発生時の情報の送信は任意です。送信された情報はマイクロソフト社によって機密情報として扱われます。

電子証明書を確認する［証明書］

H-21にインストールされている電子証明書の情報を確認できます。

1 **［スタート］▶［設定］▶［システム］▶［証明書］**

2 **［個人］、［中間］、［ルート］タブのいずれかを選択**

3 **証明書を選択**

証明書の詳細が表示されます。

4 **［OK］▶［OK］**

おしらせ

- 証明書によっては、削除できるものがあります。削除するには、一覧で証明書をタップしたまま押さえると表示されるメニューで**［削除］**を選択します。

無線LANのMACアドレスなどを確認する［デバイスインフォメーション］

1 **［スタート］▶［設定］▶［システム］▶［デバイスインフォメーション］**

2 **タブを選択**

デバイスインフォメーション	無線LANのMACアドレスやBluetoothアドレスなどが表示されます。
バージョン	ROMバージョンなどの情報が表示されます。

3 **［OK］**

管理プログラムのインストール履歴を確認する［管理プログラム］

社内のシステム管理者などによってインストールされた管理プログラムのインストール履歴を確認できます。

1 **［スタート］▶［設定］▶［システム］▶［管理プログラム］**

インストール履歴の一覧が表示されます。

2 **インストール履歴を選択▶［詳細］**

インストール履歴の詳細が表示されます。

付録／困ったときは

困ったときは

次の表に目を通して、症状が一致する場合は、対処方法の操作を試してください。

症状	対処方法
電源が入らない	本体上部の ⏻ を短く押していますか？ ➡「各部の名称と機能」(P.25) ➡「電源を入れる／切る」(P.40)
	電池パックは、十分充電されていますか？ ➡「充電する」(P.36)
	電池パックは、正しく取り付けられていますか？ ➡「電池パックを取り付ける」(P.31)
	電池パックカバーは、ロックされていますか？ ロックされていないと電源は入りません。 ➡「電池パックを取り付ける」(P.31)
電源が切れない	本体上部の ⏻ を5秒以上押していますか？ ➡「電源を入れる／切る」(P.40)
	電池パックカバーは、ロックされていますか？ ロックされていないと電源は切れません。 ➡「電池パックを取り付ける」(P.31)
	キー操作や、タッチパネルディスプレイの操作に反応しますか？ 反応しない場合は、リセット(再起動)してください。 ➡「リセット(再起動)する」(P.55)
電話をかけられない、受けられない	FOMAカードは取り付けられていますか？ ➡「FOMAカードを取り付ける」(P.33)
	FOMAカードは正しく取り付けられていますか？ FOMAカードを取り付けていても、タイトルバーに↩が表示されている場合は、正しく取り付けられていません。 ➡「FOMAカードを取り付ける」(P.33) ※ 正しく取り付けられていてもFOMAカードが認識されない場合は、一度H-21の電源を切り、再び電源を入れてください。
	電話機能は、オンになっていますか？ ➡「電話・通信機能のオン／オフを切り替える」(P.53)
	電波状態は良好ですか？ 電波状態が悪い場合は、場所を移動してください。 ➡「電波状態や通信状態を示すアイコン」(P.49) ※ 電波状態を示すアイコンが Y でも、電波の性質により、発信や着信ができない場合があります。その場合は、場所を移動してください。 ※ 多くの人が集まる場所では、電波が混み合い、つながりにくくなる場合があります。その場合は、場所を移動するか、時間をずらして電話をかけてください。
	電話モードが公共モード(ドライブモード)に設定されていませんか？ 公共モード(ドライブモード)では、着信の動作は行われません。 ➡「電話モード(マナーモード)を設定する」(P.73)

症状	対処方法
通話中の相手の声が聞き取りにくい	通話中に ◁ ▷ を押すと、音量を調節できます。 ➡「通話中に相手の声の音量を調節する」(P.72)
	受話口は正しく耳に当たっていますか？ ➡「各部の名称と機能」(P.25)
H-21の動作が遅くなった	同時に数多くのアプリケーションを起動していませんか？ 不要なアプリケーションはタスクマネージャーで終了してください。 ➡「アプリケーションを終了する」(P.52)
	正常に動作していないアプリケーションはありませんか？ その場合は、正常に動作していないアプリケーションを終了してください。 ➡「アプリケーションを終了する」(P.52)
	業務アプリケーションなどで負荷の大きい処理を行っていませんか？ その場合は、業務アプリケーションなどの処理が終了するまでお待ちください。
H-21が反応しない	キー操作や、タッチパネルディスプレイの操作に反応しますか？ 反応しない場合は、リセット(再起動)してください。 ➡「リセット(再起動)する」(P.55)
音が鳴らない	音量のレベルが0になっていませんか？ ➡「音量を調節する」(P.53)
	電話モードがマナーモードや、サイレントモード、公共モード(ドライブモード)に設定されていませんか？ ➡「電話モード(マナーモード)を設定する」(P.73)
	[音と通知]の設定が、音の鳴らない設定になっていませんか？ ➡「音と通知を設定する［音と通知］」(P.138)
タッチパネルディスプレイが消えてしまう	一定時間操作をしないとき、自動的にスリープモードになる設定になっていませんか？ ➡「パワーマネージメントを設定する［パワーマネージメント］」(P.146)
タッチパネルディスプレイが暗くなる	一定時間操作をしないとき、バックライトを消灯する設定になっていませんか？ ➡「バックライトを設定する［バックライト］」(P.137)
コードをスキャンできない	バーコードリーダーを有効に設定していますか？ ➡「バーコードリーダーを設定する」(P.119)
	トリガーキーを有効に設定していますか？ ➡「バーコードリーダーを設定する」(P.119)
	正しい方法で読み取りの操作を行っていますか？ ➡「一次元バーコードモデルの使いかた」(P.121) ➡「二次元コード対応モデルの使いかた」(P.122)
電池パックカバーを取り外せない	スライドロックスイッチとロータリーロックスイッチは両方とも解除されていますか？ ➡「電池パックを取り付ける」(P.31)
電池パックカバーをはめ込めない	スライドロックスイッチとロータリーロックスイッチは両方とも解除されていますか？ 電池パックカバーを本体にはめ込むには、ロックが両方とも解除されている必要があります。 ➡「電池パックを取り付ける」(P.31)
FOMA カードのソケットが引き起こせない	ソケットのロックは解除されていますか？ ➡「FOMA カードを取り付ける」(P.33)

症状	対処方法
microSDメモリカードスロットカバーが開かない	microSDメモリカードスロットカバーのロックは解除されていますか？ お買い上げ時は、microSDメモリカードスロットカバーが開かないようにロックされています。 ➡「microSDメモリカードスロットカバーのロックを解除する」(P.43)

H-21から利用できる電話サービス

番号案内サービス(有料:案内料+通話料) ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	(局番なし)104
電報の発信(有料:電報料)	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171
コレクトコール(有料:案内料+通話料)	(局番なし)106

おしらせ

- コレクトコール(106)をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円(税込み94.5円)がかかります(2009年11月現在)。
- 番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込み105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などが不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番(NTT営業窓口)までお問い合わせください(2009年11月現在)。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番(NTT営業窓口)、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください(一般電話または公衆電話から、H-21へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます)。
- H-21から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう、移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らずに10分程度は着信できる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

海外での利用について

H-21を海外で利用される場合は、事前にオプトエレクトロニクス社サポート窓口(http://www.opto.co.jp/products/support/h-21/または
E-mail: h-21_tecinfo@opto.co.jp)までお問い合わせください。

主な仕様

外観仕様	外形寸法		高さ約136.4mm×幅約64.5mm×厚さ約22.2mm
	質量		約240g
制御部	OS		Windows Mobile 6.5 Professional
メモリ	ROM		256MB
	RAM		256MB
表示部	液晶ディスプレイ	種類	半透過TFT液晶
		サイズ	2.8インチ
		画素数	480×640画素数(VGA)
		色	65536色
		タッチパネル	○
通信部	赤外線通信(IrDA)	規格	Ver.1.3（SIR：115kbps/1Mbps）
	Bluetooth	規格	Ver.2.0+EDR, Class 2に準拠※1
		最大通信レート	3Mbps※2
		プロトコル	SPP, OPP, PAN, DUN-GW, OBEX, HSP, HFP, AVRCP, A2DP, HID, GAP, GEOP
	無線LAN	規格	IEEE802.11 b/g
		通信レート	MAX 11Mbps/54Mbps※2
		プロトコル	TCP/IP, IPX/SPX, UDP※3
		セキュリティ	WEP, TKIP, AES, 802.1x, WPA, WPA2
	携帯電話(FOMA)	音声通話	FOMA
		データ通信	HSDPA(最大7.2Mbps) HSUPA(最大5.76Mbps)
	GPS		スタンドアロンGPS※4
			A-GPS
カードスロット			microSDメモリカードスロット×1個※5
接続端子			USB端子(miniABコネクター)／ACアダプター端子、イヤフォンマイク端子(2.5mm)
USBホスト対応			USB On-The-Go
電源部	主電池	電池パック	リチウムイオン充電池(3,060mAh)
	バックアップ電池	バックアップバッテリ	充電可能
	使用可能時間	連続通話時間	約13時間※6
		連続待受時間	約700時間※7
	充電時間	電池パック	ACアダプターで充電した場合：約6時間※8
			USBケーブルでパソコンと接続して充電した場合：約11時間※8
		バックアップバッテリ	約3時間※9

カメラ部	撮影素子	CMOS
	有効画素数	320万画素
	最大撮影サイズ	最大2,048×1,536ドット(QXGA)
	フォーカス	オートフォーカス
スキャナー部		一次元バーコードモデル: 赤色半導体レーザー 二次元コード対応モデル: CMOSエリアセンサー (オートフォーカス搭載)

※1 Bluetooth SIG, Inc.が定めている方法でBluetooth準拠規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※2 Bluetooth、無線LANの通信距離、およびビットレートは使用する環境、通信相手の機器の状態によって大きく影響を受けます。従って、記載されている数値を保証するものではありません。

※3 H-21がサポートしているプロトコルおよびセキュリティの規格を記載していますが、通信相手の機器、操作、仕様によっては、通信できない場合があります。

※4 GPS衛星からの信号のみで現在の位置を測位できます。

※5 最大2GBのmicroSDメモリカードと、最大16GBのmicroSDHCメモリカードに対応しています。ただし、すべてのmicroSDメモリカードと、microSDHCメモリカードの動作を保証するものでありません。

※6 連続通話時間とは、電波を正常に受信できる状態で通話できる時間の目安です。本体のバックライトは消灯した状態で、電池パックが満充電からシステムがダウンするまでの時間です(電池パックの残量が少ないことを示す警告表示や、確認用LED2が赤色で点滅するまでの時間ではありません)。連続通話時間は、使用する電話環境によって変動しますので目安とお考えください。最低の規格値でありません。使用条件は弊社独自の規格によります。

※7 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で連続して待受可能な時間の目安です。Bluetooth機能がオフであり、スリープモード状態で、電池パックが満充電からシステムがダウンするまでの時間です(電池パックの残量が少ないことを示す警告表示や、確認用LED2が赤色で点滅するまでの時間ではありません)。なお、電池パックの充電状態、各機能の設定、温度等の使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより連続待受時間は大きく影響を受け、半分程度になることがあります。使用条件は弊社独自の規格によります。

※8 充電時間は目安を記載しており、規格値ではありません。本体の電源をオフした状態での充電時間であり、本体の電源をオンしたまま充電した場合や、スリープモード状態で充電した場合は充電時間が長くなる場合があります。充電時間は使用される環境によって変動します。

※9 H-21本体には、RAMデータを一定時間(最大5分間)保持するために、充電可能な小容量の電池(バックアップバッテリ)が内蔵されています。バックアップバッテリは、電池パックがH-21本体に取り付けられている間に充電されます。充電時間は、H-21本体に取り付けられ電池パックが充分に充電されている場合で、RAMデータを5分間保持できるようになるまでの時間を記載しています。

携帯電話機の比吸収率について

この携帯電話機H-21は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。
この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値となっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。
この携帯電話機H-21のSAR値は、0.578 W/kgです。この値は、株式会社ディーエスピーリサーチによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARは小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以下のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
○社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

日本輸出管理規制／米国再輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また、米国輸出管理規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。(VCCI-B)

- 接続ケーブル、ACアダプターなど付属品は、必ず当製品指定のものをお使いください。
- 指定品以外では、VCCI協会の技術基準を超える可能性が考えられます。

知的財産権について

著作権について

● **本製品で撮影・録音したものを無断で複製・改変・編集しないでください。**
権利者に無断で行う場合、個人で楽しむなどの他は、これらの行為は著作権法上認められておりません。

● **著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の対象となっている画像を転送することはできません。**
著作権とは、自らの思想・感情を創作的に表現した者に認められる、それらの創作物の利用を支配することを目的とした権利です。音楽、映画、写真、言語、絵画、建築、図形、コンピューター・プログラムなどのあらゆる表現形式が対象となります。
音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをされる場合は、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただけますようお願い致します。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただけますようお願い致します。

肖像権について

● 本製品で撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合、肖像権や著作権に十分ご注意ください。

● 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することはしないでください。
その人の肖像権の侵害となる恐れがあります。

● 他人の肖像や氏名を無断で使用・改変する、といったご利用はお控えください。
肖像権の侵害となる場合があります。
肖像権とは、他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張することを目的とした権利です。
肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなどが経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。勝手に他人やタレントの写真を撮って、公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけていただけますようお願い致します。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」および「公共モード」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHC™ロゴは商標です。

- Bluetooth®およびBluetooth®ロゴは、Bluetooth® SIG. Inc.の登録商標であり、株式会社オプトエレクトロニクスはライセンスに基づいて使用しています。

- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- AdobeおよびAdobe Reader、FlashはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Mobile®、Active Sync®、Outlook®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®、Windows Live™、およびInternet Explorer®のロゴは、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- iWnnはオムロン株式会社の商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

・この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。
Powered by JBlend™. Copyright 1997-2008 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
JavaおよびJavaに関する商標は、米国およびその他の国における米国Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

・本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
・その他、本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

・Windows Mobile：
Microsoft® Windows® Mobile 6.5 Professionalの略です。
・Windows Vista：
Windows Vista®（Home Basic, Home Premium, Business, Ultimate）の略です。
・Windows XP：
Microsoft® Windows® XP Professional operating system または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system の略です。
・Windows 2000：
Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

索引

アルファベット

ActiveSync 103
ACアダプターで充電する 37
Adobe Reader LE 127
A-GPS 141
Bluetooth通信 94
Bubble Breaker 134
Excel Mobile 125
FOMAカードの取り付け 33
FOMAカードの取り外し 34
GPS 141
H-21の電話番号 68
Internet Explorer Mobile 115
iWnn 59
iWnnの設定 66
Javaアプリケーション 134
JBlend 134
MACデバイス 148
Marketplace 132
Messenger 132
microSDメモリカードスロットカバーのロック 43
microSDメモリカードの取り付け ..... 42、43
microSDメモリカードの取り外し 44
Microsoft My Phone 132
Microsoftのオンラインサービス 131
MSN天気予報 133
MSNマネー 133
My Documents 124
Numericキー ..... 28、46、56
Office Mobile 125
OneNote Mobile 126
Outlookの設定 ..... 101、104
Outlook連絡先 82
PDFファイル 127
PINコード ..... 44、142
PINロック解除コード 142
PowerPoint Mobile 126
QWERTYキー ..... 30、47、58
SIMカード連絡先 82
SMSグループ 84
SMSメッセージ 113
Storage Card 124
Today画面 ..... 48、137
USBケーブルで充電する 38
VPN 90
Webブラウザ 115
Wi-Fi 91
Wi-Fiユーティリティ 93
Windows Live 131
Windows Live™ Messenger 132
Windows Media Player Mobile 130
Windows Mobile デバイスセンター 100
Word Mobile 125

あ

アイコン 49
相手の声の音量を調節する 71
アウトドアモード 73
アカウントの切り替え 113
アクセスポイントの検出 91
アクセスポイントの設定 92
アプリケーションを切り替える 52
アプリケーションを終了する 52
アラーム 139
暗号化 144
暗証番号 142
安全上のご注意 9
一次元バーコードモデル 121
一括辞書作成ツール 67
移動 125
インターネット共有 98
英数カナ変換機能 62
エクスプローラー 124
エラー報告 147
オーナー情報 144
お気に入り 116
お使いになる前に 55
音と通知 138
オプション品 8
主な機能 6
主な仕様 152
音量 53

か

海外での利用 151
外部電源 137
確認用LED1 26
確認用LED2 26
各部の名称 25
カスタマーフィードバック 147
カスタムバックアップ 136
画像とビデオ 130
画像の撮影 129
カメラ 128
完全バックアップ 136
管理プログラム 148
キー操作 ..... 46、57

キーバックライト……139
記号の入力……62
既定のインターネット設定……88
既定の社内ネットワーク設定……90
キャッチホン……77
ゲーム……134
検索……128
検索ウィジェット……133
公共モード(電源OFF)……74
公共モード(ドライブモード)……74
高度な設定……120
コードオプション……120
コピー……125
困ったときは……149

さ

再起動……55
サイレントモード……73
サウンド……138
削除済みアイテム……112
仕事……86
辞書……66
下書き……110
自動モード……73
充電……36
受信トレイ……110
出力モード……119
肖像権……156
商標……156
証明書……148
初期設定……41
署名……113
スタートメニュー……51
スピーカーの音量……53
スピーカーフォン……71
スピードダイヤル……72
スマートダイヤル……69
スリープモード……54
赤外線通信……97
セキュリティ……142
専用クレードルで充電する……38
外付けGPS……141
ソフトウェアキーボード……64
ソリティア……134

た

タイトルバー……48
耐落下性能……24
タスクマネージャー……52
タッチパネルディスプレイ……45、138
タップ……45
タップしたまま押さえる……46
地域……145
知的財産権……155
着信音……138
着信音の音量……53
着信ビーム……96、98
著作権……155
追加サービス……81
通常モード……73
通知……139
通話履歴……70
つながり予測機能……60
データ検索機能……63
データ通信……88
手書き検索……65
手書き入力……65
テキスト辞書……67
デバイスID……145
デバイスインフォメーション……148
デバイス名……145
デバイスロック……44、143
電源を入れる……41
電源を切る……41
電子証明書……148
電子メール……108
電子メールグループ……84
電子メールの設定……108
転送……112
転送でんわサービス……78
電卓……128
電池パックの取り付け……31
電池パックの取り外し……33
電波障害自主規制……155
添付ファイル……111
電話サービス……151
電話モード……73
電話を受ける……71
電話をかける……68
同期……100
同期関係の設定……101、104
時計とアラーム……139
ドメイン……94
ドライブモード……73
トリガーキー……119

な

なぞる……45
二次元コード対応モデル……122
日本輸出管理規制……154
入力……140
ネットワークアダプター……92

ネットワークサービス……75

は

バーコードのサフィックス……120
バーコードリーダー……119
バーコードリーダー設定……119
バーコードリーダーの有効／無効……121
バージョン情報……145
パートナーシップ……94
バイナリ辞書……67
パケット通信……88
パスワード……44、143
バックアップマネージャー……135
バックアップ用電池……36、146
バックライト……137
バックライト輝度……138
発信者番号通知の設定……80
発信者番号の通知／非通知……70
バッテリ……137、146
パワーマネージメント……146
番号通知お願いサービス……81
ビーム……96、97
比吸収率……154
ビデオの撮影……130
ひらがな／カタカナ……65
ファイル……124
フォルダー……124
不在着信……70
付属品……7
プログラムの削除……147
プログラムボタン……140
プロバイダー……108
米国再輸出管理規制……154
別売品……8
ヘルプ……55
変換機能……61
返信……111
防塵・防滴性能……22
ボタン……140

ま

マイク付きイヤフォン……42
マイデバイス……124
マナーモード……73
迷惑電話ストップサービス……80
メール……108
メールアカウントの新規設定……108
メールグループ……84
メールの受信……110
メールの送信……109
メニューバー……48
メモ……127
メモリ……146
モーションセンサー……53
文字サイズ……138
文字種……56、58
文字入力……56
モデム接続……88

や

ユーザー辞書……66
予測機能……60
予定表……84
読み取りオプション……120
読み取り時の通知……120

ら

リセット……55
リダイヤル……69
リモートデスクトップモバイル……135
留守番電話サービス……76
連絡先……82
ローマ字／かな……64
録音……128

わ

ワイヤレスLAN……91
ワイヤレスマネージャー……53
ワイルドカード予測機能……61

株式会社オプトエレクトロニクス
http://www.opto.co.jp

H-2100-9018-0-00